

2026年度
観光ビジネス学科
シラバス

目次

1.	学修成果（到達目標）	4
2.	1年生カリキュラムマップ	6
3.	1年生カリキュラムツリー	7
4.	1年生 年間予定表	8
5.	1年生 シラバス	10

開講科目	頁	開講科目	頁
日本語表現法	10	ブライダルビジネス実務	48
英語 I	12	秘書実務	50
コミュニケーション論	14	旅行業法	52
情報処理	16	旅行業約款	54
数理リテラシー	18	国内運賃・旅費計算	56
経営学入門	20	旅行業務演習	58
マーケティング	22	旅程管理	60
観光概論	24	韓国語会話 I	62
観光ビジネス論	26	英会話基礎	64
国内観光地理	28	英会話応用	66
実践文章作成演習	30	観光英語	68
フィールドワーク概論	32	TOEIC演習	70
英語 II	34	観光インターンシップ	72
ビジネスマナー	36	海外研修	74
情報機器演習	38	基礎キャリア形成ゼミ	76
エアラインビジネス実務	40	実践キャリア形成ゼミ	78
鉄道ビジネス実務	42	初年次ゼミ	80
宿泊ビジネス実務	44	観光研修 I	82
ホテル・ブライダルサービス	46	観光ゼミ I	84

6.	2年生カリキュラムマップ	94
7.	2年生 カリキュラムツリー	95
8.	2年生読替表	96
9.	2年生年間予定表	98
10.	2年生 シラバス	100

開講科目	頁	開講科目	頁
東北学	100	国内観光資源	126
歴史と文化	102	海外観光地理	128
法律入門	104	東南アジアの言語と文化	130
現代の社会	106	韓国語会話 II	132
国際観光論	108	中国語会話 I	134
観光史と観光文化	110	中国語会話 II	136
金融リテラシー入門	112	フランス語会話	138
観光ビジネス英会話	114	おもてなし英語	140
旅行ビジネス実務	116	観光英語ガイド基礎	142
ホテル経営	118	観光研修 II	144
ウェディングブライダル演習	120	観光ゼミ II	146
旅と文学	122	観光ゼミ III	154
テーマパークビジネス	124		

11.	ナンバリング	164
12.	実務経験を有する教員の一覧	170
13.	学科教員一覧	171
14.	オフィスアワー	171
15.	成績評価	171

観光ビジネス学科

- 学修成果（到達目標）

学修成果（到達目標）

1【基礎力】一般教養並びに各専門分野の基礎的能力

広い視野を持ち、深い知識と技能を修得し、観光ビジネスの現場で活かすことができる。

①総合的な判断力の基礎を養うことができる。

②多角的な視野から物事を思考し、本質を見極め、問題解決に取り組むことができる。

2【実践力】各分野の実際の場面に対応できる力

複雑化する現代社会において、豊かな教養を身につけ、職業人として多角的に物事を見つめることができる。

①基本的なビジネスマナーを身につけ観光ビジネスの現場で実践することができる。

②収集した情報を状況に応じて適切に判断し、活用することができる。

3【人間関係力】専門職・社会人として必要なコミュニケーション能力

豊かなコミュニケーション能力を身に付け、職業人として自己の能力を発揮することができる。

①積極的かつ意図的にコミュニケーションを作り出すことができる。

②他者の考えや立場を理解し、自分の意見を述べることができる。

4【生涯学習力】生涯にわたって学び、成長できる力

継続してキャリアを積むことにより、さらなる業務遂行能力をはじめとする人間的成長ができる。

①生涯にわたって、課題を発見し、解決する力を身につける。

②時代の変化に応じ、生涯を通じて自分のキャリアを形成していくことができる。

5【地域理解力】地域・文化の多様性を理解し、地域に貢献できる力

職業人として地域社会の活性化に貢献することができる。

①職業や勤労に対する理解を深め、地域で意欲的に働くことができる。

②地域での活動に積極的に参加し、役割に即した活動の成果をあげることができる。

③東北地方の歴史、文化、社会、経済、観光資源について理解し、地域社会に貢献することができる。

観光ビジネス学科 1年生 (2026年度入学生)

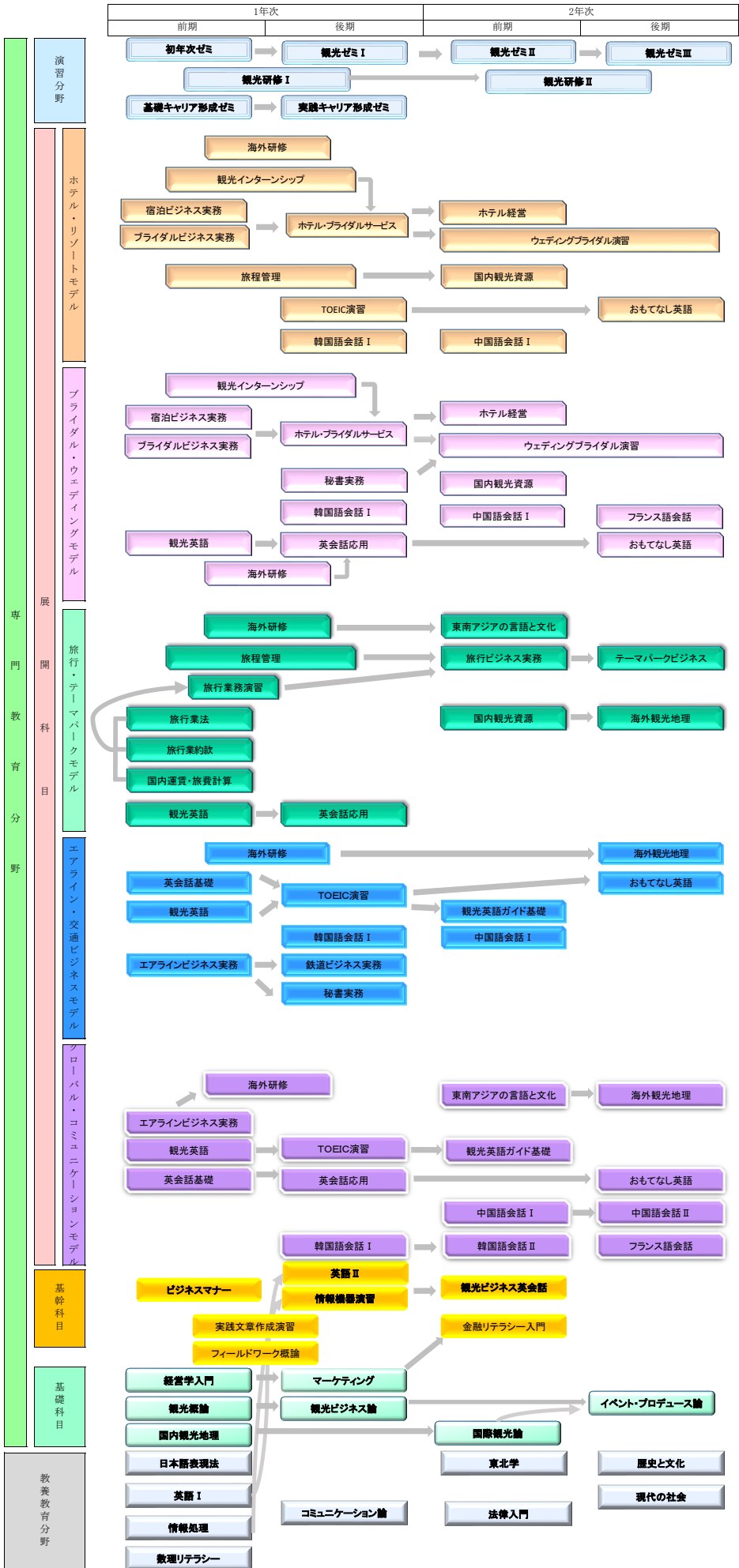
- カリキュラムマップ
- カリキュラムツリー
- 年間予定表
- シラバス

観光ビジネス学科2026年度入学生カリキュラムマップ

学修成果：1 基礎力、2 実践力、3 人間関係力、4 生涯学習力、5 地域理解力
 学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。
 ●は、各授業科目が学修成果の1～5のどれに当てはまるかを表すものです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										単位数		履修モデル								
			1年					2年					必修	選択	ホテル・リゾートモデル	ブライダルモデル・ウェディングモデル	旅行・テーマパークモデル	エアライン・交通ビジネスモデル	グローバル・コミュニケーションモデル				
			前期	後期	学修成果					前期	後期	学修成果											
					1	2	3	4	5			1								2	3	4	5
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●		●								1		○	○	○	○	○	○
		英語Ⅰ	15	○		●										1		○	○	○	○	○	○
		東北学	15							○		●				2		○	○	○	○	○	○
		歴史と文化	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
	人間と社会	法律入門	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
		現代の社会	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
		コミュニケーション論	15		○	●		●								2		○	○	○	○	○	○
	人間と科学	情報処理	15	○		●	●									1		○	○	○	○	○	○
		数理リテラシー	15	○		●	●									1		○	○	○	○	○	○
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	15	○		●			●						2		○	○	○	○	○	○	
		マーケティング	15		○	●										2		○	○	○	○	○	
		観光概論	15	○		●										2		○	○	○	○	○	
		観光ビジネス論	15		○	●				●						2		○	○	○	○	○	
		国内観光地理	15	○		●			●							2		○	○	○	○	○	
		国際観光論	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
		イベント・プロデュース論	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
	基礎科目	実践文章作成演習	15		○	●	●									1		○	○	○	○	○	○
		フィールドワーク概論	15		○	●	●									2		○	○	○	○	○	○
		金融リテラシー入門	15							○		●			●	2		○	○	○	○	○	○
	基幹科目	英語Ⅱ	15		○	●										1		○	○	○	○	○	○
		観光ビジネス英会話	15							○				●	●	2		○	○	○	○	○	○
		ビジネスマナー	15	○			●	●								2		○	○	○	○	○	○
		情報機器演習	15		○	●	●									1		○	○	○	○	○	○
	展開科目	旅行ビジネス実務	15							○				●	●	2				○			
		エアラインビジネス実務	15	○			●	●								2					○	○	
		鉄道ビジネス実務	15		○		●								●	2					○		
		宿泊ビジネス実務	15	○			●								●	2		○	○				
		ホテル・ブライダルサービス	15		○		●	●								2		○	○				
		ホテル経営	15							○				●		2		○	○				
		ブライダルビジネス実務	15	○			●	●								2		○	○				
ウェディングブライダル演習		15							○				●	●	1		○	○					
秘書実務		15		○		●	●								2			○		○			
テーマパークビジネス		15							○				●		2					○			
旅行業法		15	○		●	●									2					○			
旅行業約款		15	○		●	●									2					○			
国内運賃・旅費計算		15	○		●	●									2					○			
国内観光資源		15							○					●	●	2		○	○				
旅行業務演習		15	○		●	●									1					○			
海外観光地理		15								○				●	●	2				○	○	○	
旅程管理		15		○		●			●						2		○						
東南アジアの言語と文化		15							○				●		2					○			
韓国語会話Ⅰ		15		○	●	●									1		○	○		○	○	○	
韓国語会話Ⅱ		15							○		●	●			1		○	○		○	○	○	
中国語会話Ⅰ		15							○		●	●			1		○	○		○	○	○	
中国語会話Ⅱ		15							○		●	●			1		○	○		○	○	○	
フランス語会話		15							○		●	●			1			○				○	
英会話基礎		15	○		●		●								1					○	○	○	
英会話応用		15		○		●	●								1					○	○	○	
観光英語		15	○			●									1					○	○	○	
TOEIC演習		15		○		●	●								1		○	○		○	○	○	
おもてなし英語		15							○				●	●	2		○	○		○	○	○	
観光英語ガイド基礎	15							○				●		2					○	○	○		
観光インターンシップ	集中		○		●	●								1		○	○		○	○	○		
海外研修	集中		○		●	●								1		○	○		○	○	○		
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	15	○		●	●	●	●	●					1		○	○	○	○	○	○	
		実践キャリア形成ゼミ	15		○		●	●	●	●	●					1		○	○	○	○	○	
		初年次ゼミ	15	○		●		●								1		○	○	○	○	○	
		観光研修Ⅰ	8		○		●	●								1		○	○	○	○	○	
		観光研修Ⅱ	8							○		●	●			1		○	○	○	○	○	
		観光ゼミⅠ	15		○		●	●	●	●	●					1		○	○	○	○	○	
		観光ゼミⅡ	15							○		●	●	●	●	1		○	○	○	○	○	
		観光ゼミⅢ	15							○		●	●	●	●	1		○	○	○	○	○	
総計（卒業要件62単位以上）													42	54	67	69	69	65	67				

凡例	科目名太字	必修科目
	科目名細字	選択科目



2026年度 観光ビジネス学科1年生 年間予定表

前期

		日		月		火		水		木		金		土	
4月								1		2		3	入学式	4	
	5		6	オリエンテーション	7	オリエンテーション	8	1	9	1	10	1	11		
	12		13	1	14	1	15	AM2 PM健康診断	16	AM健康診断 PM2	17	2	18		
	19		20	2	21	スポーツ大会	22	3	23	3	24	3	25		
	26		27	3	28	2	29		30	4	1	水4	2		
5月	3		4		5		6		7	火3	8	4	9		
	10		11	4	12	4	13	5	14	5	15	5	16		
	17		18	5	19	5	20	6	21	6	22	6	23		
	24		25	6	26	6	27	7	28	7	29	7	30		
	31		1	7	2	7	3	8	4	8	5	8	6		
6月	7		8	8	9	8	10	9	11	9	12	9	13		
	14		15	9	16	9	17	10	18	10	19	10	20		
	21		22	10	23	10	24	11	25	11	26	11	27		
	28		29	11	30	11	1	12	2	12	3	12	4		
7月	5		6	12	7	12	8	13	9	13	10	13	11		
	12		13	13	14	13	15	14	16	14	17	14	18		
	19		20		21	14	22	15	23	15	24	15	25		
	26		27	14	28	15	29	月15	30	予備日	31	定期試験	1		
8月	2		3	定期試験	4	定期試験	5	定期試験	6		7		8		
	9		10		11		12		13		14		15		
	16		17		18		19		20		21		22		
	23		24	集中講義	25	集中講義	26	集中講義 結果発表	27	集中講義	28	集中講義	29		
	30		31	集中講義	1	集中講義	2	集中講義	3	集中講義	4	集中講義	5		
9月	6		7	再試験	8	海外研修	9	海外研修	10	海外研修	11	海外研修	12	海外研修	
	13	海外研修	14		15		16		17		18		19		

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※9月15日～9月18日・26日「エアラインスクール」(正課外)実施。

2026年度 観光ビジネス学科1年生 年間予定表

後期

	日	月	火	水	木	金	土
9月	20	21	22	23	24	25	26
					後期オリエンテーション	1	
	27	28	29	30	1	2	3
		1	2	3	4	5	
10月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
						せいよう祭準備	せいよう祭
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
						学科交流会	
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
					月8	8	
	29	30	1	2	3	4	5
12月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
					月14	14	
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
		金15	予備日	定期試験	定期試験	定期試験	
	31	1	2	3	4	5	6
			定期試験				
2月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	1	2	3	4	5	6
3月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
				(卒業式)			
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地理理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●							
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	40 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。 									
学修者への期待等	日本語を知ることとは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				事前学修：語族について調べる 事後学修：チェックテストの復習				30	30
2	日本語の歴史				事前学修：古事記について調べる 事後学修：チェックテストの復習				30	30
3	ことばと表現①（熟語、語句）				事前学修：漢検2級レベルの漢字を確認 事後学修：チェックテストの復習				30	30
4	ことばと表現②（ことわざ、故事成語）				事前学修：漢検2級レベルの漢字を確認 事後学修：チェックテストの復習				30	30
5	敬語表現①（敬語の基本）				事前学修：尊敬語と謙譲語の相違の確認 事後学修：チェックテストの復習				30	30
6	敬語表現②（尊敬語と謙譲語）				事前学修：尊敬語と謙譲語の相違の確認 事後学修：チェックテストの復習				30	30
7	話してみよう①（インタビューとショートスピーチ）				事前学修：結婚式スピーチを調べる 事後学修：チェックテストの復習				30	30
8	話してみよう②（グループディスカッション）				事前学修：少子化対策を考える 事後学修：チェックテストの復習				30	30
9	修飾語と被修飾語との関係①（原則論）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習				30	30
10	修飾語と被修飾語との関係②（練習問題）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習				30	30
11	句読点の打ち方（原則論）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習				30	30
12	句読点を打つ練習と文章要約①（境界の点）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習				30	30
13	句読点を打つ練習と文章要約②（逆転の点）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	意見文の書き方 (4 STEPS)	事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習	30	30
15	意見文の作成と句読点を打つ練習	事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (グループディスカッション, インタビュー, ショートスピーチ)			
教科書	プリントを配布する。			
参考文献	『日本語の作文技術 (朝日文庫)』本多勝一著 朝日新聞出版 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著 風間書房			
備考	授業内課題については、次の授業内にてフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目 (実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

該当しない。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-02				
	●									
科目名	英語 I				単位認定者	吉野 千乃		試験 (筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	日常会話で頻繁に用いられる基本表現を「話し」・「聞く」ことができる力を養い、基礎的な英語コミュニケーション能力を修得する。また、当該専門職として必要となる語彙や基本表現も身につける。									
到達目標	私たちの日常でよく用いられる英語表現を習得し、平易な英語で基本的なコミュニケーションがとれるようになる。また、海外旅行を中心とした観光に関する英語表現について学び、希望の進路を実現するための力を身につける。									
学修者への期待等	授業にはテキスト、辞書を持参すること。授業前には該当箇所の音声ダウンロードし、予習を行うこと。 各回に行うペアワーク、会話練習やロールプレイに積極的な姿勢で臨むこと。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	英語 I の授業の進め方について 事前学修・事後学修の方法				事前学修：シラバスの内容を確認する。 事後学修：授業の流れを把握する。			30	30	
2	Unit 1 At the airport-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 1 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。			30	30	
3	Unit 1 At the airport-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 1 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。			30	30	
4	Unit 2 On the plane-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 2 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。			30	30	
5	Unit 2 On the plane-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 2 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。			30	30	
6	Unit 3 Arrival-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 3 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。			30	30	
7	Unit 3 Arrival-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 3 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。			30	30	
8	Unit 4 Checking in at the hotel-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 4 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。			30	30	
9	Unit 4 Checking in at the hotel-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 4 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。			30	30	
10	Unit 5 Getting information and sightseeing-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 5 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
11	Unit 5 Getting information and sightseeing-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz	事前学修：Unit 5 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。	30	30
12	Unit 6 Ordering fast food-1 語彙と内容理解	事前学修：Unit 6 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。	30	30
13	Unit 6 Ordering fast food-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ Quiz	事前学修：Unit 6 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。	30	30
14	Unit 7 Going to the theater-1 語彙と内容理解	事前学修：Unit 7 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。	30	30
15	Unit 7 Going to the theater-2 全体の振り返り	事前学修：Unit 7 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ロールプレイ、ペアワーク）			
教科書	Takeuchi M., Nakai N. & Sugawara C. (2025). <i>Enjoy Your Trip! English you need abroad. (Revised Version)</i> Nan'un-do.			
参考文献	資料は随時UNIPAより配信する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時に授業への疑問などをUNIPAにReactionとして提出してもらい、次回にフィードバックを行う。 ・状況によって進捗や順番に変更が生じる場合や、遠隔授業で実施する場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HS0-01				
	●		●							
科目名	コミュニケーション論				単位認定者	佐藤 和美		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	講義	授業回数			15 回	
授業の概要	コミュニケーションは、対人関係を構築していくために重要な社会的行為であるが、現代社会においては、コミュニケーションの取り方が大きく変化し、また複雑になっている。本科目においては、コミュニケーションの基礎的な理論について社会的な視点から考察し、対人スキルの向上へと結びつくコミュニケーションの在り方について理解することを目的とする。									
到達目標	現代のコミュニケーションの特徴を理論的に捉えようとして、現代人が人間関係を円滑に構築していくためのコミュニケーションスキルについて考察し、活用できるようになる。									
学修者への期待等	授業では社会に出てから必要になるビジネスコミュニケーションも念頭に置いての講義となるが、学生同士の日常生活でもその考え方やスキルを応用して、より良い人間関係の構築に役立てて欲しい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	コミュニケーションとはなにか				事前学修：日常のコミュニケーションを観察 事後学修：配布資料の重要事項をまとめる				30	30
2	安心・安全な場の創作のためのコミュニケーション～組織やチームを停滞させるコミュニケーションとは				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
3	関係性を創作する聴き方①～友人、家族、ストレス緩和(グループワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で実践し記録する				30	30
4	関係性を創作する聴き方②～顧客、上司、ビジネス編(グループワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
5	自分も相手も大切に伝える伝え方～営業、プレゼンテーションへの応用(ペアワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で実践し記録する				30	30
6	インテンショナルメッセージ①～メッセージの創作(ペアワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
7	インテンショナルメッセージ②～主体的な行動を導く、アサーションとの関連				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で実践し記録する				30	30
8	上司とのコミュニケーション～報告、模擬会議、アジェンダ作成(グループワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
9	チームで働く～チームに必要なコミュニケーション信頼を創るクレーム対応(ディスカッション)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：ディスカッションのまとめをする				30	30
10	自己とコミュニケーションで軽やかに進む～コンフォートゾーン・バイアス、不安とのコミュニケーション				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
11	ビジネスコミュニケーション関連テストと解説				事前学修：10回目までの授業を振り返る 事後学修：テストについて振り返る				30	30
12	世代別コミュニケーション～心身の変化の理解と適切な対応について(ロールプレイ)				事前学修：時事的な問題を観察してくる 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
13	社会とのコミュニケーション～社会の中の一人として(ディベート・グループワーク)				事前学修：前時と事後学修を振り返る 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
14	メディアとコミュニケーション・異文化理解(ディベート・グループワーク)、最終課題について				事前学修：時事的な問題を観察してくる 事後学修：日常生活で観察し記録する				30	30
15	情報化社会・異文化社会の中でのコミュニケーションの重要性/全体の振り返り				事前学修：配布資料に取り組む 事後学修：課題を作成し提出する				30	30

アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、ロールプレイ、ディベート）
教科書	
参考文献	「大学1年生からのコミュニケーション入門」 中村美香(著)，ナカニシヤ出版 「即戦力になるビジネスコミュニケーション第2版」 箱田忠昭(著)，日経BP社
備考	受講者の理解度等により，講義の順番や重点の置き方を変えることがある。提出課題へのフィードバックは授業にて実施する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	情報処理				単位認定者	杉崎 新一		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			授業回数		15 回	
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。									
到達目標	パソコンの基本操作を修得し、業務でWord・Excel・PowerPointが効率的に使用できることを目標とする。 ◆Word: 書式設定や印刷設定を利用した基本的な文書・表・図形・写真などを含む文書が作成できる。 ◆Excel: 書式設定をして表を整えることができ、適切な計算式や関数、グラフを作成できる。 ◆PowerPoint: プレゼンテーションを理解し、訴求力あるスライド作成とスライドショー実施ができる。									
学修者への期待等	パソコンの基本操作から行う。操作が苦手な者は、これを機に操作ができるようにすること。操作ができる者であっても自己流の操作を行うことが多いので、初心に戻り取り組み、自分にとって不足しているスキルはより向上するよう学修すること。授業を休むと操作がわからなくなり、次回以降の授業にも影響するため注意すること。操作がわからない部分はそのままにせず、演習中に巡回をするので質問して確認すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	オリエンテーション ノートPCを使用する受講の事前準備、基本操作・注意事項確認 UNIPAからのデータダウンロード、課題アップロードについて等				【事前】 マウス操作・入力操作は各自できるようにして授業に臨むこと。特に入力操作が苦手な場合は、タイピングの練習をして技術を向上させること。(30分程度) 【事後】 Word・Excelは、はじめは基礎内容から入り、段階的に応用内容に進んでいくため、各回の内容をしっかりと身につけ、次の授業へ臨むこと。授業内に完成しなかった作成物は、次回までに完成しておくこと。これまでの経験によってパソコンのスキル(技能)は、各人で異なるため、自分の現在のスキルを把握し、学修したパソコン操作か身につけていないと感じる場合は、授業中に作成したものを繰り返し操作して復習すること。(各自のスキルにより30分～1時間程度)				0	30
2	情報保護:モラルとセキュリティに関する知識 Word:文書の書式設定・印刷設定								30	30
3	Word:入力方法・文書入力・ページ設定								30	30
4	Word:書式設定								30	30
5	Word:図・表を取り入れた文書の作成								30	30
6	Word:課題作成(これまでに学んだ内容を活用)								30	30
7	Excel:入力と編集方法・数式や関数・書式設定・表示形式								30	30
8	Excel:相対参照と絶対参照・表の編集・印刷設定								30	30
9	Excel:グラフ作成								30	30
10	Excel:基本的な関数(MAX・MIN・COUNT・COUNTAなど)								30	30
11	Excel:基本的な関数(IF・AND・ORなど)・表示形式・日付関連の関数								30	30
12	Excel:課題作成(これまでに学んだ内容を活用)								30	30
13	PowerPoint:スライドの作成・オブジェクトの挿入								30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	PowerPoint:アニメーションの設定・スライドショーの実施		30	30
15	PowerPoint:課題作成 (これまでに学んだ内容を活用)		30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (練習, 実技, その他の演習)			
教科書	「30時間アカデミック Office2024」 杉本くみ子, 実教出版			
参考文献	授業内容に応じて資料プリント配布 (配布プリントはすべてファイリングすること。)			
備考	<p>○アプリ操作性の向上と, 授業課題の保存・移動のため, 授業開始時までに各自次のものを準備してください。</p> <p>全学科必須：USBメモリー (他の科目と共用可 ノートPCの仕様によりUSBポートがない場合はコネクタも必要)</p> <p>私物PCによる授業を行う学科必須：私物ノートPC用マウス (情報処理室で授業の学科は任意)</p> <p>○私物ノートPC使用の授業では事前に充電を済ませておくこと。(授業中に充電を行わない。)</p> <p>○本科目は2クラスに分けて実施する。</p> <p>○授業への疑問等については, 次回以降授業にフィードバックを行う。</p>			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	数理リテラシー				単位認定者	本田 俊夫		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>職業生活においては、様々な数字に囲まれて仕事をするようになる。本科目では、筋道を立て、客観的に物事を考えることができることを目的とし、ビジネスだけでなく、日常生活のあらゆる場面で役立つ計算力やデータ、表やグラフなどを読み取る力を身につける。</p> <p>キャリア形成に必要な不可欠な数学的、論理的な考え方を効果的に学ぶ。</p>									
到達目標	<p>数学の基礎・基本を身に付け、数式・表・グラフ等の活用を通して数学的処理の“良さ”を知ることにより、統計学、数学、コンピュータサイエンス、人工知能など今後の社会に必要とされる数理的思考やデータ分析・活用能力を身につける。</p>									
学修者への期待等	<p>日常でよく使う計算、算数・数学的な考え方とデータについての基本を習得するための科目です。授業前に準備学修を終わらせ、基本的な考え方を習得しておいてください。授業後は1時間程度の復習をし、考え方や処理が不明の箇所がある場合は積極的に質問してください。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	分数や小数の計算・四則計算				事前学修：テキストのテーマ5～7（分数や小数の計算・四則計算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
2	割合・比の計算				事前学修：テキストのテーマ9～10（割合・比の計算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
3	和と差、割合に関する問題				事前学修：テキストのテーマ9～10（割合・比の計算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。				60	30
4	割合と百分率①～損益算				事前学修：テキストのテーマ16（損益算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
5	割合と百分率②～仕事算・濃度算				事前学修：テキストのテーマ21（仕事算）、23（濃度算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
6	速さ①～速さ・時間・距離、旅人算（相対速度の利用）				事前学修：テキストのテーマ18（速さ・時間・距離、旅人算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
7	速さ②～流水算・通過算				事前学修：テキストのテーマ19（流水算）と20（通過算）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30
8	連立方程式とつるかめ算、1次関数				事前学修：テキストのテーマ24（連立方程式とつるかめ算、1次関数）を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。				60	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	数と集合（ベン図の活用）	事前学修：テキストのテーマ25（集合（ベン図の活用））を事前に終わらせておくこと。 事後学修：プリントの問題の復習をすること。	60	30
10	進数～2進数・8進数・16進数など	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	30
11	平方根・累乗根，指数	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	30
12	対数 日常の中での対数と計算	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	60
13	統計の基礎① データの分布と代表値，ばらつき	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	60
14	統計の基礎② データの標準化	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	60
15	統計の基礎③ 推定と検定	事前学修：高校の数学の教科書で該当部分を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をよく復習すること。	60	60
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	「基礎から学ぶSPIベーシック問題集」 就職情報研究会編，実務教育出版			
参考文献	なし			
備考	当科目は2クラスに分けて実施する。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-01				
	●			●						
科目名	経営学入門				単位認定者	丸藤 准二		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	現代の企業の仕組みや環境、経営の課題と展望について理解を深め、また、経営学の変遷について学ぶ。具体的には、経営学の基本的な専門用語や概念について理解し、説明できるようにする。そして、企業が社会全体に与える影響を知ることにより、企業活動の本質的な行動原理について理解し、企業活動を管理する必要性について学ぶ。									
到達目標	経営学の基本として、全体の体系と構造をまず理解すること。さらに各授業における重要な基本的知識や概念を理解し、自分の言葉で説明できるようにすること。									
学修者への期待等	経営学を学ぶことにより、企業の仕組みや企業活動の基本原則、行動原理を理解することができます。さらに社会における企業活動のあり方を捉えることができます。授業にしっかり取り組むことと同時に、新聞などの情報に触れて実際の企業活動の動きにも興味を持つことを期待します。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	「経営学」とは何か				事前学修：教科書第1章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、経営学の体系について整理をする。				30	30
2	企業の機能と制度				事前学修：教科書等で予備知識を得る 事後学修：課題を完成させ、企業の機能と制度について整理をする。				30	30
3	経営学の歴史				事前学修：教科書等で予備知識を得る 事後学修：課題を完成させ、経営学の歴史の概略について整理をする。				30	30
4	組織				事前学修：教科書2章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、組織構造の基本について整理をする。				30	30
5	人的資源管理				事前学修：教科書3章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、人的資源の活用と管理について整理をする。				30	30
6	経営戦略－1（経営戦略の概要・策定プロセス）				事前学修：教科書4章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、経営戦略の基本について整理をする。				30	30
7	経営戦略－2（経営環境分析・事業戦略）				事前学修：教科書4章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、経営戦略の方法について整理をする。				30	30
8	生産管理				事前学修：教科書5章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、生産管理の基本について整理をする。				30	30
9	マーケティング				事前学修：教科書6章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、マーケティングについて整理をする。				30	30
10	営業管理/モチベーション理論				事前学修：教科書7章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、営業管理とモチベーション理論の整理をする。				30	30
11	経営情報/SCM				事前学修：教科書12章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、経営情報とSCMについて整理をする。				30	30
12	意思決定/リーダーシップ論				事前学修：教科書8章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、意思決定の基本とリーダーシップ論について整理する。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	会計	事前学修：教科書9章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、会計の基本について整理をする。	30	30
14	財務管理	事前学修：教科書10章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、財務活動の基本について整理をする。	30	30
15	企業と社会のあり方	事前学修：教科書14章を読み予習する 事後学修：課題を完成させ、SDGsやCSRについて整理をする。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	「プレステップ経営学<第2版>」北中英明著，弘文堂			
参考文献	「経営学入門キーコンセプト」井原久光編著，ミネルヴァ書房			
備考				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-02				
	●				●					
科目名	マーケティング				単位認定者	高野 宏輝		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	50 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	「4P」といわれるプロダクト、プライス、プレイス、プロモーションを中心としたマーケティング・ミックスの考え方や、ビジネスの環境変化に対応した新しいマーケティングの方法を学ぶ。また、生産と消費を結ぶ流通がどのような機能と役割を担っているのかを、小売業を中心に学ぶ。									
到達目標	消費者として企業のマーケティング活動の内容を知り、普段の生活と企業の関わりについて身近な問題として捉える力を修得する。更に観光ビジネスが、顧客にどのような価値提供を行っているか理解する。									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような商品やサービスが、どのように提供されているか、アフターサービスはどうかなど、日常生活の中で考えて欲しい。特に実際の観光サービスの現場を観察し、学ぶべき理論との結びつきを日頃から考えること。 ・事前にテキストを熟読してくる。予習を前提としたミニテストに取り組むところから授業を始める。 									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	授業ガイダンスー授業進行と成績評価 マーケティングの成功事例				事前学修：なし 事後学修：課題提出			0	30	
2	売れる仕掛けのつくりかた 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第1章「マーケティングとは何か？」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
3	誰に買ってもらいたいのか？ 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第2章「STP①セグメンテーションとターゲティング」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
4	市場で位置を決め、顧客ニーズをつかむ 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第3章「STP②ポジショニング」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
5	売れる商品はここが違う 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第4章「4つのP①Product(製品)」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
6	価格設定のマジックを知る 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第5章「4つのP②Price(価格)」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
7	なぜ、その店で売ってもらうのか？ 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第6章「4つのP③Place(流通チャネル)」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
8	テレビ広告か、折込チラシか？ 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第7章「4つのP④Promotion(販売促進)」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
9	具体例で考えるSTPと4つのP 観光マーケターの仕事とは？動画視聴				事前学修：教科書第8章「具体例で考えるSTPと4つのP」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
10	ライバルに勝ち、業界で生き残る 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第9章「競争戦略」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	
11	私たちの買い物に何が影響されているか？ 消費者心理を知る 反転授業／グループワーク				事前学修：教科書第10章「消費者行動」を読んでくること 事後学修：課題提出			60	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
12	インターネットでの売り方の特徴 反転授業/グループワーク	事前学修：教科書第11章「eコマース」 を読んでくること 事後学修：課題提出	60	30
13	モノとサービスの売り方は、どう違う？ 反転授業/グループワーク	事前学修：教科書第12章「サービス業の マーケティング」を読んでくること 事後学修：課題提出	60	30
14	観光ビジネスにおけるマーケティングを考える ①マーケティング戦略検討 グループワーク	事前学修：観光ビジネスの成功事例を調 査してくる 事後学修：発表準備	30	60
15	観光ビジネスにおけるマーケティングを考える ②チーム発表 グループワーク まとめ（重要ポイントの振り返り）	事前学修：なし 事後学修：振り返りレポートを提出する	0	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（反転学習、グループワーク）			
教科書	「プレステップ マーケティング<第2版>」丸山正博著，弘文堂			
参考文献	必要に応じて講義中に紹介する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> 教科書での予習を前提とし，毎回UNIPAによるミニテストを実施する。解答解説を講義の中で行う。 授業終了後，振り返り課題をUNIPAより提出することを基本とする。評価はUNIPAより行い各学生へフィードバックする。 授業内で解説した配布資料以外の解説用スライドは，UNIPA上に掲載するので，必要に応じて参照すること。 受講者の理解度などにより，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

26年間旅行会社在籍し，営業，オペレーション，販促，マネジメント業務に従事。商品企画から販売に至るまで，ビジネス現場で経験したマーケティング活動の事例を紹介し，習熟すべき知識とつながるよう，分かりやすく解説する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-03				
	●				●					
科目名	観光概論				単位認定者	鎌田 貢治		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	観光は21世紀最大の産業であるといわれ、わが国でも観光立国政策に沿って内外の観光客の獲得競争が始まっている。本科目では、観光活動を産業の立場から概観し、観光が多くの個別的な産業を支えられて、最終的には豊かな国民生活に貢献していることを学ぶ。具体的には、観光活動を主な原因とする経済規模のひろがり、日本と世界のレベルで見てから、観光活動を構成する移動・宿泊・レジャーという三大要素と個別的な産業との関わりについて講義し、最後に観光活動の経済的効果についてまとめる。									
到達目標	社会全般の中での観光の位置付けを様々な観点（歴史及び現状の把握、産業別業態等）から考察をすることにより、自らが案件に対して疑問改善点等を見出す力を会得できるようにする。									
学修者への期待等	観光を考える素材は日常生活の至る所にあります。観光は身近な存在なので、当然のこのようにその意義を考えることが少ないと思われませんが、身の回りにあふれる観光に関することに注意を向けてほしい。そうすれば観光の豊かな世界が見えてきます。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	観光とは何か全体的な基礎知識				事前学修：無し 事後学修：観光とは何という点を整理する			0	30	
2	旅 旅行 観光の違いとは 基本用語の説明 産業紹介				事前学修：観光の基本用語の下調べする 事後学修：旅 旅行 観光の違いを整理する			30	30	
3	観光の歴史 観光資源とは				事前学修：観光の歴史の下調べをする 事後学修：観光資源の種類を整理する			30	30	
4	観光の現状 (SDGs オーバーツーリズム等)				事前学修：昨今の観光事情の下調べをする 事後学修：オーバーツーリズムの内容整理			30	30	
5	観光スタイルの紹介 (エコ グリーン コンテンツ等)				事前学修：観光スタイル種類の下調べをする 事後学修：興味のあるスタイルの深堀をする			30	30	
6	宮城の観光事情についての紹介及び着地型コースの作成				事前学修：宮城の観光資源を下調べする 事後学修：宮城の観光POINTを整理する			30	30	
7	テーマパーク (特にTDL USJ) の紹介				事前学修：TDL USJの概要を下調べする 事後学修：TDL USJの課題点を整理する			30	30	
8	3大作法 (特におもてなし ホスピタリティ) の違い				事前学修：3大作法の基本を下調べする 事後学修：3大作法の違いを整理する			30	30	
9	3大作法をグループによるLP発表				事前学修：3大作法の違いの深掘りをする 事後学修：各グループのLP検証をする			30	30	
10	観光に関わる産業別紹介 (宿泊 旅行 交通等)				事前学修：観光産業の種類の下調べする 事後学修：観光産業の深掘りをする			30	30	
11	グループによる全国女子旅モデルコースの作成① (行程選定)				事前学修：モデルコース作成の場所選定 事後学修：行程の観光POINTを深掘りをする			30	30	
12	グループによる全国女子旅モデルコースの作成② (内容調査) 発表				事前学修：行程内容の精査をする 事後学修：他グループ内容の検証をする			30	30	
13	K-POPと観光との関連性についての考察				事前学修：K-POPの現状の下調べをする 事後学修：観光との関連性を検証する			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	地域創生とまちづくりについて	事前学修：地域創生とは何かを調べする 事後学修：宮城の地域創生案件を検証する	30	30
15	観光全般についての振り返り（観光スタイル 産業等）	事前学修：観光とは何かを再度整理する 事後学修：観光全般の内容整理をする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（発表）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-04				
	●				●					
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	鎌田 貢治		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
	現代英語学科	選択	2年			授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。									
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。									
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象であるが、難しく考えず身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかり易くなります。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	観光ビジネスとは 観光全般産業の概略紹介				事前学修：観光ビジネス内容の下調べをする 事後学修：観光産業の概略の深堀りをする				30	30
2	観光産業の紹介N01 (宿泊業界)				事前学修：宿泊業界の概要を調べる 事後学修：宿泊業界のPOINTを深堀りする				30	30
3	観光産業の紹介N02 (航空業界)				事前学修：航空業界の概要を調べる 事後学修：航空業界のPOINTを深堀りする				30	30
4	観光産業の紹介N03 (旅行業界)				事前学修：旅行業界の概要を調べる 事後学修：旅行業界のPOINTを深堀りする				30	30
5	観光産業の紹介N04 (ウェディング業界)				事前学修：結婚式場の概要を調べる 事後学修：結婚式場のPOINTを深堀りする				30	30
6	観光産業の紹介N05 (鉄道業界)				事前学修：鉄道業界の概要を調べる 事後学修：鉄道業界のPOINTを深堀りする				30	30
7	観光産業の紹介N06 (クルーズ船について)				事前学修：クルーズ業界の概要を調べる 事後学修：クルーズ業界のPOINTを深堀りする				30	30
8	観光産業の紹介N07 (テーマパークについて)				事前学修：テーマパークについて下調べをする 事後学修：興味のあるパークの深堀りをする				30	30
9	観光産業の紹介N08 (道の駅 地域活性化)				事前学修：地域活性化とは何かを調べる 事後学修：道の駅の現状を深堀りする				30	30
10	外部講師による旅行代理店の様々な戦略等について				事前学修：インバウンドの現状を下調べする 事後学修：外部講師の講義内容を検証する				30	30
11	外部講師による留学事情と国際化について				事前学修：国際化とは何かを考察する 事後学修：外部講師の講義内容を検証する				30	30
12	グループワークによる観光産業を含めた企画案作り ① (場所の選定)				事前学修：企画を作成の留意点を下調べする 事後学修：企画内容の検証をする				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
13	グループワークによる観光産業を含めた企画案作り ② (コースの選定)	事前学修：企画内容の検証をする 事後学修：企画内容の検証をする	30	30
14	グループワークによる観光産業を含めた企画案作り ③ (まとめ確認) 発表	事前学修：企画内容のまとめ確認をする 事後学修：他のグループ内容の検証をする	30	30
15	振り返り まとめ (観光ビジネス全般について)	事前学修：観光全般の整理をする 事後学修：観光ビジネスの内容の検証をする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (グループワーク, 発表)			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-05					
	●			●							
科目名	国内観光地理				単位認定者	佐藤 美輪		試験 (レポート)	40	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
				授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	<p>本科目は、観光地の生成・機能・構造について、内外の著名な観光地を事例として取り上げて講義する。具体的には、まず内外の観光地発達史を概説した後、観光地の分布、立地、観光資源、観光産業との関わり、観光客の地域特性、観光圏・観光ルートの変遷、観光地の環境保全や世界遺産などに留意しつつ、温泉、海浜、避寒・避暑、都市、田園、山岳などにおいて、いかに観光活動が自然地理的資源、人文地理的資源を利用して誕生・発展し、観光地が開発されてきたかを学ぶ。</p>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の自然・歴史・文化・産業など、地域ごとの観光特性を理解できるようになる。 ・テキストの内容に留まらず、興味を持った観光地を自ら調べ、説明することができるようになる。 										
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習や問題演習を積極的に行ってほしい。										
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	ガイダンス／北海道地方の地理				事前学修：教科書の北海道の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
2	東北地方の観光地理①（青森・秋田・岩手）				事前学修：教科書の青森県・秋田県・岩手県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
3	東北地方の観光地理②（山形・宮城・福島）				事前学修：教科書の山形県・宮城県・福島県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
4	関東地方の観光地理①（新潟・群馬・栃木・茨城）				事前学修：教科書の新潟県・群馬県・栃木県・茨城県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
5	関東地方の観光地理②（埼玉・千葉・東京・神奈川）				事前学修：教科書の埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
6	関東地方・中部地方の観光地理（山梨・長野・静岡）				事前学修：教科書の山梨県・長野県・静岡県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
7	中部地方の観光地理（愛知・岐阜・富山）				事前学修：教科書の愛知県・岐阜県・富山県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	
8	中部地方・関西地方の観光地理（石川・福井・滋賀）				事前学修：教科書の石川県・福井県・滋賀県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。				30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	関西地方の観光地理 (京都・奈良)	事前学修：教科書の京都府・奈良県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
10	関西地方の観光地理 (三重・和歌山・大阪・兵庫)	事前学修：教科書の三重県・和歌山県・大阪府・兵庫県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
11	中国地方の観光地理 (鳥取・島根・岡山・広島・山口)	事前学修：教科書の鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
12	四国地方の観光地理 (香川・徳島・愛媛・高知)	事前学修：教科書の香川県・徳島県・愛媛県・高知県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
13	九州地方の観光地理 (福岡・佐賀・長崎・熊本)	事前学修：教科書の福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
14	九州地方・沖縄の観光地理 (大分・宮崎・鹿児島・沖縄)	事前学修：教科書の大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
15	総まとめ	事前学修：14回までの授業の復習をして、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード ()			
教科書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト1 観光地理 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版 「旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集1 観光地理 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版			
参考文献	必要に応じて紹介する。また必要に応じて適宜プリントを配布する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 ・本科目は遠隔（オンデマンド配信）にて実施する。 ・授業への疑問等については，次回以降の授業でフィードバックを行う。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

科目ナンバリング
TB-1-FC0-08

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●			

科目名	実践文章作成演習				単位認定者	小里 千寿		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業形態	演習		授業時間数	30 時間
				授業回数	15 回					

授業の概要
 文章を書くことが苦手だという学生が増えており、通常のレポートなどばかりでなく履歴書・エントリーシートを作成する際に苦労しているケースも多い。しかし、文章力は一朝一夕に身につくものではないため、一定の期間を通して学ぶ必要がある。文章作成の基本から学び、毎回、課題を出して添削し、文章力を培っていく。また、本を読まないことが文章が書けない一因にもなっているため、読書と感想文などの課題を通して、文章力の向上を目指す。

到達目標
 自分の考えを明確に示す説得力のある文章作成能力を身につけ、様々な目的別に文章を書き分けられるようになる。

学修者への期待等
 毎回、文章作成の実技があり、添削をして返却する。その添削された箇所を修正して再提出する形になるため、意欲的に取り組み、自分の文章力を向上させる努力を惜しまない学生の積極的な参加を期待する。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス、進め方についての説明	事前学修：なし 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	0	60
2	仮名遣い・送り仮名	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
3	漢字の使い分け	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
4	句読点	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
5	見やすい標記	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
6	四字熟語・ことわざ・慣用句	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
7	Eメールの作法	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
8	自分の価値観を知る（サビカスCCT理論のワーク）	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
9	自分の価値観を知る（背景にある理論，ワークの説明）	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
10	自分の価値観を知る（グループワークの準備）	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
11	自分の価値観を知る（グループワークの実践）	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
12	自分の価値観を知る（グループワークのまとめ）	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	自己PR-会ってみたいと思わせる文章とは- (ディスカッション)	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
14	志望動機-説得力のある文章とは- (ディスカッション)	事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容と課題（社説）のまとめ	30	60
15	まとめ	事前学修：これまで学んだことの整理 事後学修：今後の学びについての整理	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、ディスカッション）			
教科書	必要に応じて適宜配布する。文章力強化のため課題（社説の要約）を毎回提示する（まとめたものを次回に提出する）。			
参考文献	授業でそのつど提示する。			
備考	状況により順番や進度，内容を変更することや，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降授業でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-09				
	●	●								
科目名	フィールドワーク概論				単位認定者	田中 瑠莉		試験 (最終レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題 (中間レポート)	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、フィールドワークの学術史や学問的意義を含めその手法を学び、体系的にフィールドワークを理解することを目的としている。特に、観光地にてフィールドワークを行う際に必要とされる基本概念と分析枠組みに関して、人類学的な理解の土台に立ちつつ、多角的に観光地や観光現象を分析・考察するために必要な知識を身につける。また、本学科では在学中に様々な調査地でフィールドワークを実施する機会があるため、それらの機会を有意義なものにし、自主的にフィールドワークに取り組む姿勢を養う。</p>									
到達目標	<p>文化人類学的なフィールドワークに関する学問的知識や心得を理解し、多角的な視点から物事を考えられるようになる。ならびに聞き取りや観察、データ整理、分析、報告書やレポート執筆などの一連の質的研究手法に必要な知識を獲得し、調査計画を立てられるようになる。そして在学中に行われるフィールドワークなどにおいて、その知識を活用することができる。</p>									
学修者への期待等	<p>各回の授業内容を理解し、1回ごとの授業を有意義なものするように各自努めること。参考文献等に積極的に目を通し、予習復習を進めること。毎回、質問を考えながら講義を聞くこと。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	ガイダンス/本講義の扱うフィールドワーク				事前学修：フィールドワークに対してどのようなイメージを持っているか、考える。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
2	フィールドワークの思考法—観光との違い				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
3	文化人類学におけるフィールドワークの成立背景と展開				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
4	フィールドワークとは何か—「他者」を描く・理解する				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
5	観光人類学の理論—先人は観光をどのように見てきたか				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
6	現場を描き出す—具体的対象と抽象的思考				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	
7	フィールドワークの計画を立てる				事前学修：前回までの授業内容をもとに、どのようなフィールドワークをしてみたいか考えてみる。 事後学修：事前に考えていたことについて、授業内容をふまえて見直す。			30	30	
8	聞き取りの方法論				事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	調査されることの迷惑—倫理と個人情報について	事前学修：前回の授業内容を復習し、聞き取りではどのように質問したらよいか想像してみる。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。	30	30
10	レポート・報告書の作成方法	事前学修：特になし 事後学修：【授業内課題】期日までに、与えられたテーマで形式に沿ったレポートを作成する。	0	60
11	観光研究とフィールドワーク①沖縄県の事例	事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：沖縄県の観光について調べ、どのような調査ができそうか考える。	30	30
12	観光研究とフィールドワーク②対馬市の事例	事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：長崎県（対馬市）の観光について調べ、どのような調査ができそうか考える。	30	30
13	フィールドワーク色々—他分野のフィールドワークとフィールドワークの応用	事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。	30	30
14	現地調査において想定される問題とその対処法	事前学修：前回の授業内容を復習し、説明できるようにしておく。 事後学修：実際に調査計画を立てて、想定されるトラブルとその対策を考えてみる。	30	30
15	総括・ふりかえり—観光現象のフィールドワーク	事前学修：前回までの授業内容を復習し、重要な観点をあらかじめまとめておく。 事後学修：内容を復習し、分からなかった点については自主的に調べる。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	特になし			
参考文献	『フィールドワークへの挑戦 実践人類学入門』菅原和孝編，世界思想社 『観光人類学のフィールドワーク ツーリズム現場の質的調査入門』市野澤潤平ほか2名編，ミネルヴァ書房 『エスノグラフィー入門』小田博志，春秋社			
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。配信期間や課題内容の指示等も含め各自UNIPAを随時確認し、授業に臨むこと。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-2-CC0-01				
	●									
科目名	英語Ⅱ				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	英語Ⅰで学修した基本表現の「聞く」・「話す」活動に加え、「読む」・「書く」活動も取り入れ、総合的な英語力の向上を目指す。									
到達目標	基本的な英語を用いて、簡単な意思表示や問題解決が出来るようになる。 観光に関する英語表現についてもさらに学修し、観光の現場における基礎的なコミュニケーションに自信が持てるようになる。									
学修者への期待等	授業にはテキスト、辞書を持参すること。授業前には該当箇所の音声ダウンロードし、予習を行うこと。 各回に行うペアワーク、会話練習やロールプレイに積極的な姿勢で臨むこと。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	英語Ⅱの授業の進め方について/ 予習・復習の方法				事前学修：シラバスの内容を確認する。 事後学修：授業の流れを把握する。				30	30
2	Unit 8 At the restaurant-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 8 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。				30	30
3	Unit 8 At the restaurant-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 8 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30
4	Unit 9 Shopping-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 9 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。				30	30
5	Unit 9 Shopping-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 9 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30
6	Unit 10 Lost and Found-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 10 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。				30	30
7	Unit 10 Lost and Found-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 10 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30
8	Unit 11 Using public transportation-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 11 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。				30	30
9	Unit 11 Using public transportation-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 11 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30
10	Unit 12 Renting a bike-1 語彙と内容理解				事前学修：Unit 12 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。				30	30
11	Unit 12 Renting a bike-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz				事前学修：Unit 12 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
12	Unit 13 Finding your way around-1 語彙と内容理解	事前学修：Unit 13 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。	30	30
13	Unit 13 Finding your way around-2 ペアワークによる発音練習とロールプレイ, Quiz	事前学修：Unit 13 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。	30	30
14	Unit 14 Medical Care-1 語彙と内容理解	事前学修：Unit 14 Vocabularyを予習する。 事後学修：音声をダウンロードし復習する。	30	30
15	Unit 14 Medical Care-2 全体の振り返り	事前学修：Unit 14 Useful Expressionsの練習をする。 事後学修：学修内容の自己評価を行う。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ロールプレイ、ペアワーク）			
教科書	TakeuchiM., NakaiN.& Sugawara C. (2025). <i>Enjoy Your Trip! English you need abroad. (Revcised Version)</i> Nan'un-do.			
参考文献	資料は随時UNIPAより配信する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時に授業への疑問などをUNIPAにReactionとして提出してもらい、次回にフィードバックを行う。 ・状況によって進度や順番に変更が生じる場合や、遠隔授業で実施する場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地理理解力
		●	●		

科目名	ビジネスマナー				単位認定者	今井 恵美子		評価の方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内 課題等	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>社会人として必要とされる基礎的なマナーを身につける。具体的には、敬語や接遇用語の使い方、電話応対や接遇の仕方、ビジネス文書の作成など、職場において必要とされるビジネス能力の基本を身につける。また、学んだビジネスマナーを職場において実践できるよう、講義に加えロールプレイングなども取り入れる。</p>									
到達目標	<p>①ビジネスマナーの基本を理解し実践できるようになる。 ②社会人としての心構えを理解し実践につなげられるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>ビジネスマナーは自然に過ごして身につけられるものではない。学修したことを日常生活などで実践して身につけてほしい。また、受講態度について、他の受講者への影響を踏まえ節度のある言動を期待する。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス ビジネスマナーへの導入 (授業の進め方とルール、評価について)				事前学修：シラバスを読んで臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
2	社会人としての心構え ①職場の基本的なマナー (ペアワーク・グループワーク)				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
3	②職場の人間関係				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
4	③変動する社会に求められること				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
5	ビジネスコミュニケーション ①話し方の基本と話の聞き方の基本				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
6	②指示の受け方と報告の仕方 (ペアワーク・グループワーク)				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
7	③敬語の基本と間違いやすい敬語表現 練習問題実施 (ペアワーク)				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
8	④身だしなみと礼儀作法・基本動作 (一部演習ロールプレイを実施)				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
9	電話対応のマナー① 電話の特性の理解 受け方の基本				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
10	電話対応のマナー② 伝言メモの作成 様々な対応の実際 電話のかけ方				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
11	来客対応のマナー① 来客対応流れ・受付の要領・取次・面談を断る場合				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30
12	来客対応のマナー② 案内の仕方・お茶の出し方・見送り ケーススタディ				事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	訪問のマナーと席次のマナー	事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
14	Eメールなどのマナー	事前学修：該当のページの予習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
15	学修成果のまとめ (一部グループワークを実施)	事前学修：自己の学修への振り返りを実施しA4版枚にまとめて提出 事後学修：なし	60	0
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペアワーク，グループワーク）			
教科書	「知っておきたい ビジネスマナー」 ウィネット			
参考文献	必要に応じて適宜紹介する			
備考	1. 受講者の理解度・効果等により講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 2. 授業内課題については，講義において解説を行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-2-CC0-04					
	●	●									
科目名	情報機器演習				単位認定者	氏家 留美子		試験(筆記)	50	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	20	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	30
				授業回数			15 回				
授業の概要	<p>OS(基本ソフト)の基本的な操作ができ、Word(文書作成能力)、Excel(情報加工技術)、Power Point(情報の視覚的表現)の一般的な操作を修得したものがWord及びExcelの応用的な使用方法を修得し、日常業務で必要とされる機能を学ぶ。</p> <p>さらに、それぞれのソフトウェアの持っている特有の機能を効率的に使用し、Word・Excel・Power Pointを連携して操作をする手法を学ぶ。具体的には、Excelを使用してデータ分析を行い、グラフや表を作成し、WordやPower Pointをリンクして使用できるスキルを修得することで、情報機器を使用した効率的な業務遂行力を育成する。</p>										
到達目標	<p>Word・Excelの外部試験であるMOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)一般レベルの合格スキルを身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示に基づいて、正確に操作を実行できるようになる。 模擬試験を通して、操作の意図を理解し応用的な設定を自力で判断して行える。 学修した技術をもとに、社会人として業務で求められる文書作成・データ処理能力を体系的に身に付け、常にパソコンスキル向上を目指す。 										
学修者への期待等	<p>授業では試験問題の解答方法・出題傾向を確認しながら、問題を通して各機能が業務でどのように使われるかも含めた内容となる。操作の丸暗記ではなく各機能の活用方法を理解し、使用する環境が変わっても応用できる力を身に付けてほしい。授業で取り上げた問題を理解後は、より多くの問題に積極的に挑戦しパソコンスキルを向上してほしい。</p> <p>テキストを毎回必ず持参すること。</p> <p>なお、1～7回目まではWordのテキストを持参すること。</p> <p>Excelのテキストは8回目以降で使用するため、1回目の授業から持参する必要はない。</p> <p>データを保存するためのUSBメモリを準備するのが望ましい(1回目の授業で説明するので各自準備すること)</p>										
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	MOS試験の概要と出題範囲の確認 Word：文字書式・段落書式・スタイル・ページ区切り・段組み・段区切り・セクション区切り				事前学修：Word「出題範囲2」の操作を確認しておく 事後学修：「出題範囲2」確認問題(97ページ)を操作する				30	30	
2	Word：プロパティ・ヘッダーフッター・ページ番号・表の挿入と編集・箇条書きや段落番号の設定				事前学修：Word「出題範囲3」の操作を確認しておく 事後学修：「出題範囲3」確認問題(133ページ)を操作する				30	30	
3	Word：検索・他のファイル形式での保存・文書の検索・図形や画像の編集・スマートアート				事前学修：Word「出題範囲1と5」の操作を確認しておく 事後学修：「出題範囲5」確認問題(199ページ)を操作する				30	30	
4	Word：脚注と文末脚注・目次作成・コメント機能・変更履歴				事前学修：Word「出題範囲4と6」の操作を確認しておく 事後学修：「出題範囲4」確認問題(147ページ)と「出題範囲6」確認問題(221ページ)を操作する				30	30	
5	Word：模擬試験を使った演習1 書式設定・図形挿入・画像編集・スマートアート・箇条書き・表編集など				事前学修：これまでの内容で慣れていない操作を再度練習しておく 事後学修：自分のパソコンにもWord模擬試験プログラムをインストールし、操作した模擬試験を再度練習する				30	60	
6	Word：模擬試験を使った演習2 検索・表編集・図形の編集・変更履歴・目次挿入・脚注の作成など				事前学修：模擬試験プログラムで点数が取れるように練習しておく 事後学修：模擬試験結果を振り返り、改善点を確認する				60	60	
7	Word：模擬試験を使った演習3 セクション区切り・コメント機能・目次・文末脚注・文書のプロパティなど				事前学修：模擬試験プログラムで点数が取れるように練習しておく 事後学修：第4・5回の模擬試験も追加練習する				60	60	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
8	Excel : ページ設定・ヘッダーフッター・行高・列幅・ウィンドウ枠の固定・形式を選択して貼り付け	事前学修: Excel「出題範囲1」の操作を確認しておく 事後学修: 「出題範囲1」確認問題(81ページ)を操作する	60	30
9	Excel : グループ化・条件付き書式・テーブル・並べ替え・フィルター	事前学修: Excel「出題範囲3」の操作を確認しておく 事後学修: 「出題範囲3」確認問題(169ページ)を操作する	60	30
10	Excel : 名前・相対参照・絶対参照・複合参照・別シート参照の数式・構造化参照	事前学修: Excel「出題範囲4 (171~186ページ)」の操作を確認しておく 事後学修: 「出題範囲2」の授業で取り上げなかった部分と「出題範囲2」確認問題(147ページ)を操作する	60	60
11	Excel : 基本関数・個数を数える関数・配列関数・文字列関数	事前学修: Excel「出題範囲4 (187~200ページ)」の操作を確認しておく 事後学修: 「出題範囲4」確認問題(201ページ)を操作する	60	30
12	Excel : グラフ・スパークライン・他のファイル形式のインポート	事前学修: Excel「出題範囲5」の操作を確認しておく 事後学修: 「出題範囲5」確認問題(229ページ)を操作する	60	30
13	Excel : 模擬試験を使った演習1 ハイパーリンク挿入・グラフ編集・関数・データのインポートなど	事前学修: これまでの内容で慣れていない操作を再度練習しておく 事後学修: 自分のパソコンにもExcel模擬試験プログラムをインストールし、操作した模擬試験を再度練習する	30	60
14	Excel : 模擬試験を使った演習2 表示モード・テーブル・別シートを参照する数式・名前・並べ替えなど	事前学修: 模擬試験プログラムで点数が取れるように練習しておく 事後学修: 模擬試験の結果を振り返り、改善点を確認する	60	60
15	Excel : 模擬試験を使った演習3 テーブル内の数式・名前を使った数式・ヘッダーフッター・スパークラインなど	事前学修: 模擬試験プログラムで点数が取れるように練習しておく 事後学修: 第4・5回の模擬試験も追加練習する	60	60
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり: キーワード ()			
教科書	「よくわかるマスター MOS Word365 対策テキスト&問題集」FOM出版 「よくわかるマスター MOS Excel365 対策テキスト&問題集」FOM出版			
参考文献	進行に応じてプリントを配付することもある。			
備考	授業は情報処理室で教室のパソコンを使用して実施する。授業中にパソコンの操作手順を示す場合は、講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム(SkyClassesMng)を利用する。 授業内容は、クラス全体の操作の進捗により前後する場合もある。 「試験」は、Word・Excelの使用方法に関する筆記試験を行う。 「授業内課題」は、指示したファイルをデータ形式で提出する。以後の授業でフィードバックを行う。 なお、当科目は2クラスに分けて実施する。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

科目ナンバリング
TB-3-ECO-02

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●	●		

科目名	エアラインビジネス実務				単位認定者	加藤 雅子		評価の方法	試験(筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	10 %
						授業形態	講義		授業時間数	30 時間
				授業回数	15 回					

授業の概要
 交通ビジネスは、科学技術の進歩とともに発展を遂げ、観光ビジネスと非常に密接な関係性を有する事業である。
 とりわけ航空産業は、幅広い分野が関連し、支えあっている。本科目では、航空ビジネスの基礎を学び、空港における多様なビジネスについて理解する。また、現場で求められるスキルが何であるかを学習し、そのスキルアップのための能力開発を行う。

到達目標
 航空業界の歴史と現況を把握した上で、サービス、幅広い職種及び業務内容について理解を深める。また、航空業界で求められる接客マナーやコミュニケーションの基礎を座学と実践を通して修得し、就職活動や職場生活、社会生活で活かせるようにする。

学修者への期待等
 航空業界、及び関連業界（ホテル、旅行、交通ビジネス、観光ビジネス等）に深い興味、関心を持ち、ニュースや新聞・雑誌等から積極的に情報を収集し、自分の考えや意見を具体的に述べられるように準備してください。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	航空業界・インバウンド事業への導入 ※グループワーク	事前学修：航空ビジネスをイメージする。航空ビジネスを学ぶ目的・意味を確認する。 事後学習：授業内容を復習し、航空業界について学ぶ意識を高めておく。	30	30
2	航空業界で求められる人材とスキル 航空会社の接客・接客マナー ※グループワーク	事前学修：航空業界で求められる人材はどのような人材かを考えておく。 事後学習：授業で配布する資料を読み、必要に応じてワークをしておくこと。	30	30
3	第一印象の重要性と印象に残る自己紹介 ※立ち居振る舞い実践練習及びグループワーク	事前学修：印象に残る自己紹介の準備をしてくる。航空業界に相応しい身嗜みに整える。 事後学習：立ち居振る舞い、自己紹介の振り返りをし、印象力UPを目指す。	30	30
4	正しい敬語と言葉遣い 航空業界接客用語・待遇表現	事前学修：配布資料を読む。生活の中で使い方に悩む言葉遣いをピックアップしておくこと。 事後学習：授業内容を復習し、普段から言葉遣いを意識して生活する。	60	30
5	コミュニケーションの重要性 異文化コミュニケーション ※グループワーク	事前学修：配布資料を読み内容を理解しておく。異文化について意見や考えを纏めておく。 事後学習：授業内容を復習し、理解を深める。コミュニケーションを取る際に意識すること。	30	30
6	航空業界のサービスとホスピタリティ CSとES(顧客満足と従業員満足) ※グループワーク	事前学修：サービスとホスピタリティ、CSとESについて調べておく。 事後学習：授業内容を復習し、理解を深める。	30	30
7	航空業界の歴史と各航空会社の取り組み ～航空同盟・LCC・マイレージサービス・コードシェア・インバウンド対策～	事前学修：国内・LCC・外資系の各エアラインの特徴について調べておく。 事後学習：学習内容を復習し、航空ビジネスへの理解を深める。	60	30
8	航空ビジネスの多様性と働き方① ～航空機に携わる仕事、旅客・グラウンドハンドリング～	事前学修：興味のある航空会社、職種、働き方について具体的に調べておく。 事後学習：学習内容を復習し、航空ビジネスへの理解を深める。	60	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	航空ビジネスの多様性と働き方② ～業界・職種・企業研究～ ※グループワーク	事前学修：配布資料を読み、ワークを進めておくこと。 事後学習：授業内でのワークをさらに深掘し、纏めておくこと。	60	60
10	新聞ワーク① (航空・観光・その他のサービス業界のニュース) ※グループワーク・発表	事前学修：航空業界に関する情報を新聞・ニュース等から収集し、意見、感想を纏めておく。 事後学習：学習内容を復習し、継続してニュースに興味・関心を持って情報収集をする。	60	30
11	新聞ワーク② (航空・観光・その他のサービス業界のニュース) ※グループワーク・発表	事前学修：航空業界に関する情報を新聞・ニュース等から収集し、意見、感想を纏めておく。 事後学習：学習内容を復習し、継続してニュースに興味・関心を持って情報収集をする。	60	30
12	航空会社各種サービス ～機内食・プライオリティゲストサービス・各宗教に対応したサービス～ ※グループワーク	事前学修：配布資料を読み、キーワードの意味等を理解しておくこと。 事後学習：学習内容を復習し、理解を深めておくこと。	30	30
13	空港コード・エアラインコード・時差計算	事前学修：配布資料を読み、内容を理解しておくこと。 事後学習：授業内容を復習しておくこと。時差計算の問題を解き、次回の授業で提出すること。	30	30
14	航空業界用語 CA/GSのアナウンス練習 ※発声・表情・話し方実践練習	事前学修：航空業界用語の意味を調べて確認しておく。アナウンスの練習をしておくこと。 事後学習：授業内容を振り返ること。	60	30
15	全体の総復習及び重点項目の確認	事前学修：これまでの講義全体を振り返り、内容を明確にしておく。分からないことは、授業内で確認すること。 事後学習：全15回の授業内容を再度振り返り、理解を深め、航空会社受験や普段の生活に活かすこと。	60	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（実践練習，グループワーク，グループ討議）			
教科書	授業ごとに資料配布			
参考文献	①各航空会社時刻表及びHP ②「航空業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本」吉田力 著，第2版 秀和システム ③「AIRLINE」「AIR STAGE」イカロス出版 ④日本政府観光局HP その他，授業時に適宜紹介			
備考	本科目の内容は，航空業界受験やホテル・旅館等のサービス業界受験に繋がります。 課題に関する学生へのF/Bは，提出物にコメントを記載して返却，また，授業内で全体で振り返りを行います。 授業で配布する資料は，必ずファイリングをし，いつでも振り返りが出来るようにしてください。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
実務経験の概要：元大手航空会社国際線CAとして13年乗務。教官として，邦人・外国人CAの教育・育成も担当。現在は，マナーやコミュニケーションを中心としたテーマで企業や官公庁での人材教育や講演を行っています（講師歴17年）。実務経験からのより具体的且つポイントを押さえた内容で実践的な授業を展開し，航空業界に関する知識や接遇マナー・コミュニケーション力を習得できるように導きます。

科目ナンバリング
TB-3-ECO-03

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			●

科目名	鉄道ビジネス実務				単位認定者	紺野 純一		評価の方法	試験 (レポート)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位			
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>交通ビジネスは、科学技術の進歩とともに発展を遂げ、観光ビジネスと非常に密接な関係性を有する事業である。</p> <p>本科目では、主に鉄道ビジネスに焦点を当て、鉄道の発達の歴史、ビジネスモデル及び観光との関係性について学び、現状の問題点や今後の課題について考察する。また、バス等の他の交通ビジネスの概要についても学ぶ。</p>									
到達目標	<p>鉄道を中心に交通機関と観光における関係、観光全般に及ぶ概要を習得し将来の職業選択に役立てることを目標とする。</p>									
学修者への期待等	<p>昨今、観光はインバウンドの拡大やデジタルの発展等社会経済環境の大きな変化とともに地域振興にも多大な貢献をする、国の一大成長産業になりつつある。観光が経済の発展に繋がることと、少子高齢化社会の到来において交流人口の拡大が地域活性化に重要であることを認識し、観光産業や交通機関に将来従事する学生が増えることを期待している。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	観光交通の全体概要Ⅰ (交通機関の発展や観光の初歩的概念を学ぶ)				事前学修：日本の交通機関について概況を調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
2	観光交通の全体概要Ⅱ (近年の新幹線網や航空機、観光との関連を学ぶ)				事前学修：近年の新幹線や航空機を使用した旅行について、従来との違いを調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
3	観光の定義と観光発達の歴史				事前学修：観光発達の歴史について調べてくること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
4	観光関係制度など				事前学修：観光関係の制度について調べてくること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
5	観光の現状（インバウンドの現状）				事前学修：インバウンドについて調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
6	観光に関する仕組み（移動のテクノロジー）				事前学修：鉄道の交通機関について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
7	観光と鉄道事業についてⅠ (列車ダイヤ・制度・運賃など)				事前学修：前回の授業をもとに鉄道の交通機関について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
8	観光と鉄道事業についてⅡ (イベント車両・特別企画乗車券・旅行商品など)				事前学修：前回の授業をもとに鉄道の交通機関について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
9	観光と航空機・バスなどの現状				事前学修：航空機の交通機関について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
10	観光と宿泊施設について	事前学修：ホテル・旅館について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
11	旅行エージェントと観光の現状	事前学修：旅行エージェントについて調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
12	観光関連施設とビジネスシステム	事前学修：観光について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
13	観光に関するブランド戦略・マーケティング	事前学修：観光について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
14	地方創生と観光・交通機関の役割	事前学修：地方創生について調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
15	全体のまとめ	事前学修：これまでの授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	「観光学キーワード」山下晋司編著，有斐閣双書			
参考文献	「観光経営学入門」千葉千枝子 編著，健帛社			
備考	授業への疑問等については，次回以降授業にフィードバックを行う。状況により順番や進度，内容に変更が生じる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

元国鉄・JR職員，仙台ターミナルビル（株）専務取締役総支配人等の経歴を経て，現東北観光推進機構理事長。観光業界における実務経験から，鉄道交通ビジネスについて分かりやすく解説し，実践的な授業を展開することができる。

科目ナンバリング
TB-3-ECO-04

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			●

科目名	宿泊ビジネス実務				単位認定者	紺野 純一		評価の方法	試験 (レポート)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位			
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	「ホテルの仕組」、「ホテル経営」、「ホテルと社会関係」等について実務的なケースも含めて学習し、「ホテルビジネス実務」の人材育成の基礎を身につける。ビジネス需要だけでなく、観光客の需要拡大がホテル経営に密接な関係を持っていることから、観光業についても学ぶ。									
到達目標	ホテルの歴史は、社会経済の変化に伴い、ハード・ソフトともに変革してきたので、社会背景や一般常識を修得し、将来の職業選択の一助にする。									
学修者への期待等	「サービス業」のやりがいと厳しさを授業の中で学ぶとともに社会的な使命についても習得する。併せて、外国からのお客様が増えている状況下で本講義を通じて視野を拡大して欲しい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	イントロダクション：ホテル業について インバウンドとアウトバウンド				事前学修：ホテル業界が利用者に対し提供しているサービスを調べてくること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
2	ホテルの誕生と発展、欧米・日本のホテル				事前学修：欧米のホテルと日本のホテルの違いについて考えてくること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
3	ホテル産業の現状と展望				事前学修：ホテル業界の概況を調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
4	ホテル関係商法と語源（経営形態による分類）				事前学修：仙台市内のホテル状況を調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
5	ホテル組織				事前学修：仙台市内のホテル状況を調べておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
6	ホテル経営（ホテル業務）宿泊部門				事前学修：仙台市内のホテルを視察して みること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
7	ホテル経営（ホテル業務）飲料部門（1）				事前学修：仙台市内のホテルを視察して みること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
8	ホテル経営（ホテル業務）飲料部門（2）				事前学修：仙台市内のホテルを視察して みること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
9	ホテル経営（ホテル業務）総務・企画部門				事前学修：仙台市内のホテルを視察して みること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30
10	ホテル管理運営				事前学修：仙台市内のホテルを視察して みること。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
11	ホテルマーケティングと販売促進(1) ホテルマーケティングと宣伝媒体	事前学修：旅行エージェントを訪問し、ホテルパンフレットで学んでおくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
12	ホテルマーケティングと販売促進(2) ホテルマーケティングと販路拡大	事前学修：旅行エージェントを訪問し、ホテルパンフレットで学んでおくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
13	新しい時代におけるホテル経営	事前学修：デジタルに関することを調べておくこと。(SNS等) 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
14	ホテルの地域における役割とホスピタリティ 宿泊ビジネスに関する発表	事前学修：今まで学んできたことをサービスの視点で発表できるように準備しておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
15	観光・旅行業界は旅行会社とホテルの関連 宿泊ビジネスに関する発表	事前学修：今まで学んできたことをサービスの視点で発表できるように準備しておくこと。 事後学修：授業で学んだことを配布資料をもとに復習すること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード(発表)			
教科書	特になし			
参考文献	「ホテル業界の動向とカラクリがよ〜く分かる本」[第5版] 中村 恵二著、榎木 由紀子著、南 まい著 秀和システム新社			
備考	授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。第14回、第15回の「宿泊ビジネスに関する発表」は履修人数によって分けて実施する。状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

元国鉄・JR職員、仙台ターミナルビル(株)専務取締役総支配人等の経歴を経て、現東北観光推進機構理事長。ホテル・観光業界における実務経験から、ホテル経営についての歴史や業務について解説し、各部門での具体的事例を交えた実践的な授業を展開することができる。

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●	●								
科目名	ホテル・ブライダルサービス				単位認定者	小里 千寿 小野寺 理恵		※詳細は「備考」欄を参照すること。			
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法			
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間				
				授業回数	15 回						
授業の概要	2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界について、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。										
到達目標	実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで、より具体的にホテルサービスを理解できるようにする。										
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習を積極的に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え、東北を訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービスを自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	ガイダンス：ホテルサービスの概要				事前学修：ホテルサービスについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
2	ホテル・サービス：宴会サービスについて				事前学修：宴会場での仕事について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
3	ブライダル部門について				事前学修：ブライダル部門について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
4	ホテルサービス：レストランサービスについて				事前学修：レストランの仕事について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
5	～プロフェッショナル講義～ ①ソムリエ ②SAKE DIPLOMA				事前学修：ソムリエ・SAKE DIPLOMAについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
6	～プロフェッショナル講義～ 日本料理テーブルマナープラン				事前学修：日本料理のテーブルマナーについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
7	宿泊部門について				事前学修：宿泊部門について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
8	インバウンド概論				事前学修：日本のインバウンド観光について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
9	グループディスカッション 「お客様の期待を超えるサービスとは」				事前学修：これまでの内容を復習 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
10	プレゼンテーション, レポート課題説明	事前学修: 内容を復習し, プレゼンテーションに向けた準備 事後学修: 内容復習, レポート課題	30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ
11	授業の進め方・評価の仕方・Bコーディネーターの身だしなみ・名刺交換・ペンの渡し方 (ペアワーク)	事前学修: ウェディングプランナーについて各自あらかじめ調べておくこと。 事後学修: 実技の復習	30	30	小野寺 理恵
12	プリント (WBJ)	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: プリント復習	30	30	小野寺 理恵
13	実技テストの解説 (名刺渡し&スケジュール説明)と練習	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: 実技の復習	30	30	小野寺 理恵
14	模擬挙式体験 (ゲストとして参加) ※ホテル開催 (2年: 「ウェディングブライダル演習」第14回と合同)	事前学修: 人前式について調べる 事後学修: 模擬挙式に参加した感想文作成	30	30	小野寺 理恵
15	模擬挙式に参加した感想文提出&実技テスト	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: 今までの復習	30	30	小野寺 理恵
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (グループディスカッション, プレゼンテーション, ペアワーク, 実技)				
教科書	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会				
参考文献	「ホテルビジネス基礎編」一般財団法人日本ホテル教育センター 「新ホテル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター				
備考	状況により順番や進度, 内容に変更が生じる場合や, 遠隔授業で実施する場合がある。第1回～第10回授業までは, 小里千寿と現役ホテリエ (ホテルメトロポリタン仙台スタッフ) が担当する。第11回～第15回はブライダルコーディネーター (小野寺理恵) が担当する。 <評価の方法> 小里 千寿: 第1回～10回 - 授業内課題: 70%, 受講態度30% 小野寺 理恵: 第11回～15回 - 授業内実技試験: 80%, 受講態度: 20%				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ) 現役のホテリエと各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて, ホテリエに求められているマインドやスキル, サービスについての授業を行うことができる。
(小野寺 理恵) ブライダルコーディネーター, 美容師, アテンド, 司会者として34年の実務経験を有する。携わってきた業務の経験を活かし, 具体的事例を交え説明する。(ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する)

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●	●		

科目名	ブライダルビジネス実務				単位認定者	小野寺 理恵		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				

授業の概要
 本科目ではブライダルビジネスに関する基礎的な仕組みを理解することを目的とする。ブライダルビジネスの業態や業種、歴史やブライダルサービスに関する知識を習得するとともに、ブライダル実務能力の基礎を身につける。

配布プリント
 結婚式のスタイルが多様化していくにつれ結婚式を演出するニーズも高まっている現在、ブライダルのどの業種に就職しても対応できるよう基礎知識を身につけ、ブライダルコーディネーター技能検定合格を目指す。

学修者への期待等
 現在のブライダル事情を理解し、人材の役割やスキルについても知識を深めてほしい。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	ブライダルコーディネーター基礎知識・プランナーDVD鑑賞	事前学修：Bコーディネーターについて調べる 事後学修：配布プリントを用いて復習	30	30
2	(結婚とは?) ブライダルビジネス・プランナーDVD鑑賞	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
3	(ブライダルの基礎) ブライダル集客システム他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
4	(ブライダルの基礎) ブライダル準備, キリスト教式他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
5	(コーディネーター業務) 新規業務とブライダルセールス他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
6	(コーディネーター業務) プランニング, 新規アフターフォローと成約業務他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
7	(打合せ業務他) 成約から初回打合せ<REPORT①～ No100まで提出>	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	90
8	(打合せ業務 他) 中間～最終打合せ(当日)まで	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
9	(コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 他) 空間デザイン, 衣裳選定, フラワーアイテム他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
10	(コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 他) 美容, 会場・テーブルコーディネート他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
11	(ブライダルの基礎と手配業務) ペーパーアイテム, 美容他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
12	(ブライダルの基礎と手配業務) 挙式・披露宴演出手配他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
13	(ブライダルの基礎と当日業務) 進行表, テーブルセッティング, サービス業務, 花の管理他	事前学修：配布プリント予習 事後学修：レポート準備	30	30
14	過去問プリント復習(頻出問題中心)	事前学修：過去問熟読 事後学修：レポート準備	30	60
15	グループディスカッション<REPORT② 7月末提出>	事前学修：過去問熟読 事後学修：レポート作成	30	90

アクティブ・ラーニング
該当なし
該当あり：キーワード(グループディスカッション)

教科書	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
参考文献	特になし
備考	毎回、テキストや配布プリントを熟読してください。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
<p>ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル分野（プランナー・美容師、司会、アテンド等）で34年の実務経験がある。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）。</p>	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-09				
		●	●							
科目名	秘書実務				単位認定者	今井 恵美子		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	秘書に求められる職務知識について理解する。具体的には、接遇や電話対応、交際業務、ビジネス文書作成やファイリング、スケジュール管理など、秘書の職務を遂行するために必要な技能を取り上げ、実践的に学んでいくことにより、秘書のみならず事務系の職種に対応できる能力を身につける。									
到達目標	①秘書業務を通して、組織人として求められる資質と基本的な仕事の処理の仕方を理解できる。 ②秘書としての役割を理解することで「きちんと」「丁寧」について理解し体現できるようになる。 ③自己の言動が周囲に及ぼす影響について意識した表現方法を実践できるようになる。									
学修者への期待等	受講に際し、節度ある受講態度を期待する。講義の妨げになる言動、遅刻には十分注意して臨んでほしい。単元ごとに確認テストを実施。履修希望者は、必ず1回目の講義を受講のこと。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	授業の進め方と評価、検定の概要 秘書学の導入				事前学修：シラバスの内容を確認し受講する 事後学修：自己の目標設定し提出			30	60	
2	必要とされる人柄と資質・求められる能力				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：秘書の資質で身につけたいものについてまとめて提出			30	30	
3	秘書の職務・仕事の進め方				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
4	検定試験研究過去問題から理解を深める（理論領域）				事前学修：これまでの復習を実施する 事後学修：自己の課題を明確にする			60	30	
5	マナー・接遇領域① 接遇用語と相づちの活用				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
6	マナー・接遇領域② 電話対応（言葉遣い小テスト実施）				事前学修：小テストに向けた学修をする 事後学修：間違い箇所を再度復習し理解する			60	30	
7	マナー・接遇領域③ 接遇の心得と実際（ロールプレイング含む）				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
8	マナー・接遇領域④ 交際業務と贈答（グループワーク）				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
9	実技領域①会議の知識				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
10	実技領域②ビジネス文書（社内文書・社外文書）				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
11	実技領域③郵便・文書の取り扱い（秘文書の取り扱い）				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
12	実技領域④名刺・資料管理、ファイリングの知識				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
13	実技領域⑤オフィス環境の整備、事務用品の扱い方				事前学修：該当ページを熟読し臨む 事後学修：指示された課題を実施			30	30	
14	検定試験研究 過去問題実施し理解を深める				事前学修：これまでの復習を実施する 事後学修：間違い箇所の復習し理解する			60	30	
15	学修のまとめ 学びをいかす				事前学修：学習の成果をまとめて臨む 事後学修：1回目目標設定の振り返りを提出			30	30	

アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク，ロールプレイング）
教科書	「新秘書特講」早稲田教育出版
参考文献	「秘書検定実問題集 2級」実務技能検定協会編 早稲田教育出版 他
備考	1. 受講者の理解度等により，講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 2. 本科目は秘書検定3～2級受験につながる。 3. 授業内課題について，講義にて解説を行う。確認テストは，模擬解答レフィードバックを行う。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-11				
	●	●								
科目名	旅行業法				単位認定者	佐藤 美輪		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目では、旅行業に関する法制度についての基礎を理解することを目的とする。旅行業務に関わる取引の公正の維持、旅行の安全確保、旅行者の利便増進を目的として制定された旅行業法について、それらの目的を達成するために設けられた様々な制度について学修する。</p> <p>旅行業法の目的、登録・営業保証金制度、旅行業務取扱管理者制度、旅行取引に関する諸規則、旅行業協会制度など、旅行業法を系列的に学ぶ。</p>									
到達目標	旅行業に関する法制度について具体的に触れることにより、法律と実務の関連性について理解できるようになる。									
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にしてほしい。また、授業時間外においても講義内容の復習や問題演習も積極的に行ってほしい。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	総則				事前学修：教科書の総則の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
2	登録制度				事前学修：教科書の登録制度の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
3	営業保証金制度				事前学修：教科書の営業保証金制度の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
4	旅行業務取扱管理者 旅行業務取扱料金				事前学修：教科書の旅行業務管理者、旅行業務取扱料金の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
5	旅行業約款				事前学修：教科書の旅行業約款の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
6	標識				事前学修：教科書の標識の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
7	取引条件の説明と契約書面の交付				事前学修：教科書の取引条件の説明と契約書面の交付の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
8	外務員 広告表示等誇大広告の禁止				事前学修：教科書の外務員、広告表示等誇大広告の禁止の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
9	旅程管理				事前学修：教科書の旅程管理の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
10	受託契約	事前学修：教科書の受託契約の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
11	旅行業者代理業 禁止行為・登録の取消し等	事前学修：教科書の旅行業者代理業者、禁止行為・登録の取り消し等の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
12	旅行サービス手配業	事前学修：教科書の旅行サービス手配業の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
13	旅行業協会	事前学修：教科書の旅行業協会の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
14	問題演習（第1回～第13回分）	事前学修：13回までの復習を行い、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
15	募集型企画旅行の広告についてのグループワーク	事前学修：旅行のパフレットに目を通して授業に臨むこと。 事後学修：旅行のパフレットを完成させること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク）			
教科書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 2 旅行業法・約款 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著，大原出版 「旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集2 旅行業法・約款 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著，大原出版			
参考文献	必要に応じて指示する。			
備考	本科目は国内旅行業務取扱管理者試験，地域限定旅行業務取扱管理者試験の受験科目の1つである「旅行業法」についても対応する。 1. 「地域限定旅行業務取扱管理者試験」「国内旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は「旅行業約款」「国内運賃・旅費計算」を併せて受講するとよい。 2. 受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 3. リアクションペーパーで出された質問は，後日の授業で全体に向けてフィードバックする。			
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)				

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-12				
	●	●								
科目名	旅行業約款				単位認定者	佐藤 美輪		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	旅行業約款を中心に、旅行業界に関係する約款について学修する。約款の目的、企画旅行契約、手配旅行契約などの旅行業約款や、JRなどの運送約款、宿泊約款などを系統立てて学び、旅行業界の仕事の流れを理解する。									
到達目標	旅行業界や運送業界等の約款について具体的に触れることにより、約款と実務の関連性について理解できるようになる。									
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にしてほしい。また、授業時間外においても講義内容の復習や問題演習も積極的に行ってほしい。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	総則				事前学修：教科書の総則の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
2	契約の成立				事前学修：教科書の契約の成立の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
3	契約の変更				事前学修：教科書の契約の変更の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
4	旅行者の解除権				事前学修：教科書の旅行者の解除権の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
5	旅行業者の解除権				事前学修：教科書の旅行業者の解除権の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
6	団体・グループ 旅程管理				事前学修：教科書の団体・グループ、旅程管理の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
7	責任 旅行相談契約				事前学修：教科書の取引条件の責任、旅行相談契約の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
8	旅程保証				事前学修：教科書の旅程保証の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
9	特別補償規程				事前学修：教科書の特別補償規程の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
10	問題演習（第1回～第9回分）				事前学修：9回までの復習を行い、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
11	モデル宿泊約款	事前学修：教科書のモデル宿泊約款の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
12	JR旅客営業規則	事前学修：教科書のJR旅客営業規則の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
13	貸切バス約款	事前学修：教科書の貸切バス約款の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
14	フェリー標準運送約款	事前学修：教科書のフェリー標準運送約款の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
15	問題演習（第11回～第14回分）	事前学修：14回までの復習を行い、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 2 旅行業法・約款 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著，大原出版 「旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集2 旅行業法・約款 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座 編著，大原出版			
参考文献	必要に応じて指示する。			
備考	本科目は国内旅行業務取扱管理者試験，地域限定旅行業務取扱管理者試験の受験科目の1つである「旅行業約款」についても対応する。 1. 「地域限定旅行業務取扱管理者試験」「国内旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は「旅行業法」「国内運賃・旅費計算」を併せて受講するとよい。 2. 受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 3. リアクションペーパーで出された質問は，後日の授業で全体に向けてフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-13				
	●	●								
科目名	国内運賃・旅費計算				単位認定者	佐藤 美輪		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	旅行実務の中心となる運賃計算・旅費について学ぶ。具体的にはJRの運賃料金計算を主とし、他にも宿泊料金や貸切バス、フェリーの運賃・料金の構成等を理解し、旅行業務に関する実務能力を修得する。									
到達目標	旅行実務で使われるJR、フェリー会社、貸切バス等の運賃料金計算の仕組みが理解できるようになる。									
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にしてほしい。また、授業時間外においても講義内容の復習や問題演習も積極的に行ってほしい。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	旅客営業規則・運賃と料金・旅客の年齢区分 JR運賃計算① 運賃計算の基礎				事前学修：教科書の旅客営業規則・運賃と料金・旅客の年齢区分の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
2	JR運賃計算② 通過連絡運輸の取扱い・連続運賃計算・運賃計算の特例				事前学修：教科書の通過連絡運輸の取扱い・連続運賃計算・運賃計算の特例の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
3	JR運賃計算③ 割引運賃(個人)				事前学修：教科書の割引運賃(個人)の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
4	JR運賃計算④ 割引運賃(団体)				事前学修：教科書の割引運賃(団体)の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
5	JR料金計算① 料金計算の基礎・グリーン料金・寝台料金				事前学修：教科書の料金計算の基礎・グリーン料金・寝台料金の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
6	JR料金計算③ 新幹線・在来線通し計算				事前学修：教科書の新幹線・在来線通し計算の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
7	JR料金計算④ 東海道・山陽・九州・西九州新幹線				事前学修：教科書の東海道・山陽・九州・西九州新幹線の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
8	JR料金計算⑤ 東北・北陸・北海道新幹線				事前学修：教科書の東北・北陸・北海道新幹線の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	
9	問題演習(第1回～第8回分)				事前学修：8回までの復習を行い、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
10	JRその他	事前学修：教科書のJRその他の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
11	宿泊料金計算	事前学修：教科書の宿泊料金計算の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
12	貸切バス運賃・料金計算	事前学修：教科書の貸切バス運賃・料金計算の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
13	フェリー運賃・料金計算	事前学修：教科書のフェリー運賃・料金計算の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
14	国内航空運賃・料金計算	事前学修：教科書の国内航空運賃・料金計算の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
15	問題演習(第10回～第14回分)	事前学修：14回までの復習を行い、授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で不正解だった問題を、再度取り組むこと。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード()			
教科書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト3 国内旅行実務 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版 「旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集3 国内旅行実務 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版			
参考文献	必要に応じて指示する。			
備考	本科目は国内旅行業務取扱管理者試験，地域限定旅行業務取扱管理者試験の受験科目の1つである「国内旅行実務」についても対応する。 1. 「国内旅行業務取扱管理者試験」「地域限定旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は、「旅行業法」「旅行業約款」を併せて受講するとよい。 2. 受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 3. リアクションペーパーで出された質問は，後日の授業で全体に向けてフィードバックする。			
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)				

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-15				
	●	●								
科目名	旅行業務演習				単位認定者	佐藤 美輪		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	「旅行業法」「旅行業約款」「国内運賃・旅費計算」を基盤とし、旅行業務全般について広く学び理解を深める。特に法令への抵抗感を下げため、具体的な事例や問題に多く触れ知識の定着を目指す。また、本科目は地域限定旅行業務取扱管理者試験の対策も兼ねている。									
到達目標	授業で触れる「旅行業法」「旅行業約款」「国内実務」と具体的な事例を結びつけ関連性を理解できるようになる。									
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にすることだけでなく、授業時間外に講義内容の復習や問題演習の反復を積極的に行ってほしい。 また集中講義のため遅刻や欠席なく必ずやり通す意志をもって受講してもらいたい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	旅行業法： 総則・登録制度・営業保証金制度・標識				事前学修：事前に指示をした問題を解いて授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で間違った箇所を復習する				60	60
2	旅行業法： 旅行業務取扱管理者・旅行業務取扱料金・旅程管理									
3	旅行業法： 取引条件の説明と契約書面の交付・外務員・受託契約									
4	旅行業法： 広告表示等誇大広告の禁止・禁止行為・旅行業者代理業				事前学修：事前に指示をした問題を解いて授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で間違った箇所を復習する				60	60
5	旅行業法： 登録の取り消し等・旅行サービス手配業・旅行業協会									
6	旅行業約款： 総則・契約の成立・契約の変更・旅行者の解除権									
7	旅行業約款： 旅行業者の解除権・団体・グループ・旅程管理				事前学修：事前に指示をした問題を解いて授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で間違った箇所を復習する				60	60
8	旅行業約款： 責任・相談契約・旅程保証・特別補償規程									
9	旅行業約款： モデル宿泊約款・JR営業規則									
10	旅行業約款： 貸切バス約款・フェリー標準運送約款				事前学修：事前に指示をした問題を解いて授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で間違った箇所を復習する				60	60
11	国内旅行実務：JR運賃計算									
12	国内旅行実務：JR料金									
13	国内旅行実務：宿泊料金計算				事前学修：事前に指示をした問題を解いて授業に臨むこと。 事後学修：問題演習で間違った箇所を復習する				60	60
14	国内旅行実務：貸切バス運賃・料金計算									
15	国内旅行実務：フェリー運賃・料金計算									
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード()									

教科書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト2 旅行業法・約款 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版 「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト3 国内旅行実務 2026年対策」資格の大原 旅行業務取扱管理者講座編著，大原出版
参考文献	必要に応じて紹介する。
備考	本科目は集中講義で実施し，国内旅行業務取扱管理者試験，地域限定旅行業務取扱管理者試験の対策を兼ねている。 1. 「国内旅行業務取扱管理者試験」「地域限定旅行業務取扱管理者試験」の受験予定者は「旅行業法」「旅行業約款」「国内運賃・旅費計算」を併せて受講するとよい。 2. 授業毎問題演習を多く実施し，次回までの課題を提示する。次回以降授業にフィードバックを行う。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-17				
		●			●					
科目名	旅程管理				単位認定者	小畑 隆		授業内課題 (レポート)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目では旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について座学と実習により理解を深める。旅程管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者（旅行者）にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。</p>									
到達目標	<p>旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について理解を深め円滑なツアーを実施できるようにする。国内旅程管理主任者の公的資格を取得するために必要なレベルの知識を身につけることができる。</p>									
学修者への期待等	<p>限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者（公的資格）の修了を目指す。集中して受講してほしい。修了した者には、添乗実習を実施する。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	日本の旅行業界の現状と将来性				事前学修：旅行業法についての概要の下調べをする。 事後学修：旅行業法についての概要の深掘りをする				30	30
2	旅行業法（概要，総則他）									
3	旅行業法（旅行業等）									
4	標準旅行業約款（約款とは）									
5	標準旅行業約款（総則他）				事前学修：旅行業約款についての概要の下調べをする。 事後学修：旅行業約款についての概要の深掘りをする				30	30
6	標準旅行業約款（契約，旅程管理，責任他）									
7	標準旅行業約款（旅程保証他）									
8	関係機関約款（国内旅客運送，一般貸切旅客自動車運送，フェリー標準運送，モデル宿泊）									
9	国内旅行実務について				事前学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての下調べをする。 事後学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての深掘りをする				30	30
10	添乗員の役割と心構え（添乗員とは，添乗員の役割，添乗員の基本的要件）									
11	添乗員実務（各種書式等）									
12	添乗員実務（日帰りバスツアー，航空機利用ツアー）									
13	添乗員実務（JR利用ツアー，宿泊）				事前学修：旅行関係機関についての下調べをする。 事後学修：旅行関係機関についての深掘りをする				30	30
14	関係機関の基礎知識									
15	観光地理，確認修了テスト（法令約款・旅行実務）									
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）									

教科書	無し
参考文献	必要に応じて指示する。
備考	本科目は5日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義最終日に修了テストを実施する。受験諸費用・修了証書・実習費用が、別途必要となる。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

現在添乗員派遣会社（エコーインターナショナル社）仙台支店長。12年の国内外の添乗員を経験と、20年にわたり旅程管理の講師を経験している。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-19				
	●	●								
科目名	韓国語会話 I				単位認定者	趙 成珍		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	<p>本科目は、インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。すなわち日常的な状況で基本的な双方向のコミュニケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。そのために必要な語彙・文法・背景となる文化などの講義を交えながら、東アジア圏の有力言語である韓国語の会話能力の獲得・向上を目指す。</p>									
到達目標	<p>韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方ができるようになる。基礎的な韓国語の能力(文法、発音)を身につけ、簡単な日常会話ができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>毎回の学修内容について必ず復習しておくこと。本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	授業ガイダンスー韓国の言語と文化について				事前学修：アンケート調査実施-「韓国語」を受講する理由を考えておいてください。 事後学修：母音について予習する。			0	60	
2	第1課 文字と発音1 ・母音(1)				事前学修：教科書pp.2-3 母音(1)を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『母音(1)』について必ず復習する。			30	60	
3	文字と発音1 ・子音(1) 鼻音・流音・母音(2)				事前学修：pp.4-5 子音、鼻音・流音/母音(2)について予習する。 事後学修：授業で学んだ『子音、鼻音、流音/母音(2)』について必ず復習する。			30	60	
4	文字と発音1 ・終声(1)				事前学修：pp.6-7 終声(1)について予習する。 事後学修：授業で学んだ終声(1)については必ず復習する。			30	60	
5	第2課 文字と発音2 ・子音(2) 平音/有声音化				事前学修：pp.8-10 子音(2)・平音/有声音化について予習する。 事後学修：授業で学んだ子音(2)・平音/有声音化について必ず復習する。			30	60	
6	文字と発音2 ・複合母音(二重母音)・連音化				事前学修：pp.11-13 複合母音(二重母音)連音化について予習する。 事後学修：授業で学んだ複合母音(二重母音)連音化について必ず復習する。			30	60	
7	文字と発音2 ・母音と子音(確認) ・発音変化(有声音化・連音化)				事前学修：母音と子音(確認)・発音変化(有声音化・連音化)について理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：第1課～第2課で学んだ子音と母音、『連音化の発音ルール』について必ず復習する。			30	60	
8	第3課 文字と発音3 ・激音・農音・終声(2)				事前学修：pp.14-17 激音、濃音、終声(2)について予習する。 事後学修：授業で学んだ『激音・濃音・終声』について必ず復習する。			30	60	
9	実践と応用 文字と発音3 ・子音・激音・農音・終声(2)				事前学修：子音・激音、濃音、終声(2)について内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『子音・激音・濃音・終声』について復習する。			30	60	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
10	第4課 ①助詞：は ②疑問形：です，ですか ③指示詞：こ・そ・あ・どの言葉	事前学修：第4課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞・疑問形・指示詞の言葉』については必ず復習する。	30	60
11	第4課 実践と応用 会話練習：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第4課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞・疑問形・指示詞の言葉』について必ず復習する。	30	60
12	第5課 ①助詞：～が ②疑問形：です，ですか ③否定文：～ではありません。	事前学修：第5課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞：～が/疑問詞/否定文』について必ず復習する。	30	60
13	第5課 実践と応用 会話練習：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第5課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞：～が/疑問詞/否定文』については必ず復習する。	30	60
14	第6課 ①～に（場所・時間） ②あります・ありません ③位置名詞	事前学修：第6課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞：～に・あります・あいません・位置名詞』については必ず復習する。	30	60
15	第6課 実践と応用 会話練習：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第6課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『助詞：～に・あります・あいません・位置名詞』については必ず復習する。	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング）			
教科書	「キムチ1 韓国語入門」山崎玲美奈著，2022.1，朝日出版社			
参考文献	授業内で紹介する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を中心に授業を行うので，必ず持参する。講義で参考資料として配る資料はファイルしておく。 提出された疑問については毎回フィードバックを行う。履修状況により，進度や順番が変更になる場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-24				
	●		●							
科目名	英会話基礎				単位認定者	吉野 千乃		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目では、日常生活の基本的でごく簡単な英語のやりとりができるようになることを目標に実践的な英会話を行う。ネイティブスピーカーの使用する表現や便利な会話表現などを中心に学修する。英語を話すことへの抵抗感を下げるため、ゲーム等を取り入れながら実施する。また、オンライン英会話を利用した英語話者との英会話も取り入れる。</p>									
到達目標	<p>大学生として身近な「自分のこと」が英語で話せるようになる。 授業とオンライン英会話レッスンの実践を通じ、基本的な文法と表現を身につけ、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組めるようになる。オンラインレッスンはビデオ会話ソフトClassroomを利用する。</p>									
学修者への期待等	<p>実践を伴う授業であるため、ペアまたはグループで行う活動への積極的な姿勢を期待する。 オンライン英会話は事前にレッスンを予約して行うため、スケジュール管理を怠らないこと。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス/ポートフォリオ作成について オンライン英会話のアカウント作成と予約方法				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：レッスン受講の目標を立てる。				30	30
2	Speaking About Yourself ペアワーク (Small Talk)				事前学修：自己紹介の内容を考える。 事後学修：新出表現を復習する。				30	30
3	What Do You Do ? オンライン英会話の事前学修				事前学修：自己紹介の練習をする。 事後学修：新出表現を復習する。				30	30
4	オンライン英会話① I make my bed.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
5	オンライン英会話② Did you take a shower ?				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
6	オンライン英会話③ You're a good cook.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
7	オンライン英会話④ Don't forget to clear the table.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
8	オンライン英会話⑤ Who is that man?				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
9	オンライン英会話⑥ I can't stand it.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
10	オンライン英会話⑦ I like swimming.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
11	オンライン英会話⑧ I would like you to meet my mom				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
12	オンライン英会話⑨ Go to the supermarket.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	オンライン英会話⑩ It's windy day today.	事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。	30	30
14	オンライン英会話 振り返り 会話スクリプト作成(グループワーク)	事前学修：レッスンで学んだ表現を復習する。 事後学修：スクリプトを作成する。	30	30
15	会話スクリプト発表(グループワーク)	事前学修：スクリプト発表の練習をする。 事後学修：目標が達成できたか確認する。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペアワーク，グループワーク，発表）			
教科書	なし。オンラインレッスンのテキストは授業内で配布する			
参考文献	随時紹介，配布する。			
備考	授業にはテキスト，辞書(紙・電子辞書どちらでも可)，オンライン英会話テキスト保存用ファイル，記録用ノートを準備して臨むこと。提出された疑問については毎回フィードバックを行う。履修状況により，進度や順番が変更になる場合や，遠隔で授業を実施する場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-25				
		●	●							
科目名	英会話応用				単位認定者	吉野 千乃		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目では、これまでに学修した英語の知識を活用し、趣味などの身近な話題や、様々な社会問題について、自分の意見をわかりやすい英語で伝える力を身につけることを目的とする。また、オンライン英会話を利用した英語話者との会話を通じ、英語での思考力や表現力を高め、自分の考えをためらうことなく伝えられるようになることを目指す。</p>									
到達目標	<p>様々なトピックについて英語で自分の意見をまとめて、相手に伝えられるようになる。 オンライン英会話を通して、実践的コミュニケーション能力を向上させる。</p>									
学修者への期待等	<p>実践を伴う授業であるため、受け身ではない積極的な姿勢を期待する。 ビデオ会話ソフトClassroomを利用するオンライン英会話は予約制のため、日時・時間の変更はできない。 また受講者の都合による欠席・遅刻のないように自己管理を怠らないこと。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス/ポートフォリオ作成について オンライン英会話のアカウント作成と予約方法				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：レッスン受講の目標を立てる。				30	30
2	レベルチェック、ブレイクアウトルームでの会話練習				事前学修：トピックについて考える。 事後学修：レベルチェックの振り返りを行う。				30	30
3	Communication/Emotion オンライン英会話の事前学修				事前学修：の練習をする。 事後学修：新出表現を復習する。				30	30
4	オンライン英会話① Feel free to use the TV.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
5	オンライン英会話② Looks delicious.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
6	オンライン英会話③ Let me do the dishes.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
7	オンライン英会話④ He looks like his father.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
8	オンライン英会話⑤ Teach me how to play the guitar.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
9	オンライン英会話⑥ The TV is too loud.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
10	オンライン英会話⑦ Turn down the TV.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
11	オンライン英会話⑧ Don't be sad.				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30
12	オンライン英会話⑨ Why don't we eat out?				事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	オンライン英会話⑩ Take me to the mall.	事前学修：新出表現を確認する。 事後学修：レッスン記録(Portfolio)を作成する。	30	30
14	オンライン英会話 振り返り 会話スクリプト作成(グループワーク)	事前学修：レッスンで学んだ表現を復習する。 事後学修：スクリプトを作成する。	30	30
15	会話スクリプト発表(グループワーク)	事前学修：スクリプト発表の練習をする。 事後学修：目標が達成できたか確認する。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペアワーク，グループワーク，発表）			
教科書	なし。オンラインレッスンのテキストは授業内で配布する			
参考文献	随時紹介，配布する。			
備考	授業にはテキスト，辞書(紙・電子辞書どちらでも可)，オンライン英会話テキスト保存用ファイル，記録用ノートを準備して臨むこと。提出された疑問については毎回フィードバックを行う。履修状況により，進捗や順番が変更になる場合や，遠隔で授業を実施する場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地理理解力	TB-3-ECO-26				
		●								
科目名	観光英語				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	40 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	観光の現場では、日常英会話のみならず、特定の用語や表現等の理解が必要となる。本科目では、日常英会話力の向上と観光現場で必要となる用語・表現等の修得をめざす。空港やホテルなどの海外旅行で接する会話場面を想定し、旅行者としてまた観光業従事者として必要となる表現を学修する。									
到達目標	観光分野に関する様々な語彙、表現を身につけて、基本的な応対が英語でできるようになる。問題演習をとおり、観光英語検定試験3級の合格を目指す。									
学修者への期待等	事前に指定箇所の予習を行い授業に臨むこと、授業外でも積極的に英語学修に取り組み、観光英語検定試験の受験を目指すことを期待する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	観光英語の授業の進め方について/Unit 1 Travel				事前学修：シラバスをよく読む。 事後学修：新出語句を復習する。				30	30
2	Unit 2 Jobs and People 空港業務の名称を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
3	Unit 3 Getting on the Plane 飛行機搭乗時の表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
4	Unit 4 Immigrations and Customs 出入国管理と税関で使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
5	Unit 5 At the Airport 空港のフロアマップに用いられている表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
6	Unit 6 Hotel (Accommodations) ホテルの予約、チェックインで使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
7	Unit 7 Restaurant レストラン、ファストフード店で使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
8	Unit 8 Sightseeing 都市観光で使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
9	Unit 9 Shopping ショッピングで使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
10	Unit 10 Transportation 公共交通機関で使用する表現を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
11	Unit 11 Problems and Complains 問題が生じたときの対応を学修する				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
12	Additional Unit: Traveling in Japan① 空港から旅館への移動、チェックイン、入浴方法				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
13	Additional Unit: Traveling in Japan② 旅館での食事、おみやげ、観光地				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
14	観光英語検定3級 問題演習① 過去問題(第49回実施分を予定)				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
15	観光英語検定3級 問題演習② 過去問題(50回実施分を予定)				事前学修：新出語句を確認する。 事後学修：間違えた問題を見直しする。				30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード()									

教科書	「ベーシック観光英語」観光英検センター編著（2014），三修社
参考文献	資料は随時配信する。
備考	本科目はオンデマンド授業（動画配信）で実施するため，疑問などはReactionとしてUNIPAに提出すること。次の回にフィードバックを行う。履修者の状況により，進捗や内容に変更が生じる場合がある。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-27				
	●	●								
科目名	TOEIC演習				単位認定者	尾形 まゆみ		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	英語力の指標としてTOEIC®が利用されることが多い。本科目では、TOEIC®の問題を利用しながら、リスニング、リーディング力の向上を図る。TOEIC®はビジネス場면을題材としているため、ビジネス英会話等で学修した内容を復習し、定着させることにもつながる。また、TOEIC®を受験する際に有用なテストテイキングの方法も指導し、練習する。									
到達目標	学生は授業中の様々な試験対策問題を通し、基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、TOEICのスコアを伸ばすことで、観光産業で活躍できるようになる。									
学修者への期待等	TOEIC L&Rは年10回(1・3・4・5・6・7・9・10・11・12月)実施しているので、自分で申し込み、勉強の成果を確認してください。(試験の2ヶ月前に締め切りになるので、計画的に受験するように)就職活動に使うためには1年の後期にある程度のスコアを取得する必要があります。特にエアラインを希望する学生には必要不可欠です。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	オリエンテーション(履修の心得、授業の進め方、評価の基準、TOEICテストについての説明などを行う。)				事前学修:テキストに目を通し、全体の構成を把握しておく。 事後学修:履修の心得をもう一度読み直し、正しく理解しておく。				30	30
2	Unit 1: Entertainment (Listening)				事前学修:Unit 1のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30
3	Unit 1: Entertainment (Reading)				事前学修:Unit 1のリーディングセクション(5~8ページ目)、Grammar Focusをよく読んで理解し、問題に解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30
4	Unit 2: Personnel (Listening)				事前学修:Unit 2のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30
5	Unit 2: Personnel (Reading)				事前学修:Unit 2のリーディングセクション(5~8ページ目)、Grammar Focusをよく読んで理解し、問題に解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30
6	Unit 3: Office Work & Supplies (Listening)				事前学修:Unit 3のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30
7	Unit 3: Office Work & Supplies (Reading)				事前学修:Unit 3のリーディングセクション(5~8ページ目)、Grammar Focusをよく読んで理解し、問題に解答しておく。 事後学修:授業内で間違えた問題にもう一度取り組み、なぜ間違えたのか確認しておく。				60	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
8	Unit 4: Office Messages (Listening)	事前学修: Unit 4のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
9	Unit 4: Office Messages (Reading)	事前学修: Unit 4のリーディングセクション(5~8ページ目), Grammar Focusをよく読んで理解し, 問題に解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
10	Unit 5: Eating Out (Listening)	事前学修: Unit 5のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
11	Unit 5: Eating Out (Reading)	事前学修: Unit 5のリーディングセクション(5~8ページ目), Grammar Focusをよく読んで理解し, 問題に解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
12	Unit 6: Technology (Listening)	事前学修: Unit 6のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
13	Unit 6: Technology (Reading)	事前学修: Unit 6のリーディングセクション(5~8ページ目), Grammar Focusをよく読んで理解し, 問題に解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
14	Unit 7: Research & Merchandise Development (Listening)	事前学修: Unit 7のリスニングセクション(1~4ページ目)の問題を音声をよく聞いて解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
15	Unit 7: Research & Merchandise Development (Reading)	事前学修: Unit 7のリーディングセクション(5~8ページ目), Grammar Focusをよく読んで理解し, 問題に解答しておく。 事後学修: 授業内で間違えた問題にもう一度取り組み, なぜ間違えたのか確認しておく。	60	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり: キーワード ()			
教科書	『SUCCESSFUL STEPS FOR THE TOEIC L&R TEST -New Edition-』 (テーマ別TOEIC L&R TEST 総合演習) 塚野壽一, 山本厚子, 大須賀直子他著 成美堂			
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示します。			
備考	必ず毎回授業の学習箇所の問題に解答して授業に臨むこと。授業中に質問に答えられないと予習をしていないと見なされ, 授業態度評価に影響します。各Unit修了毎に前UnitのReview Testを行うので, 重要語句や文法の要点及びリスニング等の復習をしておくこと。シラバスの内容は学生の熟達度, 受講生数, 授業の進行状況により変更する場合がある。授業内課題はその都度, 授業内にてフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-30				
		●	●							
科目名	観光インターンシップ				単位認定者	小里 千寿 佐藤 美輪 鎌田 貢治		受講態度	30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	報告書	25 %
						授業時間数	45 時間		受入先の評価	25 %
				授業形態	実習	授業回数	集中		発表	20 %
授業の概要	旅行・ホテル・航空・ブライダルなど、観光ビジネスに関する機関において、おおむね1週間の基本的実務に関する実習を行う。 それぞれの機関における特徴を理解し、観光ビジネスに関する業務を行うために必要な知識と実務能力を身につける。									
到達目標										
学修者への期待等	①インターンシップ科目の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②自ら積極的に情報を収集し、インターンシップ先を開拓する努力をすること。 ③インターンシップ先では、勤務時間などの諸規則をしっかりと守り、青葉生として恥ずかしくない振る舞いをする。									
授業計画					準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1. 実習期間 受入先企業により異なる。 2. 実習計画 (1) 事前研修 (集中講義) 第1回 インターンシップの概要と目的, 成績評価の方法 第2回 インターンシップ心得について 第3回 インターンシップエントリーシート作成方法について 第4回 インターンシップの身だしなみ・準備について (2) 事後研修 (集中講義) 第5回 インターンシップ報告会 第6回 インターンシップのまとめ (3) インターンシップ (職場実習) 原則として、以下の全てを満たすことを条件とする。 ①実習時間数が概ね「35時間以上」であること。 ②当該年度内に実施されるインターンシップであること ③インターンシップ先から以下の評価協力について承諾を得られること ・「インターンシップ活動報告書」にサインまたは押印 ・「インターンシップ評価表」にインターンシップ中の評価を記入 (注1) 以上の書類は実習前に学生および受入先企業に配布 (注2) 海外のインターンシップ先を個人で開拓した場合は、日本語で上記書類を作成してもらうこと (注3) 旅行会社の海外インターンシップツアーを利用した場合は、旅行会社指定の書類や成果物を提出すること ④「学生教育研究災害傷害保険」に加入していること (4) 「インターンシップ活動報告書」および「インターンシップ評価表」の提出 (5) インターンシップ報告会での発表 3. 実習目標 就職活動前にインターンシップを経験することで、組織活動の仕組みを知り、社会人としての責任を自覚し、観光ビジネス業界で働くことの意義について考え、進路選択の幅を広げることができるようになる。					事前学修： ①インターンシップ先の機関について会社概要等を確認し、実習先までの交通手段や所要時間等も調べておく。 ②実習までに、就職活動でも使用できる程度のエントリーシートを完成させる。 事後学修：インターンシップ活動報告会に向けて実習で得た学びをスライドにまとめ、報告できるよう完成させる。			90	90	

授業計画		準備学修		事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
<p>【注意事項】</p> <p>①「事前研修」や「事後研修」の日程については、後日連絡する。</p> <p>②「事前研修」と「事後研修」で20%を超えて欠席した場合、単位認定は行わない。</p> <p>③インターンシップ中に個人的な事由により欠勤し実習時間が35時間に満たなかった場合、単位認定を行わない。 (忌引き等やむを得ない事情については、担当教員が本学の公認欠席規程に準じて判断する)</p> <p>④その他、受入先が実習継続困難と判断し、中止に至った場合、単位認定を行わない。</p> <p>⑤企業から直接本学にインターンシップ受入の案内があった場合は掲示等で連絡するが、年度により、職種や受入人数にばらつきがあるので、早めに自己開拓の努力をすること。</p> <p>⑥他科目の集中講座の日程と実施時期が重なることもあるので、インターンシップ先を選ぶ際には注意すること。</p>		<p>事前学修：</p> <p>①インターンシップ先の機関について会社概要等を確認し、実習先までの交通手段や所要時間等も調べておく。</p> <p>②実習までに、就職活動でも使用できる程度のエントリーシートを完成させる。</p> <p>事後学修：インターンシップ活動報告会に向けて実習で得た学びをスライドにまとめ、報告できるよう完成させる。</p>		90	90
教科書	適宜、レジュメを配布する。				
参考文献	必要に応じて指示する。				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。 ・授業への疑問等については、次回以降の授業でフィードバックを行う。 				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

(小里) 大学でのキャリアコンサルタントの実務経験15年の中で、大学独自のインターンシッププログラムを立ち上げた。

(鎌田) 42年間旅行会社に在籍をしていたため、様々な観光業界の方との関係性が深く学生に見合った企業を紹介できる。

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●	●		

科目名	海外研修				単位認定者	吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		評価の方法	授業内課題	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度 (事前, 事後)	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		報告書, 発表会	20 %
						授業回数	集中			

授業の概要
海外での実地の研修,あるいは遠隔方式による研修を通して様々なシーンにおける外国語の重要性を実感し,今後の外国語学習のモチベーションとするとともに,海外の多様な文化に触れ,文化間のコミュニケーションについて理解を深める。さらに「観光」と「外国語」という親和性の高い要素を総合して自己のスキルアップにつながる基本的な知見を獲得する。

学修者への期待等
①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。
②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。
③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し,欠席をしないこと。
④短い研修期間を有意義に過ごすため,日本での準備をしっかりと行うこと。
⑤現地での学修・生活の記録をつけ,実りある研修生活を送ることを期待する。

授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
<p>1. 研修先・研修期間 4月ガイダンス時(予定)に説明される。</p> <p>2. 授業計画 現地の観光事情と外国語についてを学修の中心とする。</p> <p>(1) 事前学修 (学内) 第1回 海外研修の目的 第2回 海外研修のための具体的な準備 (入国手続きなど) 第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表</p> <p>(2) 海外研修 (現地にて) 現地の観光事情について,空港や宿泊施設,式場等の視察を行い,その内容をまとめる。外国語の使用を通じ,現地の情報を収集する。事前に決定したコースで自主研修を行う。</p> <p>(3) 事後学修 (学内) 第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告スライド作成について 第5回 海外研修報告会</p> <p>3. 目標 ①外国での研修を通じ,自身の外国語コミュニケーション力を体験的に理解し今後の学修に活かす。 ②海外の人々との交流により,異文化コミュニケーションの楽しさを知る。 ③外国での観光視察により,「観光」への知見を広め,グローバル時代の観光について考察する。</p> <p>【注意事項】 ① 現地での研修期間中に個人的な事由により全ての現地授業や視察に出席できなかった場合,原則として単位認定を行わない。 ② 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合,事前学修が行われていても,単位認定を行わない。 ③ 履修希望者が研修の最少催行人数を下回った場合は開講しない。また,履修希望者が多い場合等は学科内で選考を行うことがある。</p>	<p>事前学修: ①研修先の観光情報のみならず,安全情報などについても事前に確認し,危機管理にも気を配る。 ②団体行動であることを意識し,周囲との協調性を持って研修の計画を立てる。</p> <p>事後学修:研修の内容をグループでスライドにまとめ,発表会で報告できるように完成させる。</p>	90	90

教科書	適宜，レジユメを配布する。
参考文献	必要に応じて指示する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により，順序や重点の置き方を変更することがある。 ・授業への疑問等については，次回以降の授業でフィードバックを行う。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-01				
	●	●	●	●	●					
科目名	基礎キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	自身のキャリアを形成することの意味を主体的に捉え、これからの社会生活をどのように充実させていくのかを考えられるようにする。また、最近の社会や職業の動向について理解を深め、働く意味について考え、自らの将来をイメージできるようにするなど、職業意識を涵養していく。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画をたてられるようにする。									
到達目標	①キャリアとは何かを自分ごととして理解する。 ②変化と多様性の時代におけるキャリア設計について理解する。 ③自分のキャリアプランを実現するためにすべき事柄を導き出すことができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス, 授業の進め方, キャリアデザインとは				事前学修: なし 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				0	30
2	キャリアの理論				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
3	働くということ				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
4	企業が求める人物像				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
5	仕事の価値観 (キャリアアンカー) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
6	内的キャリア (エゴグラム) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
7	金融の知識 (成年年齢引き下げ) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
8	金融の知識 (生活設計・家計管理) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
9	金融リテラシー検定受験				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
10	社会人のキャリアヒストリー				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
11	就職サイトへの登録				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
12	インターンシップと採用のプロセス				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
13	コミュニケーションの重要性 (ディスカッション)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
14	採用の目線を理解する (ディスカッション)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
15	まとめと振り返り				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (グループワーク, ディスカッション)									

教科書	必要に応じて適宜配布する。
参考文献	『改訂版キャリア形成1－社会・集団・個人の役割を学ぶ』東海大学現代教養センター編 東海大学キャリア就職センター
備考	状況により順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地理理解力	TB-4-SEM-02				
	●	●	●	●	●					
科目名	実践キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態		演習		授業回数	30 時間
							15 回			
授業の概要	「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、インターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークやグループディスカッションをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業を受講するうえで理解してほしいこと 就職ガイダンスⅠ…就職サイトの活用法				事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理と振り返り				0	30
2	就職ガイダンスⅡ…就職活動キックオフガイダンス、支援センターの利用方法、求職票について				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
3	自己分析とは				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
4	グループワーク①…他者と意見交換しながら自己分析を行う				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
5	自己分析まとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
6	業界・企業研究とは				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
7	グループワーク②…(志望する)企業について調べ、共有する				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
8	就職ガイダンスⅢ…履歴書・エントリーシートの書き方				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
9	グループワーク③…わかりやすい履歴書・エントリーシートについて、他者の意見を聞いて理解する				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
10	社会人のキャリアヒストリー①…自分のロールモデルを探す 仕事理解:ホテル業界(ゲストスピーカー)				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
11	就職体験報告会…2年生から実際の就職活動体験を聞く				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
12	社会人のキャリアヒストリー②…自分のロールモデルを探す 仕事理解:旅行業界(ゲストスピーカー)				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
13	社会人のキャリアヒストリー③…就職活動、人事の目線を理解する 仕事理解:就職採用(ゲストスピーカー)				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
14	面接とは…面接の種類、面接のポイント、面接練習				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
15	講座のまとめと総括:社会人とキャリア形成				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り				30	30
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード(グループワーク)									

教科書	必要に応じて、授業において配布する。
参考文献	「改訂版キャリア形成2－業界研究とセルフマネジメント」 東海大学現代教養センター編，東海大学キャリア就職センター
備考	ゲスト講師の予定や学生総合支援センターの協力体制，受講者の理解度等により，講義の順番や内容を変えることや，遠隔授業で実施する場合がある。 質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
--

複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。
--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-03				
	●		●							
科目名	初年次ゼミ				単位認定者	小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするための基礎的なスキルを身につけ、大学生生活の様々な場面で活用できるようになることを目的とする。</p> <p>また、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>									
到達目標	<p>大学新生にとって、授業を中心とした大学生活で身につけておくべきさまざまなスキルを修得し、大学生活におけるいろいろなシーンで活用できるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>学修内容により、1年生全員が合同で受講する場合とゼミ別に受講する場合がある。事前にUNIPA等で連絡するので、欠席や遅刻をせず、どちらにも積極的に参加すること。</p> <p>また、各ゼミの演習では、担当教員の指示に従うこと。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	ガイダンス、大学生活を始めるにあたって				事前学修：学生便覧、シラバスを読む。 事後学修：履修計画を作成する。			30	30	
2	スタディースキル① 基本的なITスキル				事前学修：PCの基本的操作を確認する。 事後学修：ネットワーク接続法を復習する。			30	30	
3	スタディースキル② 大学生活の基本的マナー				事前学修：Eメール文について見直しをする。 事後学修：実際にメール文を作成する。			30	30	
4	スタディースキル③ 図書館の活用方法				事前学修：なし 事後学修：資料活用方法の見直しをする。			0	30	
5	スタディースキル④ ホスピタリティについて考える(ゲストスピーカー)				事前学修：ホスピタリティについて考える。 事後学修：講話の内容を振り返る。			30	30	
6	スタディースキル⑤ 自分の適性を知る:ジェネリックスキル				事前学修：自分の強みを考える。 事後学修：今後の課題を考える。			30	30	
7										
8	フィールドワーク① 調査の予備知識				事前学修：観光に関する疑問を見つける。 事後学修：疑問点をまとめる。			30	30	
9	フィールドワーク② 課題設定(グループワーク)				事前学修：議論のポイントをまとめる。 事後学修：調査の手順を確認する。			30	30	
10	フィールドワーク③ 現地調査(グループワーク)				事前学修：調査ルート、役割分担を決定する。 事後学修：調査メモをわかりやすくまとめる。			30	30	
11										
12	フィールドワーク④ 調査のまとめとプレゼンテーション準備(グループワーク)				事前学修：発表方法を検討する。 事後学修：プレゼンテーション準備を行う。			30	30	
13	フィールドワーク⑤ ゼミ内発表				事前学修：プレゼンテーション練習を行う。 事後学修：自己評価を行う。			60	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
14	フィールドワーク⑥ 全体発表	事前学修：発表のブラッシュアップを行う。 事後学修：調査, 発表を振り返る。	30	30
15	前期のまとめ：レポート作成の技術	事前学修：自作したレポートを見直す。 事後学修：学んだ内容を文にまとめる。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション）			
教科書	特に指定しないが、参考資料を適宜配布する			
参考文献	授業中に各教員から指示する。			
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。遠隔授業に変更して実施することがある。履修者の疑問点については、次回以降の授業時にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-04				
	●	●								
科目名	観光研修 I				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	15 時間			
						授業回数	8 回			
授業の概要	「観光研修I」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。それら学外での学修活動だけではなく、学内における事前学修、事後発表を通して観光に対するさらなる知見の獲得を行い、学修を深化させる。特に1年次では「観光」という事象について集団で学び合い、認識を深める「フィールドワーク入門」としての面も持ち、多角的に観光現象について学修を深める。									
到達目標	観光を学ぶ学生として、研修や体験で得た知識を今後の進路選択に活かせるようになる。 事前研修、体験、事後発表という一連の流れの中で、自らの考えを明確に表現できるようになる。									
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	学外学修事前学修：仙台国際空港/仙台港				事前学修：観光と交通の関りを調査する。 事後学修：疑問メモをまとめる。			30	30	
2	A班：学外学修：仙台国際空港視察 B班：学外研修：仙台港、多賀城跡視察				【A班】 事前学修：仙台国際空港の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。 【B班】 事前学修：仙台港、多賀城の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。			30	30	
3	B班：学外学修：仙台国際空港視察 A班：学外研修：仙台港、多賀城跡視察				【B班】 事前学修：仙台国際空港の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。 【A班】 事前学修：仙台港、多賀城の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。			30	30	
4	学外学修事後学修：仙台国際空港（ゲストスピーカー）				事前学修：視察で得た疑問点をまとめる。 事後学修：視察と学修の内容をまとめる。			30	30	
5	学外研修：訪問地の事前調査 (2年：「観光研修Ⅱ」第10回と合同)				事前学修：訪問地の概要を調べる。 事後学修：研修のルートを考える。			30	30	
6	学外研修：東北の観光地視察 (2年：「観光研修Ⅱ」第11回・第12回と合同)				事前学修：調査時のポイントを確認する。			30	60	
7					事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。					
8	仙台市の観光施策を学ぶ：グループワーク				事前学修：グループ毎にテーマを決める。 事後学修：ワークの内容を振り返る。			30	30	
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（学外学修、グループワーク）									
教科書	使用しない。									
参考文献	参考資料は随時配布する。									

備考	第2回、第3回は履修者を2グループに分割し視察を行う。 状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合、遠隔授業に変更して実施する場合がある。 履修者の疑問点については、次回以降の授業時にフィードバックを行う。
-----------	--

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-06				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	①観光にまつわる各種要素に関して学び、総合的な理解を得る。 ②実践的な授業を通し、当事者意識で「世の中の流れ」や「観光」を理解できるようになる。 ②コミュニケーションスキルを身につけ、調べた事柄を相手に対する確に伝えられるようになる。									
学修者への期待等	観光にまつわる各種内容や準備について、自ら調べ自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等を行うため、遅刻・欠席等をしないように注意すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	ガイダンス、自己紹介、ゼミの進め方				事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理				0	30
2	関連施設調査学修①準備 <調査学修場所の下調べ>				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
3	関連施設調査学修訪問①準備 <グループでの作業分担・インタビュー項目の検討>				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
4	関連施設調査学修①：仙台市街地エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
5										
6	関連施設調査学修①の振り返り・まとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
7	関連施設調査学修②の準備 <調査学修場所の下調べ・質問事項等の整理>				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
8	関連施設調査学修②：宮城県外エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
9										
10	関連施設調査学修②振り返り・まとめ 関連施設調査学修③の準備 <調査学修場所下調べ・質問事項等の整理>				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
11	関連施設調査学修③：秋保温泉エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
12										
13	関連施設調査学修③の振り返り・まとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
14	オリジナルプランの策定：中間プレゼンテーション				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
15	オリジナルプランの策定：最終プレゼンテーション				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30

アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（調査学修，プレゼンテーション）
教科書	使用しない。適宜レジユメを配布する。
参考文献	授業中に適宜紹介する。
備考	フィールドワーク先の予定等の状況により順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-06				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	吉野 千乃		試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	<p>「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。</p>									
到達目標	<p>我々に身近な地元のスポットや、若者に人気のサブカルチャーを観光資源として活用するには、どのような工夫が必要であるか。調査を通じ、日本に関心のある外国人観光客（インバウンド）に向け情報を英語で発信できるようになることを目指す。</p>									
学修者への期待等	<p>日本の文化を紹介することや、異文化理解に関心を持つ者、英語を用いて基本的な情報収集と発信を行うことに意欲のある者の履修を期待する。 また、グループワークには協調性を持ったうえで積極的な姿勢で臨み、無断欠席の無いよう注意すること。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス： 演習の進め方，自己紹介，研究テーマの選定について				事前学修：興味のあることをリスト化する。 事後学修：研究テーマを考える。				30	30
2	「文化」とは何か：海外で人気のある日本文化を考える				事前学修：文化について考える。 事後学修：日本文化に関する記事を探す。				30	30
3	「観光言語」について知る				事前学修：観光と言語の関りを考える。 事後学修：視察ルートを考える。				30	30
4	仙台駅周辺施設の「観光言語」視察（フィールドワーク）/グループワーク				事前学修：視察における仮説を考える。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
5										
6	視察の振り返り：問題点とその改善策を考える				事前学修：視察のメモをまとめる。 事後学修：改善策をまとめる。				30	30
7	インバウンドに仙台を紹介する①事前調査				事前学修：紹介したい観光スポットを考える。 事後学修：紹介場所に関する英語記事を探す。				30	30
8	インバウンドに仙台を紹介する②計画				事前学修：SNSで仙台を紹介している投稿を探す。 事後学修：調査のルートを決定する。				30	30
9	インバウンドに仙台を紹介する③現地調査（フィールドワーク）/グループワーク				事前学修：視察における仮説を考える。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
10										
11	インバウンドに仙台を紹介する④調査のまとめ				事前学修：視察のメモをまとめる。 事後学修：スライドを完成させる。				30	60
12	インバウンドに仙台を紹介する⑤発表				事前学修：発表の練習を行う。 事後学修：発表の自己評価を行う。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
13	インバウンド動向調査（フィールドワーク）/グループワーク	事前学修：視察における仮説を考える。 事後学修：仮説の検証を行う。	30	30
14				
15	調査のまとめと報告	事前学修：視察のメモをまとめる。 事後学修：調査レポートを完成させる。	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク，発表，フィールドワーク）			
教科書	なし。			
参考文献	随時紹介する。			
備考	状況により，講義内容や順序に変更が生じる場合や，フィールドワークをオンラインに変更して実施する場合がある。質問は次回以降の授業でフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-06				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	佐藤 美輪		試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内 課題等	30 %
					授業形態		演習		授業回数	30 時間
							15 回			
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	①日本の世界遺産について登録までの流れや背景を理解できるようになる。 ②東北地方にある観光資源の伝承について、フィールドワークを通し理解できるようになる。 ③コミュニケーションスキルを身につけ、調べた事柄を相手に対する確に伝えられるようになる。									
学修者への期待等	東日本大震災や、日本の世界遺産について、自ら調べ自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等の実践演習を計画しているため、遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：自己紹介，ゼミの進め方 日本の世界遺産について				事前学修：なし 事後学修：日本の世界遺産についてのまとめ				0	30
2	世界遺産パンフレット：作成				事前学修：パンフレット作成に向けた下調べ 事後学修：パンフレットの完成				30	30
3	世界遺産パンフレット：中間報告会				事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：報告会を受けてのパンフレット修正				30	30
4	世界遺産パンフレット：中間報告を受けての修正				事前学修：修正事項の確認 事後学修：修正したパンフレットの完成				30	30
5	世界遺産パンフレット：最終報告会 世界遺産のまとめ				事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：日本の世界遺産の整理				30	30
6	東日本大震災：被災地の今を考える				事前学修：東日本大震災についての下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
7	東日本大震災：復興と課題				事前学修：震災復興と課題についての下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
8	東日本大震災：フィールドワーク準備 <調査場所の下調べ>				事前学修：調査場所の下調べ 事後学修：調査場所の整理				30	30
9	東日本大震災：フィールドワーク準備 <インタビュー項目の検討>				事前学修：インタビュー項目の下調べ 事後学修：インタビュー内容の整理				30	30
10	東日本大震災：被災地のフィールドワーク① <石巻地域>				事前学修：フィールドワーク先復興状況についての下調べ 事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ				30	30
11										
12	東日本大震災：被災地のフィールドワーク② <仙台市内>				事前学修：フィールドワーク先復興状況についての下調べ 事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ				30	30
13										
14	東日本大震災：報告書作成				事前学修：報告書作成に向けたまとめ作業 事後学修：報告書の完成				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
15	東日本大震災：フィールドワーク報告会	事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：東日本大震災についてのまとめ	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク，報告会）			
教科書	使用しない。適宜，レジユメを配布する。			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
備考	受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 受講者からの質問には次回以降の授業でフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-06				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	鎌田 貢治		試験 (レポート)	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内 課題等	50 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	東北全般の観光についての考察。東日本大震災以降国内外からの観光客が増加している中で、それぞれの地区における観光資源の特徴また地域との関わり等がどのように展開されているのか等を深掘りし、東北観光の今後の方向性を探る学習を目的とする									
学修者への期待等	宮城については2年次ゼミで深掘りをするため、宮城以外の5県について様々な面から検証をする。それにより国内からの観光客と海外からの観光客との志向の違いや、今後伸びることが想定される事象等をワークにて会得してもらいたい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ゼミの進め方 ゼミ長等の選出 テーマ選定等				事前学修：無し 事後学修：無し				0	0
2	フィールドワーク① 東北観光推進機構				事前学修：東北全般の概略の下調べをする 事後学修：東北各地の観光資源を再確認する				30	30
3										
4	班毎に東北5県の観光資源調査（観光地等）				事前学修：担当地区の観光地下調べをする 事後学修：各観光地の深掘りをする				30	30
5	フィールドワーク② 山形県蔵王地区				事前学修：山形県蔵王地区の概略下調べをする 事後学修：山形県蔵王地区の観光資源を再確認する				30	30
6										
7	班毎に東北5県の観光資源調査（グルメ お土産等）				事前学修：担当地区の名産品下調べをする 事後学修：担当地区のグルメ深掘りをする				30	30
8	フィールドワーク③ 福島浜通り地区東日本大震災伝承館				事前学修：福島県浜通りの観光事情下調べをする 事後学修：福島県浜通りの復興状況の深掘りをする				30	30
9										
10	班毎に東北5県の観光資源調査（観光客動向）				事前学修：担当地区のお客動向下調べをする 事後学修：担当地区の観光客数再確認をする				30	30
11	班毎に東北5県の観光資源調査（モデルコース作成）				事前学修：担当地区への行程を検討する 事後学修：担当地区の行程の再確認をする				30	30
12	班毎に東北5県の観光資源調査（全体まとめ）				事前学修：担当地区のPPT作成まとめをする 事後学修：担当地区のPPT作成再確認をする				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
13	班毎に発表 質疑応答等	事前学修：担当地区の発表用資料をまとめる 事後学修：ゼミ全体の資料再確認をする	30	30
14	東北5県の観光全般のまとめ	事前学修：東北5県の観光資源の再確認をする 事後学修：東北5県の観光状況の再確認をする	30	30
15	東北6県名産品品評会	事前学修：東北の名産品の下調べをする 事後学修：品評評価の再確認をする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク，発表）			
教科書	無し			
参考文献	東北各県の観光協会発行パンフレット			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）	
旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。	

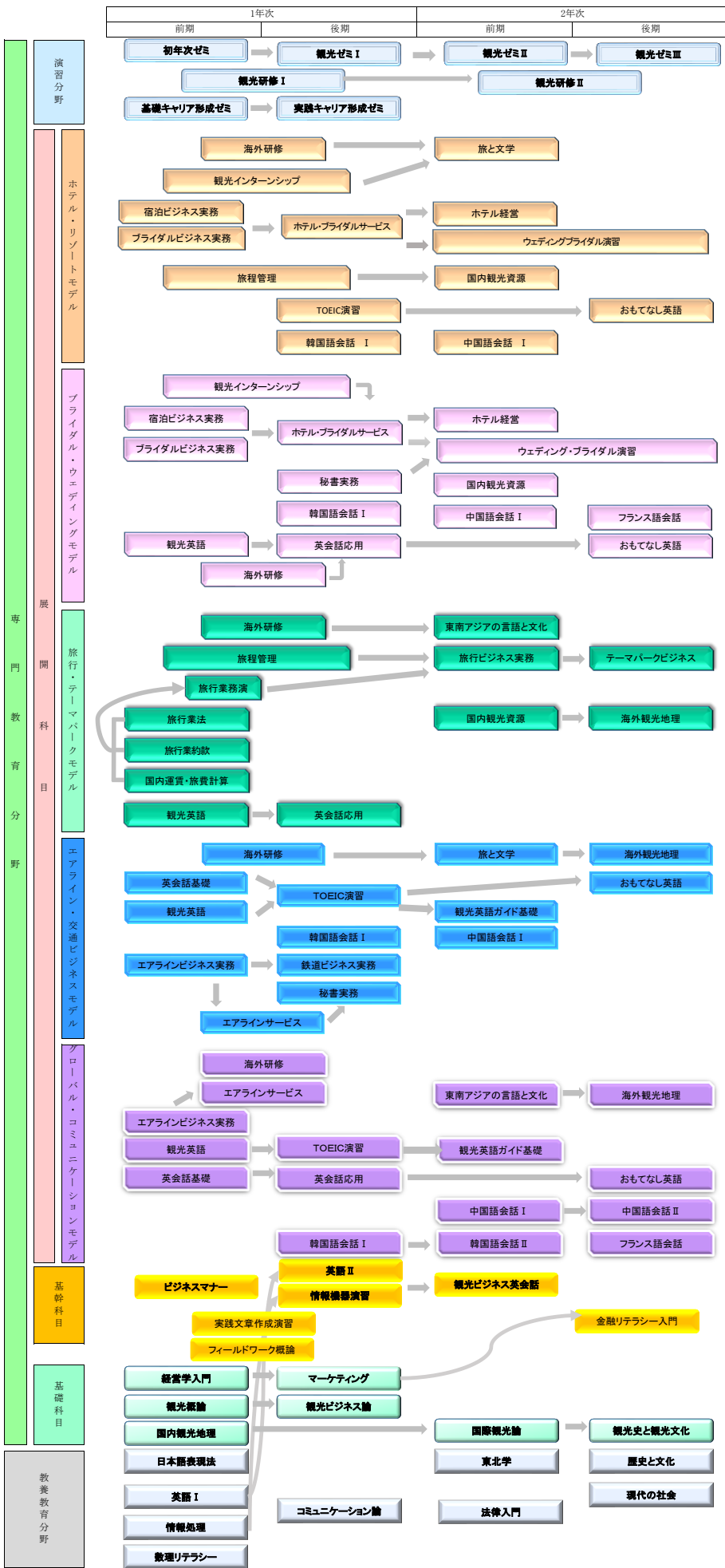
観光ビジネス学科 2年生 (2025年度入学生)

- カリキュラムマップ
- カリキュラムツリー
- 読替表
- 年間予定表
- シラバス

観光ビジネス学科2025年度入学生カリキュラムマップ

		学修成果：1 基礎力、2 実践力、3 人間関係力、4 生涯学習力、5 地域理解力																								
		学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。 ●は、各授業科目が学修成果の1～5のどれに当てはまるかを表すものです。																								
科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										単位数		履修モデル											
			1年					2年					必修	選択	ホテル・リゾートモ	デフラインダモデル・ウエ	旅行・テーマパーク	ビジネスモデル・交通ビ	グローバル・コミュニケーション・モデル							
			前期	後期	1	2	3	4	5	前期	後期	1								2	3	4	5			
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●		●											1		○	○	○	○	○	
		英語Ⅰ	15	○		●														1		○	○	○	○	○
		東北学	15								○	●								2		○	○	○	○	○
	人間と社会	歴史と文化	15								○	○	●							2		○	○	○	○	○
		法律入門	15								○	○	●							2		○	○	○	○	○
		現代の社会 コミュニケーション論	15								○	○	●							2		○	○	○	○	○
	人間と科学	情報処理	15	○		●	●													1		○	○	○	○	○
		数理リテラシー	15	○		●	●													1		○	○	○	○	○
	専門教育分野	基礎科目	経営学入門	15	○		●			●											2		○	○	○	○
マーケティング			15		○	●					●									2		○	○	○	○	○
観光概論			15	○		●					●									2		○	○	○	○	○
観光ビジネス論			15		○	●					●									2		○	○	○	○	○
国内観光地理			15	○		●				●										2		○	○	○	○	○
国際観光論			15								○	○	●							2		○	○	○	○	○
観光史と観光文化			15								○	○	●							2		○	○	○	○	○
実践文章作成演習			15		○	●	●													1		○	○	○	○	○
フィールドワーク概論			15		○	●	●													2		○	○	○	○	○
金融リテラシー入門		15									○	○	●						2		○	○	○	○	○	
基幹科目		英語Ⅱ	15		○	●														1		○	○	○	○	○
		観光ビジネス英会話	15								○			●	●					2		○	○	○	○	○
		ビジネスマナー	15		○	●		●												2		○	○	○	○	○
		情報機器演習	15		○	●	●													1		○	○	○	○	○
展開科目		旅行ビジネス実務	15								○			●		●				2				○		
		エアラインビジネス実務	15	○			●	●												2				○	○	
		エアラインサービス	15		○		●	●												2				○	○	
		鉄道ビジネス実務	15		○		●	●							●					2				○	○	
		宿泊ビジネス実務	15	○			●	●												2		○	○			
		ホテル・ブライダルサービス	15		○		●	●												2		○	○			
		ホテル経営	15								○						●			2		○	○			
		ブライダルビジネス実務	15	○			●	●												2		○	○			
		ウェディングブライダル演習	15								○			●	●					1		○	○			
		秘書実務	15		○		●	●												2			○		○	
		旅と文学	15								○						●	●		2		○			○	
		テーマパークビジネス	15								○			●			●			2				○		
		旅行業法	15	○		●	●													2				○		
		旅行業約款	15	○		●	●													2				○		
		国内運賃・旅費計算	15	○		●	●													2				○		
		国内観光資源	15								○						●	●		2		○	○			
	旅行業務演習	15	○		●	●													1			○				
	海外観光地理	15								○						●	●		2			○	○	○	○	
	旅程管理	15		○		●			●										2		○					
	東南アジアの言語と文化	15								○				●			●		2			○			○	
	韓国語会話Ⅰ	15		○	●	●													1		○	○			○	
	韓国語会話Ⅱ	15								○			●	●					1		○	○			○	
	中国語会話Ⅰ	15								○			●	●					1		○	○			○	
	中国語会話Ⅱ	15								○			●	●					1		○	○			○	
フランス語会話	15								○			●	●					1			○			○		
英会話基礎	15	○		●		●												1				○				
英会話応用	15		○		●	●												1			○	○		○		
観光英語	15	○		●														1			○	○		○		
TOEIC演習	15		○	●	●													1		○			○	○		
おもてなし英語	15									○			●	●				2		○	○		○	○		
観光英語ガイド基礎	15								○									2			○	○		○		
観光インターンシップ	集中		○		●	●												1		○	○		○	○		
海外研修	集中		○		●	●												1		○	○		○	○		
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	15	○		●	●	●	●	●									1		○	○	○	○	○	
		実践キャリア形成ゼミ	15		○	●	●	●	●	●										1		○	○	○	○	○
		初年次ゼミ	15	○		●	●		●											1		○	○	○	○	○
		観光研修Ⅰ	15		○	●	●													1		○	○	○	○	○
		観光研修Ⅱ	15								○		●	●						1		○	○	○	○	○
		観光ゼミⅠ	15		○	●	●	●	●	●										1		○	○	○	○	○
		観光ゼミⅡ	15								○		●	●	●	●	●			1		○	○	○	○	○
		観光ゼミⅢ	15								○		●	●	●	●	●			1		○	○	○	○	○
総計（卒業要件62単位以上）											42	58	69	69	69	69										

凡例	科目名太字	必修科目
	科目名細字	選択科目



■科目名称、開講時期の変更に伴う読替対応表（観光ビジネス学科）

（2025年度に入学の学生適用）

2026年度入学生より、教育課程（カリキュラム）が変更になりましたが、2025年度に入学した学生は、入学時の旧教育課程（カリキュラム）に基づき履修することになります。

旧教育課程（カリキュラム）の2年生科目についてはそのまま開講となりますが、1年生科目については科目名称や開講時期、対象学年が変更になっている場合がありますので、以下の表を確認して履修してください。

なお、不明な点は教員に相談し、特に再履修をする場合は履修間違いのないよう気を付けてください。

※網掛け部分は変更なしの科目です。

2025年度カリキュラム（2025年度に入学の学生適用）					2026年度カリキュラム															
科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数	読替対応 授業科目の名称	開講 対象年度	授業 回数	履修年次				単位数	備考				
			1年		2年						必修	選択	1年				2年		必修	選択
			前期	後期	前期	後期							前期	後期			前期	後期		
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				1												
		英語 I	15	○				1												
		東北学	15			○		2												
		歴史と文化	15				○	2												
	人間と社会	法律入門	15			○		2												
		現代の社会	15				○	2												
		コミュニケーション論	15		○			2												
	人間と科学	情報処理	15	○				1												
		数理リテラシー	15	○				1												
基礎科目	経営学入門	15	○				2													
	マーケティング	15		○			2													
	観光概論	15	○				2													
	観光ビジネス論	15		○			2													
	国内観光地理	15	○				2													
	国際観光論	15			○		2													
	観光史と観光文化	15				○	2													
	実践文章作成演習	15		○			1													
	フィールドワーク概論	15		○			2													
	金融リテラシー入門	15				○	2													
	基幹科目	英語 II	15		○			1												
		観光ビジネス英会話	15			○		2												
		ビジネスマナー	15	○				2												
		情報機器演習	15		○			1												
	専門教育分野	旅行ビジネス実務	15			○		2												
エアラインビジネス実務		15	○				2													
エアラインサービス		15		○			2	(科目廃止)									課外で実施			
鉄道ビジネス実務		15		○			2													
宿泊ビジネス実務		15	○				2													
ホテル・ブライダルサービス		15		○			2													
ホテル経営		15			○		2													
ブライダルビジネス実務		15	○				2													
ウェディングブライダル演習		15				○	1													
秘書実務		15		○			2													
旅と文学		15			○		2													
テーマパークビジネス		15				○	2													
展開科目		旅行業法	15	○				2												
		旅行業約款	15	○				2												
		国内運賃・旅費計算	15	○				2												
		国内観光資源	15			○		2												
		旅行業務演習	15	○				1												
		海外観光地理	15				○	2												
		旅程管理	15		○			2												
		東南アジアの言語と文化	15			○		2												
		韓国語会話 I	15		○			1												
		韓国語会話 II	15			○		1												
		中国語会話 I	15			○		1												
		中国語会話 II	15				○	1												
		フランス語会話	15				○	1												
		英会話基礎	15	○				1												
		英会話応用	15		○			1												
		観光英語	15	○				1												
		TOEIC演習	15		○			1												
		おもてなし英語	15				○	2												
	観光英語ガイド基礎	15			○		2													
	観光インターンシップ	集中		○			1													
	海外研修	集中		○			1													
	演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	15	○			1												
			実践キャリア形成ゼミ	15		○		1												
			初年次ゼミ	15	○			1												
観光研修 I			15		○		1	観光研修 I	2026	8		○			1	授業回数変更				
観光研修 II			15			○	1													
観光ゼミ I			15		○		1													
観光ゼミ II			15			○	1													
観光ゼミ III	15				○	1														
総計						42	58	96	-											

2026年度 観光ビジネス学科2年生 年間予定表

前期

		日	月	火	水	木	金	土					
4月					1	2	3 (入学式)	4					
	5	6	オリエンテーション	7	8	1	9	10	11				
	12	13	1	14	1	15	AM2 PM健康診断	16	AM健康診断 PM2	17	2	18	
	19	20	2	21	スポーツ大会	22	3	23	3	24	3	25	
	26	27	3	28	2	29		30	4	1	水4	2	
5月	3	4		5		6		7	火3	8	4	9	
	10	11	4	12	4	13	5	14	5	15	5	16	
	17	18	5	19	5	20	6	21	6	22	6	23	
	24	25	6	26	6	27	7	28	7	29	7	30	
	31	1	7	2	7	3	8	4	8	5	8	6	
6月	7	8	8	9	8	10	9	11	9	12	9	13	
	14	15	9	16	9	17	10	18	10	19	10	20	
	21	22	10	23	10	24	11	25	11	26	11	27	
	28	29	11	30	11	1	12	2	12	3	12	4	
7月	5	6	12	7	12	8	13	9	13	10	13	11	
	12	13	13	14	13	15	14	16	14	17	14	18	
	19	20		21	14	22	15	23	15	24	15	25	
	26	27	14	28	15	29	月15	30	予備日	31	定期試験	1	
8月	2	3	定期試験	4	定期試験	5	定期試験	6		7		8	
	9	10		11		12		13		14		15	
	16	17		18		19		20		21		22	
	23	24	集中講義	25	集中講義	26	集中講義 結果発表	27	集中講義	28	集中講義	29	
	30	31	集中講義	1	集中講義	2	集中講義	3	集中講義	4	集中講義	5	
9月	6	7	再試験	8	海外研修	9	海外研修	10	海外研修	11	海外研修	12	海外研修
	13	海外研修	14		15		16		17		18		19

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※9月15日～9月18日・26日「エアラインスクール」(正課外)実施。

2026年度 観光ビジネス学科2年生 年間予定表

後期

		日		月		火		水		木		金		土	
9月	20		21		22		23		24	後期オリエンテーション	25	1	26		
	27		28	1	29	1	30	1	1	1	2	2	3		
10月	4		5	2	6	2	7	2	8	2	9	3	10		
	11		12		13	3	14	3	15	3	16	4	17		
	18		19	3	20	4	21	4	22	4	23	5	24		
	25		26	4	27	5	28	5	29	5	30	せいよう祭準備	31	せいよう祭	
11月	1		2	5	3		4	6	5	6	6	6	7		
	8		9	6	10	6	11	7	12	7	13	学科交流会	14		
	15		16	7	17	7	18	8	19	8	20	7	21		
	22		23		24	8	25	9	26	月8	27	8	28		
	29		30	9	1	9	2	10	3	9	4	9	5		
12月	6		7	10	8	10	9	11	10	10	11	10	12		
	13		14	11	15	11	16	12	17	11	18	11	19		
	20		21	12	22	12	23	13	24	12	25		26		
	27		28		29		30		31		1		2		
1月	3		4	13	5	13	6	14	7	13	8	12	9		
	10		11		12	14	13	月14	14	14	15	13	16		
	17		18	15	19	15	20	15	21	15	22	14	23		
	24		25	金15	26	予備日	27	定期試験	28	定期試験	29	定期試験	30		
	31		1		2	定期試験	3		4		5		6		
2月	7		8	結果発表	9		10		11		12	再試験	13		
	14		15		16		17		18		19		20		
	21		22		23		24		25		26		27		
	28		1		2		3		4		5		6		
3月	7		8		9		10		11		12		13		
	14		15		16		17	卒業式	18		19		20		
	21		22		23		24		25		26		27		
	28		29		30		31								

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HCU-01				
	●				●					
科目名	東北学				単位認定者	黒田 清志		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	東北における観光ビジネスを学ぶうえで重要となる、東北の歴史・文化・社会・経済について総合的に理解し、地域社会を活性化するための企画の手法などについて考える。									
到達目標	①東北の地域資源を知る。 ②地域資源を生かす方法を学ぶ。									
学修者への期待等	自ら地域資源を調べ、それを活かす企画の方法・技術を身につける。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	東北学概論				事前学修：学ぶ目的をまとめておく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
2	地域活性化の先人たちの紹介				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
3	地域のマーケティング（1）地域の魅力づくり				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
4	地域のマーケティング（2）活性化の4つの手法				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
5	地域のマーケティング（3）活性化の事例				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
6	地域のマーケティング（4）顧客を知る				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
7	企画力を高める				事前学修：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
8	企画ワークショップ（1）商品開発 グループワーク				事前学修：商品開発のアイデアをまとめる 事後学修：グループでアイデアをまとめる			30	30	
9	商品開発プレゼンテーション				事前学修：グループでプレゼンの役割を決める 事後学修：他のグループの評価をまとめる			30	30	
10	企画ワークショップ（2）イベント企画 グループワーク				事前学修：イベント企画のアイデアをまとめる 事後学修：グループのアイデアをまとめる			30	30	
11	イベント企画プレゼンテーション				事前学修：グループでプレゼンの役割を決める 事後学修：他のグループの評価をまとめる			30	30	
12	東北の歴史を学ぶ				事前学修：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
13	東北の地理を学ぶ				事前学修：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	
14	東北の特性をいかす				事前学修：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
15	地域・組織・自分の活性化のキーワード	事前学修：講義全体の復習をする 事後学修：地域活性化につながる自分の役割を考える	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、プレゼンテーション）			
教科書	テキスト等は授業の都度配付。			
参考文献	参考文献は授業の都度提示する。			
備考	フィードバックは毎回「履修レポート」に基づいて行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

H6年からH23年まで仙台市経済局，および仙台市観光コンベンション協会で，また中小企業診断士（H2～R6）として，地域の中小企業，商店街，農業，観光，物産等の支援事業を担当。あわせて山形県内の地域や企業のアドバイザー，セミナー講師等を務める。広範囲の業種の事業者の経営支援や東北の地域活性化に関わってきた経験から，経済や文化的側面からわかりやすく，具体的な授業を行うことができる。

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●			●						
科目名	歴史と文化				単位認定者	徳田 幸雄 丸藤 准二		※詳細は備考欄を参照すること		
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法		
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
				授業回数	15 回					
授業の概要	<p>こんにちの世界を理解するためには、歴史、宗教、思想などの多様な側面の知識が必要となる。特に、近現代を中心とした歴史や世界の諸宗教の理解は重要である。これらの基礎的知識を身に付け、また、世界に大きな影響を与えた思想や書物などにも触れ、こんにちの世界に対する自己の見識を持てるようになることを目的とする。</p>									
到達目標	<p>(徳田) 世界三大宗教を中心とした諸宗教を広く学ぶことによって一般教養を身につけるとともに、人類の叡智に触れつつより豊かで深い人生観を育むことを目標とする。 (丸藤) 近現代世界を形成した、重要な歴史事象を学ぶことにより、近現代世界が成立する要因について理解を深め、歴史に関する知識を修得し、関心を持つことにより深い教養を育むことを目標とする。</p>									
学修者への期待等	<p>授業を理解し、目標に到達するために意欲的に授業に取り組んでください。また、幅広い人間性と教養を身につけるために、宗教や歴史に対する興味関心を持つように努めてください。</p>									
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	ユダヤ教について －律法の遵守－				事前学修：ネット検索で予備知識を得る 事後学修：チェックテスト復習		30	30	徳田 幸雄	
2	キリスト教について －罪からの救い－				事前学修：ネット検索で予備知識を得る 事後学修：チェックテスト復習		30	30	徳田 幸雄	
3	イスラームについて －神への服従－				事前学修：ネット検索で予備知識を得る 事後学修：チェックテスト復習		30	30	徳田 幸雄	
4	仏教について －苦からの解脱－				事前学修：ネット検索で予備知識を得る 事後学修：チェックテスト復習		30	30	徳田 幸雄	
5	神道について －穢れの清め－				事前学修：ネット検索で予備知識を得る 事後学修：チェックテスト復習		30	30	徳田 幸雄	
6	歴史を学ぶ基礎/グローバルエコノミー				事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。		0	30	丸藤 准二	
7	科学革命 －ルネサンス文化と科学の発展－				事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。		0	30	丸藤 准二	
8	啓蒙思想の広まり －新しい「知」の広まりと近代社会－				事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。		0	30	丸藤 准二	
9	産業革命 －人類史の「分水嶺」：工業化社会の成立－				事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。		0	30	丸藤 准二	
10	経済社会の成立 －ビジネスと企業経営の発展－				事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。		0	30	丸藤 准二	

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
11	経済社会の発展 —工業化社会の発展と大衆消費社会—	事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。	0	30	丸藤 准二
12	医療の発展と近代社会	事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。	0	30	丸藤 准二
13	教育の普及と近代社会	事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。	0	30	丸藤 准二
14	現代世界の成立	事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。	0	30	丸藤 准二
15	グローバルヒストリー —「新しい歴史学」と現代世界—	事前学修：特になし 事後学修：課題で内容を復習する。	0	30	丸藤 准二
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	教科書は使用せず、授業において適宜資料を配布します。				
参考文献	授業において指示します。				
備考	(評価方法) (徳田) 授業内課題 (全5回) 100% 授業終了時に実施するチェックテストで評価し、次回以降授業でフィードバックを行う。 (丸藤) 定期試験70%, 受講態度30% 質問等については次回以降授業でフィードバックを行う。				
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)					

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-04				
	●			●						
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 一樹		試験（筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	法律の種類と法律を学ぶ意味				事前学修：法律に関するイメージを自分なりに持っておくこと 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
2	憲法（1）基本的人権 一平等権，精神的自由等一				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
3	憲法（2）基本的人権 一経済的自由，その他の人権一				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
4	憲法（3）人権総括，統治機構				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
5	民法（1）総則				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
6	民法（2）物権				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
7	民法（3）債権（契約等）				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
8	民法（4）債権（不法行為）				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
9	民法（5）親族・相続				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30
10	刑法（1）総論				事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
11	刑法（２）各論	事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください	30	30
12	会社法（１）総論，株式	事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください	30	30
13	会社法（２）機関，組織再編	事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください	30	30
14	消費者法	事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください	30	30
15	その他の重要な法律	事前学修：前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること 事後学修：レジュメの内容を復習し、要点をまとめて提出してください	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。			
参考文献	適宜講義内で紹介する。			
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は，進度に応じて変更する場合がある。課題については，講義内でフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
公認会計士として企業等の会計監査，税理士として税務業務，不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-03				
	●			●						
科目名	現代の社会				単位認定者	丸藤 准二		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	現代の日本が世界の中でどのような立場にあるか、初めに日本及び主な国の文化・思想・宗教ならびに近代の歴史を学ぶことから理解をする。そのうえで政治・経済の視点を軸にして現代の日本の様々な問題点について学修し、現代の社会を生きるために不可欠な基本知識を身につけ、社会生活において適切な選択や判断ができることを目指す。									
到達目標	現代の世界とりわけ日本の社会における様々な問題について、正しい認識と知識を身に付けること。また、社会生活において知識をもとに適切な判断や選択ができるようになること。さらに、各人がこれからの社会生活をより良くする態度を身につけることを目標とします。									
学修者への期待等	毎回の授業に意欲的に取り組んでください。思考の前提となる知識を身に付け、自分で物事を考える習慣をつけましょう。また、実社会の様々な事象に関心を持ち、情報に触れるようにしてください。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	現代の社会とは(現代社会の特質を概観する)				事前学修:教科書等で授業の概略を知る 事後学修:現代社会の特質について、授業内容を整理して理解する。				30	30
2	現代の日本社会(日本文化・社会の特質)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代の日本社会について授業を整理して理解する。				30	30
3	現代社会と法(法の機能と特質、裁判と司法制度)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代社会と法について授業を整理して理解する。				30	30
4	現代社会と日本国憲法(立憲主義、平等権)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代社会と日本国憲法について授業を整理して理解する。				30	30
5	現代社会と政治(民主政治の基本原則と発展)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代社会と政治について授業を整理して理解する。				30	30
6	現代日本の政治(政治参加と選挙、政党政治)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代日本の政治について授業を整理して理解する。				30	30
7	日本経済の現状(日本の経済発展と停滞)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:日本経済の現状について授業を整理して理解する。				30	30
8	日本経済の課題(財政と金融問題)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:日本経済の課題について授業を整理して理解する。				30	30
9	日本の労働問題(労働問題と賃金格差)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:日本の労働問題について授業を整理して理解する。				30	30
10	現代の人口問題(人口減少と少子高齢化)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:現代の人口問題について授業を整理して理解する。				30	30
11	日本の福祉と社会保障(高齢化社会における福祉と社会保障)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:日本の福祉と社会保障について授業を整理して理解する。				30	30
12	資源エネルギー問題(エネルギー資源の現状と課題)				事前学修:前回の授業内容を復習する。 事後学修:資源エネルギー問題について授業を整理して理解する。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	環境問題と自然災害（地球温暖化と日本の自然災害）	事前学修：前回の授業内容を復習する。 事後学修：環境問題と自然災害について授業を整理して理解する。	30	30
14	世界の中の日本（貿易と外交問題）	事前学修：前回の授業内容を復習する。 事後学修：世界の中の日本について授業を整理して理解する。	30	30
15	まとめと補足	事前学修：前回の授業内容を復習する。 事後学修：授業全体について授業を整理して試験に備える。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			
教科書	「小論文頻出テーマ解説集2026 現代を知るplus」第一学習社			
参考文献	「図解でわかる時事重要テーマ100 2026-2027」日経HR編集部編著，日経HR 授業において参考文献を適宜紹介します。			
備考	教科書の補足として，毎回資料を配布します。授業内に課題・小テスト等を適宜実施し，次回以降授業でフィードバックを行います。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
該当しない。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-06				
	●				●					
科目名	国際観光論				単位認定者	鎌田 貢治		試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内 課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	近代における観光活動の成立時からすでに国際的な規模を持っていた観光活動は、現代においては規模がさらに拡大し、諸国民間の相互理解と交流を促進するようになった。その一方で、マス・ツーリズムとボーダーレス化の進展ともなって、地球規模で様々な問題を引き起こしている。本科目では、このように国境を越える観光活動によって引き起こされる政治的、経済的、社会的、文化的、地域的、環境的など種々の影響・効果について理解を深め、国際観光のあり方について考える。									
到達目標	現代の国際観光について総合的、基本的な理解に達すること。つまり国際観光客の複雑な動きによって各国の政治、経済、社会、文化等が影響を受けている事実を、特に日本のインバウンドとアウトバウンドにおいて具体的な例をもって説明できるようになること。									
学修者への期待等	国際観光は戦後に身近なものになったが、具体的な外国観光の背景には文化や政治、経済などに結びついた様々な問題があることを考えてほしい。国際観光に関する事例、ニュース等に注意して欲しい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：国際観光の意義 定義とは何か				事前学修：なし 事後学修：国際観光の意義を再確認する				0	30
2	国際観光収入 各国の状況 インバウンドとアウトバウンドの状況				事前学修：インアウト動向の下調べをする 事後学修：各国の観光収入割合を深掘りする				30	30
3	各国の観光資源（米国 カナダ 南米）				事前学修：米国南米の概略の下調べをする 事後学修：米国南米の観光資源の深掘りする				30	30
4	各国の観光資源（東アジア 東南アジア）				事前学修：アジア地区の概略の下調べをする 事後学修：アジア地区の観光資源の深掘りする				30	30
5	各国の観光資源（西欧地区）				事前学修：西欧地区の概略の下調べをする 事後学修：西欧地区の観光資源の深掘りする				30	30
6	各国の観光資源（東欧 南欧地区）				事前学修：東欧南欧の概略の下調べをする 事後学修：東欧南欧の観光資源の深掘りする				30	30
7	各国の観光資源（中近東 アフリカ）				事前学修：中近東の概略の下調べをする 事後学修：中近東の観光資源の深掘りする				30	30
8	各国の観光資源（ハワイ グアム）				事前学修：ハワイ地区の概略の下調べをする 事後学修：ハワイ地区の観光資源の深掘りする				30	30
9	海外の災害 治安等について				事前学修：海外の災害治安の下調べをする 事後学修：海外の災害治安の深掘りする				30	30
10	世界の南北問題の状況				事前学修：南北問題とは何かを下調べする 事後学修：南北問題の問題点を深掘りする				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
11	グループワークによる欧州モデルコース企画案作成 ① (場所の選定)	事前学修：欧州の観光資源の再確認する 事後学修：企画案の内容精査をする	30	30
12	グループワークによる欧州モデルコース企画案作成 ② (行程の選定)	事前学修：欧州の観光資源の再確認する 事後学修：企画案の内容精査をする	30	30
13	グループワークによる欧州モデルコース企画案作成 ③ (内容の仕上げ) 発表	事前学修：内容の最終確認を行う 事後学修：各グループの内容を再確認する	30	30
14	世界の宗教問題 ダークツーリズム等	事前学修：世界の宗教について下調べする 事後学修：ダークツーリズムの地域を再確認	30	30
15	振り返り検証 まとめ	事前学修：世界の観光資源の再確認 事後学修：国際観光の意義を再確認する	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (グループワーク, 発表)			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

科目ナンバリング
TB-1-FC0-07

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●			●	

科目名	観光史と観光文化				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	40 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
							授業回数		15 回	
授業の概要	<p>本科目は、観光理解の基礎的部分である観光活動についての史的理解を深める。具体的には、日欧の観光活動の歴史、及びそれらが生み出した観光文化について概観する。まず、近代観光発祥の地である欧州地域で観光活動がいかに誕生・進展し、それがいかなる観光文化を生み出してきたかをグランド・ツアーを起点に概説する。次いでわが国については、観光活動が本格的に成立した江戸時代を中心に概説し、温泉・寺社参詣・物見遊山など、独特な観光文化について理解を深める。</p>									
到達目標	<p>現代のマス・ツーリズムにおいてポピュラーな観光形態として存在している海水浴、温泉、避暑、避寒、登山、ウィンタースポーツ、文化観光、都市観光、田園観光などの起源と発展について、それらの誕生当時の社会状況を含めて自分の言葉で説明ができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>観光の誕生と発展には現代からは想像もできない事情が潜んでいます。いかに当時の状況を想像できるかによって、観光史と観光文化の理解は劇的に深まります。まずは想像力をたくましくして、観光の様々な形態の誕生と発展につきあってください。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	ガイダンス：観光史は何の役に立つのか 観光文化の意味するもの				事前学修：観光史と文化について下調べする 事後学修：観光史と文化について深掘りする				30	30
2	観光の誕生とその歴史的背景（日本国内について）				事前学修：観光の誕生について下調べをする 事後学修：観光の歴史の深掘りをする				30	30
3	観光史における旅の特異性とは（国内外について）				事前学修：旅の特異性の下調べをする 事後学修：旅の特異性の深掘りをする				30	30
4	欧州におけるグランドツアーとは何か				事前学修：欧州の観光史の下調べをする 事後学修：グランドツアーの深掘りをする				30	30
5	国内における温泉観光の始まりについて				事前学修：温泉の誕生の下調べをする 事後学修：各地の温泉を深掘りをする				30	30
6	観光史における交通革命とは（国内外について）				事前学修：交通革命について下調べをする 事後学修：交通革命について深掘りをする				30	30
7	欧州におけるリゾートという考え方とは（グループワーク 発表）				事前学修：リゾートとは何か下調べをする 事後学修：リゾートの深掘りをする				30	30
8	近代観光の完成と各種観光スタイルの歴史的背景				事前学修：近代観光の意味を下調べをする 事後学修：各種観光スタイルを深掘りをする				30	30
9	トマス・クック（1）：マス・ツーリズムの萌芽について				事前学修：トマス・クックの下調べをする 事後学修：トマス・クックの深掘りをする				30	30
10	トマス・クック（2）：旅行の事業化について				事前学修：旅行の事業化について下調べをする 事後学修：旅行の事業化について深掘りする				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
11	マス・ツーリズムの台頭：青少年のバカンスからソーシャル・ツーリズムへ	事前学修：バカンスの意味を下調べをする 事後学修：バカンスの意味を深掘りをする	30	30
12	日本欧州以外の観光史と観光文化について（グループワーク 発表）	事前学修：世界の観光史の下調べをする 事後学修：世界の観光史の深掘りをする	30	30
13	日本の観光史と観光文化（1）：お土産 記念写真等	事前学修：日本観光文化の下調べをする 事後学修：日本観光文化の深掘りをする	30	30
14	日本の観光史と観光文化（2）：信仰と食	事前学修：信仰と食について下調べをする 事後学修：信仰と食について深掘りをする	30	30
15	まとめ：観光史から未来を考える	事前学修：観光史と文化の未来を下調べする 事後学修：観光史と文化の未来を検証する	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク，発表）			
教科書	特になし			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FC0-10				
	●			●						
科目名	金融リテラシー入門				単位認定者	中村 徹		授業内課題	100 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法		
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	講義	授業回数			15 回	
授業の概要	金融に関する基礎知識を学び、金融庁の指針（「金融リテラシーマップ」）に沿って短期大学生に必要なとされる金融リテラシーを身に付ける。金融商品、生命保険・損害保険について理解し、将来的に自分自身の生活設計が出来るレベルを目指す。									
到達目標	金融経済に関する知識を深め、収集した情報を比較することにより、自らの責任で適切な消費行動が出来るようになる。									
学修者への期待等	FP（ファイナンシャルプランナー）対策の教材を使用して、到達目標に必要な知識を修得する。積極的にFP技能検定を受検して、知識を強固なものにして欲しい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	【遠隔】ライフプランニングと資金計画Ⅰ (キャッシュフロー表, 教育資金など)				事前学修: 第1章01~07を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
2	【遠隔】ライフプランニングと資金計画Ⅱ (医療保険, 公的年金など)				事前学修: 第1章08~14を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
3	【遠隔】リスク管理Ⅰ (生命保険のしくみ)				事前学修: 第2章15~21を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
4	【遠隔】リスク管理Ⅱ (損害保険のしくみ)				事前学修: 第2章22~27を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
5	【対面】理解度確認問題Ⅰ (ライフプランと資金計画, リスク管理)				事前学修: 第1章, 第2章の復習 事後学修: 解けなかった問題の復習				60	30
6	【遠隔】金融資産運用Ⅰ (株式, 債券など)				事前学修: 第3章28~37を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
7	【遠隔】金融資産運用Ⅱ (投資信託, NISAなど)				事前学修: 第3章38~45を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
8	【遠隔】タックスプランニングⅠ (所得税のしくみ)				事前学修: 第4章46~52を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
9	【遠隔】タックスプランニングⅡ (所得控除, 確定申告など)				事前学修: 第4章53~60を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
10	【対面】理解度確認問題Ⅱ (金融資産運用, タックスプランニング)				事前学修: 第3章, 第4章の復習 事後学修: 解けなかった問題の復習				60	30
11	【遠隔】不動産Ⅰ (不動産登記簿, 借地借家法など)				事前学修: 第5章61~68を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
12	【遠隔】不動産Ⅱ (都市計画法, 建築基準法, 税金など)				事前学修: 第5章69~77を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
13	【遠隔】相続・事業承継Ⅰ (相続のしくみ, 相続税の計算など)				事前学修: 第6章78~85を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
14	【遠隔】相続・事業承継Ⅱ (贈与のしくみ, 贈与税の計算など)				事前学修: 第6章86~93を読む 事後学修: 該当する箇所の例題を解く				30	60
15	【対面】理解度確認問題Ⅲ (不動産, 相続・事業承継)				事前学修: 第5章, 第6章の復習 事後学修: 解けなかった問題の復習				60	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (問題演習)									
教科書	『2026年ー2027年版FP3級をひとつひとつわかりやすく。』益山真一著, 株式会社Gakken									

参考文献	なし
備考	第5回，第10回，第15回の理解度確認問題は対面で実施し，それ以外の講義は遠隔（オンデマンド）で実施する。全ての授業回にて提示された問題演習を行うことでFP技能検定の受検につながる。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-2-CC0-01				
		●	●							
科目名	観光ビジネス英会話				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	<p>経済のグローバル化は着実に進行し、ビジネスシーンで英語が使える人材の必要性がますます高まっている。本科目では、基本的な観光ビジネスの場における英語表現を学修し、実際の観光ビジネスシーンで活用できるようにする。また、観光ビジネス上重要な英語表現を反復し、講義に加えロールプレイングを行うことで、英語で会話することへの抵抗感をなくす。楽しみながら活きた観光ビジネス英語表現の修得を目指す。</p>									
到達目標	<p>観光ビジネス分野（旅行、エアライン、宿泊）の主要な場面で用いられる英語表現を学修し、ロールプレイを通じて適切に使うことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>これまでに学修した観光英語に関する表現を実際に使用できるようになることを目指し、授業内の会話練習やロールプレイ活動に積極的に取り組むこと。ペアワークやグループワークには1人1人が責任感を持って臨むこと。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	授業ガイダンス/事前・事後学修の方法 テキスト p.9 Introduction				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
2	Unit 1 Recommending a tour Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
3	Unit 2 Taking a tour booking Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
4	Unit 3 Escorting a tour Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
5	Unit 4 Welcoming international tourists Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
6	Unit 5 Taking an airline reservation Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
7	Unit 6 Giving flight information Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
8	Unit 7 Helping passengers check in Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
9	Unit 8 Working at the boarding gate Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
10	Unit 9 Offering in-flight services Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
11	Unit 10 Giving CIQ information Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	
12	Unit 11 Taking a room reservation Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)				事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	Unit 12 Welcoming guests Dialogueの理解と会話練習(ペアワーク)	事前学修：音声をダウンロードし発音を確認する。 事後学修：語彙や表現を復習する。	30	30
14	Role Play 発表① ペアまたはグループでロールプレイの SCRIPT を作成する	事前学修：SCRIPT の設定を考える。 事後学修：SCRIPT の推敲を行う。	30	30
15	Role Play 発表② 作成した SCRIPT を用いて、発表を行う	事前学修：発表の練習を行う。 事後学修：発表の自己評価を行う。	60	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（会話練習，ペアワーク，ロールプレイ，発表）			
教科書	Reiko Fujita (2019). <i>English for Tourism Professionals</i> . National Geographic Learning.			
参考文献	随時配布する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時に授業への疑問などをReactionとして提出してもらい，次回にフィードバックを行う。 ・履修者の状況によって進捗や順番に変更が生じる場合や，遠隔で授業を実施する場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-01				
		●		●						
科目名	旅行ビジネス実務				単位認定者	高野 宏輝		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	旅行ビジネス全般についての理解を深めるとともに、商品ごとの仕組みや商品流通について学ぶ。旅行業界の歴史や業界をとりまく環境の変化・諸課題、旅行会社の業務内容全般、旅行業をとりまく観光関連産業や多様な職種について学習する。また、旅行商品のプランニングの手法を理解する。									
到達目標	①観光関連産業全般及び多様な職種について理解し、説明できるようにする。 ②旅行会社の業務内容を理解し、実践できるようにする。 ③旅行商品をプランニングできるようにする。									
学修者への期待等	旅行会社の仕事は多種多様です。どんな職種があるのか理解してください。プランニングについては、自分が旅行をする場合、どんな計画を立て、どんなことが必要か、事前に考えてみてください。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	導入 旅行業とは？ グループワーク				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
2	旅行会社の組織構成				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
3	旅行商品と店頭営業				事前学修：パックツアーのパンフレットを収集分析する 事後学修：課題レポート提出				60	30
4	法人営業の実践①セールス計画 グループワーク				事前学修：ターゲットを考慮しておく 事後学修：課題レポート提出				30	30
5	法人営業の実践②商談 グループワーク				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
6	旅行のプランニング①商品企画知識				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
7	旅行のプランニング②企画の実践				事前学修：旅行企画を検討しておく 事後学修：課題レポート提出				60	30
8	企画書作成とプレゼンテーション グループワーク				事前学修：発表のリハーサルを行う 事後学修：課題レポート提出				60	30
9	旅行契約から添乗まで				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
10	インバウンド観光				事前学修：インバウンドについて調べておく 事後学修：課題レポート提出				30	30
11	MICE				事前学修：MICEについて調べておく 事後学修：課題レポート提出				30	30
12	特化型体験旅行（SITツアー）				事前学修：どんなSITツアーがあるか調べておく 事後学修：課題レポート提出				30	30
13	ネット通販				事前学修：どんなOTAについて調べておく 事後学修：課題レポート提出				30	30
14	旅行業の課題と展望				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	30
15	まとめ（重要ポイントの振り返り）				事前学修：なし 事後学修：課題レポート提出				0	60
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループワーク）									

教科書	教科書は使用せず，必要に応じて資料を配布する。
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了後，振り返り課題をUNIPAより提出することを基本とする。評価はUNIPAより行い各学生へフィードバックする。 ・授業内で解説した配布資料以外の解説用スライドは，UNIPA上に掲載するので，必要に応じて参照すること。 ・受講者の理解度などにより，講義順序や重点の置き方を変更することがある。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

26年間旅行会社(株式会社JTB)に在籍し，営業，オペレーション，販促，マネジメント業務に従事。商品企画から販売に至るまで，ビジネス現場で経験した事例を紹介し，習熟すべき知識とつながるよう，分かりやすく解説する。

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			●

科目名	ホテル経営				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内 課題等	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
							授業回数		15 回	

授業の概要 本科目は現在急拡大しつつあるインバウンド需要、増加傾向の国内需要、加速する外資進出、解禁された民泊など多様化する宿泊業界において、ホテルを中心とする宿泊業の経営の実際についていくつかの事例研究により学ぶとともに、広義の観光活動から見る宿泊業経営のあり方について学ぶ。

到達目標 宿泊施設の多様な環境、特に立地、ターゲット層、和風と洋風の違い等を理解するとともに、それぞれの環境で取得した最適な経営方法を学ぶことで、現在における観光宿泊施設の特徴を自分の言葉で表現できるようになる。

学修者への期待等 ホテル、旅館を中心とする宿泊施設は実に多彩な環境にあり、経営方法も多様です。そうした観光宿泊施設の経営の一端に触れることで観光の世界の奥深さを体験してもらいたいと思います。

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	ガイダンス：講義スケジュール， 宿泊の現状	事前学修：無し 事後学修：ホテルの現状確認をする	0	30	鎌田 貢治
2	旅行会社とホテルとの関係について (外部講師)	事前学修：旅行会社との関係下調べをする 事後学修：関係性の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 池田 大
3	事例研究フィールドワーク①：流辺別邸 観山聴月	事前学修：訪問旅館の下調べをする 事後学修：振返りをする	30	30	鎌田 貢治 原 華織
4					
5	事例研究②：秋保温泉 ホテルニュー水戸屋	事前学修：訪問ホテルの下調べをする 事後学修：振返りをする	30	30	鎌田 貢治 山尾 美恵
6					
7	国の観光政策と宿泊業について (外部講師)	事前学修：国の政策を下調べする 事後学修：振返りをする	30	30	鎌田 貢治 長澤 秀博
8	事例研究フィールドワーク③：泉ロイヤルパークホテル	事前学修：訪問ホテルの下調べをする 事後学修：振返りをする	30	30	鎌田 貢治 渡辺 利明
9					
10	事例研究フィールドワーク④：ホテルベルエア仙台	事前学修：訪問ホテルの下調べをする 事後学修：振返りをする	30	30	鎌田 貢治 畠中 将人
11					
12	事例研究フィールドワーク①から④までの振返りと課題点の提示	事前学修：①から④までの内容の振返りをする 事後学修：①から④までの内容の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
13	事例研究フィールドワーク⑤：松島小松館	事前学修：訪問ホテル の下調べする 事後学修：振返りをす る	30	30	鎌田 貢治 小松 篤司
14					
15	まとめ：宿泊施設の現状の検証	事前学修：全体内容検 証をする 事後学修：内容総括を する	30	30	鎌田 貢治
アクティブ・ ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク）				
教科書	無し				
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。				
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。	

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●	●								
科目名	ウェディングブライダル演習				単位認定者	小里 千寿		評価の方法	授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	30 %	
					授業形態	演習	授業時間数				30 時間
							授業回数		15 回		
授業の概要	<p>本科目はブライダル事業の現場において挙式相談から披露宴までの一連の流れを実際にあるいは模擬的に体験・理解し、挙式に関する知識や技術を学ぶことで、ブライダル事業への理解を深めることを目的とする。授業形式は演習とし、受講生が主体的に協働して様々な場面に対応できる力を養う。</p>										
到達目標	<p>模擬挙式を通してブライダル業界への理解と知識を深める。積極的に授業に参加し、チームでコミュニケーションを取りながら課題を解決する力をつける。</p>										
学修者への期待等	<p>限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習や問題演習を積極的に行ってほしい。実際に模擬挙式を行うことによりブライダル業界への知識と理解を深めてほしい。グループワークが基本になるため、円滑なコミュニケーションを心掛けてほしい。</p>										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	授業ガイダンス（ウェディングブライダル演習の授業の進め方、評価の仕方など）				事前学修：なし 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		0	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
2	ウェディングブライダルの基礎知識（ゲストスピーカー）				事前学修：ウェディングブライダルに関してあらかじめ参考文献等で調べておく 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
3	挙式コンセプト・演出内容を決定する（ディスカッション）				事前学修：ディスカッションのための自分の意見をまとめておく 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
4	【校外学修】 模擬挙式会場見学，貸衣裳の仮予約				事前学修：挙式会場について事前に下調べをしておく 事後学修：会場見学をもとに必要な準備作業を考える		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
5	模擬挙式の進行内容を組み立てる（ディスカッション）				事前学修：挙式の進行内容について自分の考えをまとめておく 事後学修：決定した進行内容をまとめておく		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
6	模擬挙式の役割を考え分担を決定する（ディスカッション）				事前学修：役割分担について自分の考えをまとめておく 事後学修：決定した役割についてやることを整理しておく		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
7	役割分担ごとのトレーニング・準備作業① 模擬挙式準備グループワーク	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
8	役割分担ごとのトレーニング・準備作業② 模擬挙式準備（小道具）	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
9	全体の進行内容等の見直し （役割ごとの現状報告、全体の進行等を練り直す）	事前学修：全体の進行を考える際にチェックする事項を洗い出しておく 事後学修：練り直した全体の進行を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
10	役割分担ごとのトレーニング・準備作業③ 模擬挙式準備（大道具）	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
11	プレリハーサル① 講義室でのリハーサル、グループワーク	事前学修：当日の流れを想定して必要事項をまとめておく 事後学修：リハーサルで気づいた改善点を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
12	プレリハーサル② 講義室でのリハーサル、課題抽出と解消への取り組み	事前学修：プレリハーサル①での改善を踏まえた流れをまとめておく 事後学修：本番を想定した流れをまとめておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
13	最終リハーサル 模擬挙式	事前学修：挙式会場を想定した流れをまとめておく 事後学修：今後に向けての反省点、改善点をまとめておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
14	（1年：「ホテル・ブライダルサービス」（第14回）と合同）				
15	模擬挙式の振り返り	事前学修：自分の反省点と改善点の意見をまとめておく 事後学修：全体で出た意見を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ディスカッション、校外学修、グループワーク）				
教科書	なし（使用資料・ツールはその都度配布またはアナウンスする）				
参考文献	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター				
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合や、遠隔授業で実施する場合がある。質問等については、次回以降の授業でフィードバックする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

この授業では、現役のウェディングプランナーを招聘した授業を実施する。実務家による講義を通じて、ブライダル業界における実務的業務を学び、自ら企画立案を行い模擬挙式の体験することができる。
（小野寺 理恵）ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル分野（プランナー・美容師、司会、アテンド等）で34年の実務経験がある。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）。

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
				●	●					
科目名	旅と文学				単位認定者			評価の方法	試験(筆記・レポート)	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題等	%
					授業形態		授業時間数		30 時間	受講態度
							授業回数		15 回	
授業の概要	本科目では旅と文学の接点に位置する紀行文学において、古代からいかに人々が未知の文化・文明・風土に関心を持ち、ときに時代や社会を批判し、また自らの心情を著者の心情を重ねて旅を追体験してきたかを学ぶ。また、どの紀行文もそれ自体独立して存在しうるものではなく、社会的、文化的、政治的、経済的、文学的など様々な状況に重層的にからめとられながら成立してきたという経緯についても理解を深める。									
到達目標										
学修者への期待等										
回	授業計画					準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	今年度は開講しない									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード()									
教科書										
参考文献										
備考										

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

科目ナンバリング
TB-3-ECO-13

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			●

科目名	テーマパークビジネス				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内 課題等	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
						授業回数	15 回			
授業の概要	我が国では1980年以降、東京ディズニーランドを始めとするテーマパークが次々と開園したが、それらの多くがバブル後に経営不振や休業、廃業に追い込まれた。本科目ではケーススタディとしていくつかのテーマパークを取り上げ、外的環境と企業努力の点から成功と失敗の要因を分析、理解する。また適宜テーマパークを実際に視察し、実際の運営に触れることで、テーマパークにおけるビジネスモデルを学ぶ。									
到達目標	テーマパークビジネスがもたらす経済効果とその周辺に係わる観光事業等がどのように関わっているのかを認識してもらう。またTDLのホスピタリティを深耕することで、自身のパーソナリティの一つの選択肢として会得してもらう。また世界のパーク状況についても基本事項を会得する。									
学修者への期待等	日本のテーマパークについて、現在どのような状況なのかを認識する。またTDL・USJの2大テーマパークについては個人の感想を含めて意見を求める。八木山ベニーランド、ハワイアンズでのフィールド学修を実施する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業ガイダンス：講義の進め方、テーマパークの位置付け等				事前学修：無し 事後学修：テーマパークの現状深掘りをする				0	30
2	現地調査フィールドワーク①：八木山ベニーランド				事前学修：八木山ベニーランドの概略の下調べする				30	30
3					事後学修：課題点を深掘りする					
4	八木山ベニーランド視察の振り返り TDLの歴史現状等				事前学修：八木山ベニーランドの振り返りまとめをする 事後学修：TDLの内容検証を行う				30	30
5	地方のパーク現状（都内 中部 沖縄等）について				事前学修：地方のパークの下調べをする 事後学修：地方のパークの深掘りをする				30	30
6	日本3大遊園地の実情				事前学修：日本各地の遊園地の下調べをする 事後学修：3大遊園地について深掘りをする				30	30
7	3大作法のグループワーク及びRP発表				事前学修：3大作法の内容下調べする 事後学修：自身のRPの検証をする				30	30
8	世界のテーマパークについて（特に米国を中心に）				事前学修：米国のテーマパークについて下調べする 事後学修：世界のテーマパークについて深掘りをする				30	30
9	テーマパークと地域観光との関連性モデルコース作成①（場所の選択）				事前学修：地域観光について下調べをする 事後学修：モデルコースの内容確認する				30	30
10	テーマパークと地域観光との関連性モデルコース作成②（内容の深掘り調査）				事前学修：モデルコースの内容精査をする 事後学修：他の発表者の深掘りをする				30	30
11	テーマパークのロコミサイトの検証及び課題検証				事前学修：ロコミの現状の下調べをする 事後学修：課題検証の深掘りをする				30	30
12	現地調査フィールドワーク② スパリゾートハワイアンズ				事前学修：スパリゾートハワイアンズの概略を下調べする				30	30
13					事後学修：スパリゾートハワイアンズ課題検証の確認をする					

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
14	スパリゾートハワイアンズ振返り 発表	事前学修：振返り案件内容のまとめをする 事後学修：他の発表者の深掘りをする	30	30
15	今後のテーマパークの在り方等検証 全体授業振返り	事前学修：テーマパークの全体内容確認をする 事後学修：全体内容の課題検証をする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク、発表）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-19				
				●	●					
科目名	国内観光資源				単位認定者	佐藤 美輪		試験 (レポート)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目は、「国内観光地理」の発展である。「国内観光地理」で学んだ知識を活かし、旅行プランを自ら立てることで、理解を深める。更に、郷土料理や祭りなども取り上げ、現在の観光地が歴史とどのような関連があるかについても学ぶことで、一般常識の養成にも役立つ講義の内容を構成する。</p>									
到達目標	<p>日本国内の郷土料理や祭りを学ぶことで、地域文化の違いについて理解できるようになる。テキストの内容に留まらず、興味を持った観光地を自ら調べ、説明することができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>オンデマンド配信のため、何度でも繰り返し視聴し知識の定着に努めてほしい。また、足を運んだことが無い地域ほど、講義以外の時間でも自主学修をし理解を深めるよう努力してほしい。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	日本の郷土料理・祭りについて 北海道地方の観光地・郷土料理・祭り				事前学修：教科書の北海道の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
2	東北地方の観光地・郷土料理・祭り (青森・秋田・岩手)				事前学修：教科書の青森・秋田・岩手の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
3	東北地方の観光地・郷土料理・祭り (山形・宮城・福島)				事前学修：教科書の山形・宮城・福島の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
4	関東地方の観光地・郷土料理・祭り (新潟・群馬・栃木・茨城)				事前学修：教科書の新潟・群馬・栃木・茨城の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
5	関東地方の観光地・郷土料理・祭り (埼玉・千葉・東京・神奈川)				事前学修：教科書の埼玉・千葉・東京・神奈川の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
6	関東地方・中部地方の観光地・郷土料理・祭り (山梨・長野・静岡)				事前学修：教科書の山梨・長野・静岡の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
7	中部地方の観光地・郷土料理・祭り (愛知・岐阜・富山)				事前学修：教科書の愛知・岐阜・富山の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
8	中部地方・関西地方の観光地・郷土料理・祭り (石川・福井・滋賀)				事前学修：教科書の石川・福井・滋賀の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	関西地方の観光地・郷土料理・祭り (京都・奈良)	事前学修：教科書の京都・奈良の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
10	関西地方の観光地・郷土料理・祭り (三重・和歌山・大阪・兵庫)	事前学修：教科書の三重・和歌山・大阪・兵庫の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
11	中国地方の観光地・郷土料理・祭り (鳥取・島根・岡山・広島・山口)	事前学修：教科書の鳥取・島根・岡山・広島・山口の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
12	四国地方の観光地・郷土料理・祭り (香川・徳島・愛媛・高知)	事前学修：教科書の香川・徳島・愛媛・高知の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
13	九州地方の観光地・郷土料理・祭り (福岡・佐賀・長崎・熊本)	事前学修：教科書の福岡・佐賀・長崎・熊本の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
14	九州地方・沖縄の観光地・郷土料理・祭り (大分・宮崎・鹿児島・沖縄)	事前学修：教科書の大分・宮崎・鹿児島・沖縄の箇所を読み、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた郷土料理・祭りで興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
15	地域の郷土料理・祭りを生かした旅行プラン作成および調査学修	事前学修：旅行会社のチラシを確認し、授業に臨むこと。 事後学修：旅行プランを完成させること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（調査学修）			
教科書	「国内観光地理サブノート」株式会社JTB総合研究所 「旅行業務実務シリーズ④国内旅行実務 国内観光資源」2025 株式会社JTB総合研究所			
参考文献	必要に応じて紹介する。また必要に応じて適宜プリントを配布する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。 ・本科目は遠隔（オンデマンド配信）にて実施する。 ・授業への疑問等については、次回以降の授業でフィードバックを行う。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-22				
				●	●					
科目名	海外観光地理				単位認定者	佐藤 美輪		試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
					授業形態		講義		授業時間数	30 時間
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目は、世界主要国・都市の観光地に関して基礎知識を身につけることを目的とする。国毎の地形と主要都市の基礎知識を学ぶため、首都、面積、人口、言語、気候、人種、歴史、宗教、通貨、時差、を講義では触れる。国毎の観光イメージを象徴する事項（自然、文化、産物など）を各自調べる作業も取り入れることで、理解や考察を深めていく。</p>									
到達目標	<p>世界遺産をはじめとする海外の観光地に関心を持ち、興味のある国について主体的に調べ、学びを深めることができる。世界主要国の観光資源について理解できるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の予習・復習を積極的に行ってほしい。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	ガイダンス(授業の進め方・評価方法・報告会実施方法) 韓国				事前学修：韓国の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
2	中国(北部・南部・香港・マカオ・台湾)				事前学修：中国(北部・南部・香港・マカオ・台湾)の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
3	中国(シルクロード・チベット)				事前学修：中国(シルクロード・チベット)の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
4	東南アジアⅠ(ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマー・タイ)				事前学修：ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマー・タイの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
5	東南アジアⅡ(マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン)				事前学修：マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピンの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
6	アメリカ合衆国(東部)				事前学修：アメリカ合衆国(東部)の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	
7	アメリカ合衆国(西部・西海岸)				事前学修：アメリカ合衆国(西部・西海岸)の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
8	カナダ・ハワイ諸島	事前学修：カナダの国の基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
9	オーストラリア・ニュージーランド	事前学修：オーストラリア・ニュージーランドの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
10	イギリス	事前学修：イギリスの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
11	フランス	事前学修：フランスの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
12	ドイツ	事前学修：ドイツの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
13	イタリア	事前学修：イタリアの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
14	スペイン	事前学修：スペインの基本情報について事前に調べ、授業に臨むこと。 事後学修：授業で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
15	総まとめおよび調査報告会	事前学修：報告会の準備をし、授業に臨むこと。 事後学修：報告会で触れた観光地で興味を持ったものをさらに掘り下げ調べること。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（調査報告会）			
教科書	必要に応じて適宜プリントを配布する。			
参考文献	必要に応じて紹介する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。 ・授業への疑問等については、次回以降の授業でフィードバックを行う。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●			●						
科目名	東南アジアの言語と文化				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %	
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間		
				授業回数		15 回					
授業の概要	観光立国が現代日本の成長の一つの柱として重視されているが、本科目は近年、訪日旅行者が増加傾向を続けるアジア諸国、中でも東南アジアの国々について、どのような言語が話され、どのような文化が育まれているのかを概括的に学修する。そこから東南アジア諸国の言語・文化の多様性を理解し、それらの国からのインバウンド需要に応える基礎的素養を身につけることを目的とする。										
到達目標	観光分野において日本にとってこれから増々重要となる東南アジアの国々について、地理的關係、文化的文脈、言語状況、社会的背景などを自分の言葉で語れるようになる。										
学修者への期待等	今後東南アジア諸国は増々重要なパートナーとなります。日頃からニュースやネットなどで東南アジア諸国の動きに注意してください。										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	ガイダンス：授業の流れ、主要3国の概要説明等				事前学修：無し 事後学修：東南アジア 主要3ヶ国の精査をする		0	30	鎌田 貢治		
2	東南アジア全体の歴史 文化の概要				事前学修：東南アジア の歴史文化の下調べを する 事後学修：東南アジア の歴史文化の深掘りを する		30	30	鎌田 貢治		
3	インドネシアの地理と民族の多様性				事前学修：インドネシ アの地理民族の下調べ をする 事後学修：インドネシ アの地理民族の深掘り をする		30	30	鎌田 貢治 Inna Syahida Inayah		
4	インドネシアの歴史と宗教について				事前学修：インドネシ アの歴史宗教の下調べ をする 事後学修：インドネシ アの歴史宗教の深掘り をする		30	30	鎌田 貢治 Inna Syahida Inayah		
5	インドネシアの社会と文化について				事前学修：インドネシ アの社会文化の下調べ をする 事後学修：インドネシ アの社会文化の深掘り をする		30	30	鎌田 貢治 Inna Syahida Inayah		
6	インドネシアの言語について				事前学修：インドネシ アの言語文法の下調べ をする 事後学修：インドネシ アの言語文法の深掘り をする		30	30	鎌田 貢治 Inna Syahida Inayah		
7	ベトナムの地理と民族の多様性				事前学修：ベトナムの 地理民族の下調べをす る 事後学修：ベトナムの 地理民族の深掘りをす る		30	30	鎌田 貢治 Bui Thuy Linh		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
8	ベトナムの歴史と宗教について	事前学修：ベトナムの歴史宗教の下調べをする 事後学修：ベトナムの歴史宗教の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 Bui Thuy Linh
9	ベトナムの社会と文化について	事前学修：ベトナムの社会文化の下調べをする 事後学修：ベトナムの社会文化の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 Bui Thuy Linh
10	ベトナムの言語について	事前学修：ベトナムの言語の下調べをする 事後学修：ベトナムの言語の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 Bui Thuy Linh
11	タイの地理と民族の多様性	事前学修：タイの地理民族の下調べをする 事後学修：タイの地理民族の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 THARASUK Pasporn
12	タイの歴史と宗教について	事前学修：タイの歴史宗教の下調べをする 事後学修：タイの歴史宗教の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 THARASUK Pasporn
13	タイの社会と文化について	事前学修：タイの社会文化の下調べをする 事後学修：タイの社会文化の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 THARASUK Pasporn
14	タイの言語について	事前学修：タイの言語の下調べをする 事後学修：タイの言語の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治 THARASUK Pasporn
15	まとめ：今後の東南アジアと日本との関係の発表	事前学修：東南アジア全般のまとめをする 事後学修：東南アジア全般の深掘りをする	30	30	鎌田 貢治
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（発表）				
教科書	無し				
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。				
備考	外部講師様の都合により講義内容が前後することがあります。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

(鎌田) 旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-22				
	●	●								
科目名	韓国語会話Ⅱ				単位認定者	李 美賢		試験 (筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、韓国語の基礎をすでに修得した学生を対象とし、口頭表現力、聴解力、読解力の向上を目指す。すなわち「覚える韓国語から使う韓国語」を指向し、高度な文法的知識を身に付けると同時に現地で通用する会話運用能力を養う。そのために、韓国の文化、経済、価値観の理解も深め、ビジネスや文化交流の現場で活躍できる人材育成を目指す。									
到達目標	韓国語の初中級レベルの語彙及び文法を理解できるようになる。ネイティブスピーカーの話しを理解し、簡単な文章書き・聞き取り・日常会話ができるようになる。									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ・入門である教科書「キムチ1 韓国語」を学んだ基礎文法をしっかり理解したうえで授業に臨んでほしい。また、現地で通用する語学力を高めるためには、単語力の強化を勧める。 ・韓国語能力検定試験(TOPIK)を受験する積極的な姿勢を期待する。 									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス、簡単な会話の練習 ・クラス分け 				事前学修：シラバスを読み、学習内容を理解しておく。 事後学修：第6課までの文法内容を覚えることを求める。				30	60
2	実践会話：ペア・ワーク、グループ・ワーク、ロールプレイング				事前学修：自己紹介内容を考えておく事を求める。 事後学修：第6課までの文法内容を覚えることを求める。				30	60
3	第7課 ①해요体(1) ②目的助詞：～を ③疑問詞				事前学修：第7課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『해요体(1)・～を/疑問詞』については必ず復習する。				30	60
4	第7課 復習と応用 実践会話：ペア・ワーク、グループ・ワーク、ロールプレイング				事前学修：第7課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：『해요体(1)・～を/疑問詞』についての作文課題をする。				30	60
5	第8課 ①해요体(2) ②場所助詞：～で ③疑問詞				事前学修：第8課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『해요体(2)・～で/疑問詞』については必ず復習する。				30	60
6	第8課 復習と応用 実践会話：ペア・ワーク、グループ・ワーク、ロールプレイング				事前学修：第8課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『해요体(3)/固有数詞/～から、～まで』についての作文課題をする。				30	60
7	第9課 ①해요体(3) ②固有数詞 ③～から～まで				事前学修：第9課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『해요体(3)/固有数詞/～から、～まで』についての作文の課題をする。				30	60
8	第9課 復習と応用 実践会話：ペア・ワーク、グループ・ワーク、ロールプレイング				事前学修：第9課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『해요体(3)/固有数詞/～から、～まで』については必ず復習する。				30	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	第10課 ①～してください。 ②～に (人) ③しません。(안を使った否定形)	事前学修：第10課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『～してください・～に』『否定形』については必ず復習する。	30	60
10	第10課 復習と応用 実践会話：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第10課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『～してください・～に』『否定形』についての作文課題をする。	30	60
11	第11課 ①過去形：～しました。～でした ②～好きです ③～なさってください(尊敬形)	事前学修：第11課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『過去形/尊敬形』については必ず復習する。	30	60
12	第11課 復習と応用 実践会話：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第11課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『過去形/尊敬形』についての作文課題を復習する。	30	60
13	第12課 ①합니다体(名詞) ②합니다体(用言) ③합니다体(尊敬形)	事前学修：第12課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『합니다体』については必ず復習する。	30	60
14	第12課 復習と応用 実践練習：ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング	事前学修：第12課の内容を理解したうえで授業に臨むことを求める。 事後学修：授業で学んだ『합니다体』についての作文課題をする。	30	60
15	教科書のまとめと振り返り	事前学修：総合まとめ 事後学修：学んで文法を総まとめる。	30	60
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード(ペア・ワーク，グループ・ワーク，ロールプレイング)			
教科書	「キムチ1 韓国語入門」山崎玲美奈著，2022.1，朝日出版社			
参考文献	授業内で紹介する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を中心に授業を行うので，必ず持参し，講義で参考資料として配る資料はファイルしておく。 提出された疑問については毎回フィードバックを行う。履修状況により，進度や順番が変更になる場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-25				
	●	●								
科目名	中国語会話 I				単位認定者	程 艶春		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目では、中国語の発音、文字から始まり、基本的な文法や会話を学習し、初級の言語能力を養成することを目的とする。中国語は、アジア圏そして世界で必須の言語であり、本講義において基本的な中国語力を獲得することを目標とする。									
到達目標	中国語の基本的な発音の知識と文法を身につけて、簡単な読み書きと会話ができることを目標としています。									
学修者への期待等	毎回学修した内容をしっかり復習すること、授業中に積極的にコミュニケーション活動に参加することを期待しています。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	中国語についての豆知識				事前学修：なし 事後学修：中国語はどんな言語か考えてみてください。			0	30	
2	中国語の発音 1 (母音について)				事前学修：発音の特徴を読んでおく。 事後学修：新しく学修した豆知識についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
3	中国語の発音 2 (子音について)				事前学修：子音について予習しておく。 事後学修：新しく学修した母音についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
4	中国語の基礎文法 1 (是の文型)				事前学修：是の文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した子音についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
5	中国語の基礎文法 2 (有の文型)				事前学修：有の文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した文法 1 についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
6	会話 1 誘う文型				事前学修：誘う文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した文法 2 についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
7	会話 1 のロールプレイ				事前学修：会話 1 を予習しておく。 事後学修：新しく学修した誘う文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
8	会話 2 聞く文型				事前学修：聞く文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話 1 の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
9	会話 2 のロールプレイ				事前学修：会話 2 を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話 2 聞く文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	
10	会話 3 祝う文型				事前学修：祝う文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話 2 の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
11	会話3のロールプレイ	事前学修：会話3を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話3 祝うの文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
12	会話4 お願いする文型	事前学修：会話4の内容を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話3の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
13	会話4のロールプレイ	事前学修：会話4の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した会話4 お願いする文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
14	会話5 ほめ方の文型	事前学修：ほめ方の文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話4の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
15	会話5のロールプレイ	事前学修：会話5を予習しておく。 事後学修：総復習しておく。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ロールプレイ）			
教科書	「ゼロから話せる中国語」市瀬智紀／程艶春著，三修社			
参考文献	特になし			
備考	授業への疑問等については、次回以降の授業にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-38					
	●	●									
科目名	中国語会話Ⅱ				単位認定者	程 艶春		試験 (レポート)	60	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	20	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	20
				授業回数		15 回					
授業の概要	本科目では、「中国語会話Ⅰ」を受けて、基本的な中国語の文法と会話を習得したのち、初級の中国語の能力を活用して、中国語を円滑に発音しつつ、中国語の文法規則を総体的に認識して会話の中で確実に活用できることを目的とする。										
到達目標	学修した基本の文法を応用して、自分から言葉を組み立てて、書く、会話及び簡単な文章読解ができることを目標にしています。										
学修者への期待等	毎回学修した内容をしっかり復習すること、授業中に積極的にコミュニケーション活動に参加することを期待しています。										
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	今まで習った内容をまとめて復習する				事前学修：今まで習った基礎を復習して思い出すように。 事後学修：まだできてないところを読み替えて復習する。				30	30	
2	会話6 電話のかけ方				事前学修：会話6を予習しておく。 事後学修：今まで習得した内容についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
3	会話6のロールプレイ				事前学修：会話6の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した電話のかけ方についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
4	会話7 許可をもらう文型				事前学修：会話7の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した会話6の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
5	会話7のロールプレイ				事前学修：会話7の会話を音読してみる。 事後学修：新しく学修した会話7許可をもらう文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
6	会話8 感情表現の文型				事前学修：感情表現の文型を予習しておく。 事後学修：新しく学修した会話7の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
7	会話8のロールプレイ				事前学修：会話8の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した感情表現についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
8	会話9 体調の表現の文型				事前学修：会話9の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した会話8の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
9	会話9のロールプレイ				事前学修：会話9の会話を音読しておく。 事後学修：新しく学修した体調の表現の文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	
10	会話10 使役の文型				事前学修：会話10の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した会話9の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。				30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
11	会話10のロールプレイ	事前学修：会話10を音読しておく。 事後学修：新しく学修した使役の文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
12	会話11 意思表示の文型	事前学修：会話11の音声を聞いておく。 事後学修：新しく学修した会話10の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
13	会話11のロールプレイ	事前学修：会話11を音読しておく。 事後学修：新しく学修した意思表示の文型についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと。	30	30
14	小文章の解説	事前学修：小文章の新しい単語を調べておく。 事後学修：新しく学修した会話11の会話についてテキストやノートを読み返して復習し、次回の講義に臨むこと	30	30
15	まとめと復習	事前学修：今まで習ったものを総復習しておく。 事後学修：レポートの準備	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ロールプレイ）			
教科書	「ゼロから話せる中国語」市瀬智紀／程艶春著，三修社			
参考文献	特になし			
備考	授業への疑問等については，次回以降の授業にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-26				
	●	●								
科目名	フランス語会話				単位認定者	野中 みどり		授業内確認テスト (2回)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	小テスト	40 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目では、口頭による練習問題を多く重ねることで、フランス語の世界を「音」から理解することから始める。具体的には、日常生活の各場面で多く使用される基本的なフランス語表現を繰り返し聞き、発音することで、状況に即した表現を「音の連鎖」として捉え、また自らも状況に合わせて「音の連鎖」を発信する訓練を行う。その過程で最小限の文法事項、文字表記法、様々な慣用表現などの説明も適宜行い、簡単なフランス語を聞き、話し、読み、書く力を養う。</p>									
到達目標	<p>(1) 挨拶や基本的な考えを平易な表現で相手に伝えることができ、かつ相手の表現を理解することができる。 (2) モデル会話文を理解して練習問題に適切に答えることができる。 (3) 小テストでは常に半分以上の点を取ることができる。</p>									
学修者への期待等	<p>言葉はコミュニケーションの手段であると同時に世界をどう見るかという世界観の表れ、つまり文化そのものです。フランス語話者が世界をどう捉えているかを意識して日本語と比較しながら学習しましょう。毎回の授業で紹介する日常表現を身に付けるために練習に参加しましょう。また必ず事務局を通して教科書を入手し、空欄等に適切な情報を書き込んで学びを進めてください。</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	0課：フランス語の特徴を紹介， アルファベ				事前学修：0課および8-9頁を眺めておく。 事後学修：アルファベを復習する。			30	30	
2	0課：基本の挨拶練習， 数字1-10， 以降毎回数字の聞き取り訓練を行う， パリについて				事前学修：0課会話文の音声を聞く。 事後学修：挨拶と数字を復習する。			30	30	
3	1課：国籍と名前の言い方， フランスの学生生活				事前学修：1課会話文を聞く， 主語と動詞を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する， 練習問題を解く。			30	30	
4	2課：職業を言う， 規則動詞， 疑問文， フランスについて（グループワークでクイズに答える）				事前学修：2課会話文を聞く， er動詞の活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する， 宿題を解く。			30	30	
5	3課：好みを言う， 冠詞， お店について（グループワークでカフェでのやり取りを実践する）				事前学修：3課会話文を聞く， 指示された名詞を予習する。 事後学修：会話音声を復習する， 宿題を解く。			30	30	
6	4課：家族について話す， 否定文， 数字11-20， 以降毎回数字の聞き取り訓練1-20を行う， 社会生活（グループワークでクイズに答える）				事前学修：4課会話文を聞く， avoirの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する， 聞き取り問題を解く。			30	30	
7	5課：人や物を描写する， 形容詞， 買い物について				事前学修：5課会話文を聞く， 指示された形容詞を予習する。 事後学修：会話音声を復習する， 宿題を解く。			30	30	
8	前半（0課-5課）の復習， 確認テスト(1)， 発音規則				事前学修：0課-5課の疑問点などを質問できるように整理しておく。 事後学修：確認テスト(1)の内容を復習する。			30	30	
9	6課：誘う表現， 主要動詞， レストランについて（グループワークで注文の練習を行う）				事前学修：6課より32-33頁を眺めておく， 会話文を聞く。 事後学修：会話音声を復習する， 宿題を解く。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
10	6課：誘いに応える，縮約形，レストランについて 続き	事前学修：6課会話文を聞く，allerの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する，練習問題を解く。	30	30
11	7課：予定を言う，近接未来，数字30-100，以降数字の訓練に30-100を加える，祝日と週末（グループワークでクイズに答える）	事前学修：7課会話文を聞く，faireの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する，宿題を解く。	30	30
12	8課：依頼する，命令文，パリ近郊の紹介（グループワークでクイズに答える）	事前学修：8課会話文を聞く，prendreの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する，聞き取り問題を解く。	30	30
13	9課：時間や天気を言う，非人称構文，世界遺産	事前学修：9課会話文を聞く，finirの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する，聞き取り問題を解く。	30	30
14	10課：人を紹介する，人称代名詞，フランスの地方都市	事前学修：10課会話文を聞く，pouvoirの活用を書いて覚える。 事後学修：会話音声を復習する，宿題を解く。	30	30
15	後半（6課-10課）の復習，確認テスト(2)，発音規則	事前学修：6課-10課の疑問点などを質問できるように整理しておく。 事後学修：確認テスト(2)の内容を復習する。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク，訓練，練習）			
教科書	「トライ！ フランス語 F comme français」 藤田知子 他著，駿河台出版社 購入に際する重要注意事項：履修確定後に事務局を通して購入すること（下記備考も参照）。			
参考文献	仏和辞書（初回の授業で簡単な辞書の案内を行う）			
備考	授業内確認テスト(2回)は実施後に解答解説する。小テストと課題は回収後に添削し，次回授業で返却する。 確認テスト(2回)は教科書を参照しながら問題を解く。事務局が注文する同じ版の教科書を前提としたテストを行うため，教科書は自分で購入せずに必ず事務局を通して同じ版のものを購入すること。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-28				
		●	●							
科目名	おもてなし英語				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	ロールプレイ	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	日々の生活の中で外国の方々と接する機会が急増している。本科目では、外国からのお客様に接するための英語表現を学ぶ。コンビニエンスストア、カフェ、レストランや販売店など、広く接遇の場面で活用できる英語力を身につける。実際の場面を想定したロールプレイングを取り入れ、それぞれの状況において必要な語彙や英語表現を修得する。									
到達目標	日常的な接客の場面を想定し、顧客である外国人観光客に英語で対応できるようになる。日本の文化や習慣を再確認し、それらを英語で理解して説明できるようになる。									
学修者への期待等	授業では、店員と外国人客を互いに英語で演じるロールプレイを多く行う。積極的な姿勢で活動に取り組める学生の履修を期待する。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	おもてなし英語の授業の進めかたについて「おもてなし英語」とは何か				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：新出表現を復習する。			30	30	
2	Unit 1 Ramen ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
3	Unit 2 Animal Café ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
4	Unit 3 Stand-up Eatery ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
5	Unit 4 Convenience Store ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
6	Unit 5 Japanese Fast Food, Gyudon ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
7	Unit 6 Japanese Spa ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
8	Unit 7 Flour Dishes ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
9	Unit 8 Karaoke ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
10	Unit 9 Seating Charges at Japanese Restaurant ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	
11	Unit 10 Second-Hand Store ペアワーク（会話練習）、ロールプレイ				事前学修：新出表現を予習する。 事後学修：Useful Words and Phrasesのリストを作成する。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
12	Unit 11 Kawaii Culture ペアワーク (会話練習), ロールプレイ	事前学修: 新出表現を予習する。 事後学修: Useful Words and Phrasesのリストを作成する。	30	30
13	Unit 12 Soba ペアワーク (会話練習), ロールプレイ	事前学修: 新出表現を予習する。 事後学修: Useful Words and Phrasesのリストを作成する。	30	30
14	Unit 13 Bento ペアワーク (会話練習), ロールプレイ	事前学修: 新出表現を予習する。 事後学修: Useful Words and Phrasesのリストを作成する。	30	30
15	全体Review: これまでに学んだ表現をまとめ, 自分の「おもてなし英語ノート」を作成する	事前学修: これまでの学修内容を確認する。 事後学修: ノートの内容を推敲する。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (ペアワーク, ロールプレイ)			
教科書	Howard Tarnoff. (2020). <i>Glances of Japan</i> . (「日本文化とおもてなし英語」) 坂部俊行, 岡島徳昭, 南雲堂.			
参考文献	資料は随時配布する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時に授業への疑問などをReactionとして提出してもらい, 次回にフィードバックを行う。 ・履修者の状況によって進度や順番に変更が生じる場合や, 遠隔で授業を実施する場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-30				
		●			●					
科目名	観光英語ガイド基礎				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	観光ビジネス学科の基礎科目・基幹科目で学んだ観光業に関する知識を活かし、地域の魅力を英語でガイドできるような英語力を身に付けることを目的とする。訪日外国人観光客の視点で考えるため、外国人から見た日本の文化等についても学ぶ。他者の視点を持つことで、地域の新たな魅力に気づくことになる。それらをわかりやすく伝えるための英語表現を学ぶ。									
到達目標	観光英語に関する知識をさらに伸ばし、日本の代表的な観光地を訪れた外国人を英語で案内できるようになる。英語を通して、外国人にとって「異文化」である自国の文化をより深く理解できるようになる。									
学修者への期待等	観光分野の知識とともに英語の技能を伸ばしたいと考える者、異文化理解に関心のある者、テキストの内容理解にとどまらず、積極的に英語を使用したいと考える者の履修を期待する。 また、総合旅行業務取扱管理者試験の英語問題も授業内で扱うため、受験を目指す者の履修も歓迎する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業の進め方について Lesson 1 An Attitude of Hospitality: Welcome to Japan!				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：新出表現を復習する。				30	30
2	Lesson 2 Preparation for the 2020 Olympic Games in Tokyo				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
3	Lesson 3 Do You Like to Watch Kabuki?				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
4	Lesson 4 The Sapporo Snow Festival 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題①				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
5	Lesson 5 Hiraizumi as the Buddhist Pure Land				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
6	基本的な会話練習と重要な語句 Scene 1-3 ロールプレイ				事前学修：ロールプレイの練習を行う。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。				30	30
7	Lesson 6 Yokohama Port				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
8	Lesson 7 Mt.Fuji				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
9	Lesson 8 Omi Province and Its Military History 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題②				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
10	Lesson 9 The Deer in Nara				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
11	Lesson 10 Kyoto Station				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30
12	Lesson 11 Let's Explore Osaka 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題③				事前学修：Readingパートを読み、内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
13	Lesson 12 Port City Kobe	事前学修：Readingパートを読み，内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。	30	30
14	Lesson 13 Sand Dunes in Tottori	事前学修：Readingパートを読み，内容を理解する。 事後学修：T/Fに解答する。	30	30
15	基本的な会話練習と重要な語句 Scene 4-5 ロールプレイ / 全体の振り返り	事前学修：学修を振り返り，疑問点を挙げておく。 事後学修：ロールプレイの自己評価を行う。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ロールプレイ）			
教科書	<i>Hospitality English</i> . (おもてなしの観光英語) 木戸美幸, Carolyn Wright, 河原俊昭, 徳地慎二, (2016). 三修社			
参考文献	随時配布する。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時に授業への疑問などをReactionとして提出してもらい，次回にフィードバックを行う。 ・履修者の状況によって進捗や順番に変更が生じる場合や，遠隔で授業を実施する場合がある。 			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-08				
	●	●								
科目名	観光研修Ⅱ				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	「観光研修Ⅱ」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。この科目は1年次の「観光研修Ⅰ」を引き継ぐものであり、1年次に学んだ観光事象についての認識をもとに、観光に関する学修をより多方面から捉え、その結果として獲得した知識や論理的思考力によって観光学修の意義を自分の言葉で説得的に表現する力を養う。									
到達目標	「観光研修Ⅰ」で学んだことを基に、自ら課題を発見し、解決する力を育成することを目的とする。観光現場を訪問するのみならず、関連分野の実践的に学ぶことにより専門的知識をさらに深化させ、卒業後に観光ビジネス等の分野で活躍できる実務能力を身につける。									
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	観光とバリアフリー：ゲストスピーカー				事前学修：バリアフリーの現状を調べる。 事後学修：講話の内容をまとめる。			30	30	
2	サービス介助基礎研修：事前学修				事前学修：サービス介助士について調べる。 事後学修：疑問点をまとめる。			30	30	
3	サービス介助基礎研修受講				事前学修：自分の希望進路とサービス介助士の関連について調べる。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。			30	60	
4										
5	観光業の実態を学ぶ：ゲストスピーカー				事前学修：講師への質問を考える。 事後学修：講話の内容をレポートにまとめる。			30	30	
6	地域の観光施設視察：事前学修				事前学修：施設の概要を調べる。 事後学修：視察の計画を立てる。			30	30	
7	地域の観光施設視察：現地調査				事前学修：調査時のポイントを確認する。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。			30	60	
8										
9	地域の観光施設視察：報告				事前学修：視察で得た疑問点をまとめる。 事後学修：報告の自己評価を行う。			30	30	
10	学外研修：訪問地の事前調査 (1年：「観光研修Ⅰ」第5回と合同)				事前学修：訪問地の概要を調べる。 事後学修：研修のルートを考える。			30	30	
11	学外研修：東北の観光地視察 (1年：「観光研修Ⅰ」第6回・第7回と合同)				事前学修：調査時のポイントを確認する。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。			30	60	
12										
13	学外研修：研修についてのプレゼンテーション準備				事前学修：視察時のメモをまとめる。 事後学修：プレゼンテーションの計画を立てる。			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	学外研修：研修についてのプレゼンテーション実施	事前学修：プレゼンテーションの練習をする。 事後学修：プレゼンテーションの自己評価を行う。	30	30
15	観光研修Ⅱの振り返り	事前学修：1年間の学びを振り返る。 事後学修：学修内容をレポートにまとめる。	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（現地調査，報告，プレゼンテーション）			
教科書	使用しない。			
参考文献	参考資料は随時配布する。			
備考	状況により順番や進度，内容に変更が生じる場合，遠隔授業に変更して実施する場合がある。履修者の疑問点については，次回以降の授業時にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-10				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅡ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
						授業回数	15 回			
授業の概要	「観光ゼミⅠ」で学んだコミュニケーション力と、課題の発見・解決力などを引き継ぎ、さらにそれらの力を観光ビジネスの現場において活かせるように、各自の関心に従って選択した観光ゼミでの討論やグループワーク、校外授業などを通して、一層の課題発見力、コミュニケーション力、課題解決力などを涵養する。具体的には教員の助言のもとで各自の研究テーマを定め、調査し、発表、振り返りまで行うプロセスを経ることで観光研究の経験を積み、自分の言葉で観光を語る力を養成する。									
到達目標	前期は、観光業の中のホテル業界に注目し、日本人の意識変容が及ぼす業界への影響を考え、ホテル業界を活性化させるための方策を産学連携で探っていく。それら経験によって、将来自分が目指す職業において、どのような意識変革がおこり、そのために解決すべき問題があるかを探求し、解決できる力を醸成する。									
学修者への期待等	それぞれのキーワードに対する理解及び課題を見つけ、問題に対してどのように探求すればよいかの方法を整理するための講義である。また、リサーチやディスカッションを通して、自分の考えを広げ他者を受け入れる価値観を醸成するためのプログラムとなっている。 学習成果：探究心、情報収集力、コミュニケーション力、思考力、課題解決能力、主体性									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	ガイダンス：ゼミの進め方、産学連携の意義、ゼミ予定の検討				事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理とまとめ			0	30	
2	プロジェクトの目的共有、企業紹介・ホテルの理念や事業概要、現状の課題を共有、宿泊者目線の視点でワーク				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
3	宮城の観光資源、宿泊ニーズ、地域の特徴を整理<他所施設調査学修準備・質問設計>				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
4	他所施設調査学修①：宮城県内 (比較材料として、利用者の視点を体験し、ニーズや課題を想像する)				事前学修：訪問先の下調べ 事後学修：訪問先の整理とまとめ			30	30	
5										
6	他所施設調査学修①の振り返り・課題の抽出				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
7	他所施設調査学修②：宮城県外 (比較材料として、利用者の視点を体験し、ニーズや課題を想像する)				事前学修：訪問先の下調べ 事後学修：訪問先の整理とまとめ			30	30	
8										
9	産学連携ホテル訪問・ディスカッション ターゲット顧客・課題の仮説化				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
10										
11	グループワークによる企画書のブラッシュアップ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
12	産学連携ホテル訪問・ディスカッション 課題に基づくアイデアを深めるワークショップの開催				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
13										

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	産学連携ホテル関係者への企画プレゼンテーション 総まとめ, 振り返り	事前学修: プレゼンテーション資料の修正 事後学修: プレゼンテーション資料の完成	30	30
15				
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (調査学修, ディスカッション, プレゼンテーション)			
教科書	必要な資料は随時配布する。			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
備考	訪問先, ゲストスピーカー等の都合と学生の状況により順番や進度, 内容を変更する場合や, 遠隔授業で実施する場合がある。質問等については, 次回以降の授業でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-10				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅡ				単位認定者	吉野 千乃		試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内 課題等	30 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	「観光ゼミⅠ」で学んだコミュニケーション力と、課題の発見・解決力などを引き継ぎ、さらにそれらの力を観光ビジネスの現場において活かせるように、各自の関心に従って選択した観光ゼミでの討論やグループワーク、校外授業などを通して、一層の課題発見力、コミュニケーション力、課題解決力などを涵養する。具体的には教員の助言のもとで各自の研究テーマを定め、調査し、発表、振り返りまで行うプロセスを経ることで観光研究の経験を積み、自分の言葉で観光を語る力を養成する。									
到達目標	仙台市内近郊の身近な観光地情報を英語で発信することを最大の目的とし、調査計画やその実施、結果のまとめとアウトプットといった一連の作業を、自分たちの力でやり遂げることができるようになる。									
学修者への期待等	日本の文化を紹介することや、異文化理解に関心を持つ者、英語を用いて基本的な情報収集と発信を行うことに意欲のある者の履修を期待する。また、グループワークには各自が責任感を持ち、積極的な姿勢で臨むことが必須である。無断欠席の無いよう注意すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業ガイダンス、ゼミ内の役割決定、グループ分け				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：研究テーマを考える。				30	30
2	テーマ設定（グループディスカッション）				事前学修：ディスカッションの準備をする。 事後学修：テーマに向けた資料を探す。				30	30
3	作業スケジュールの作成（グループワーク）				事前学修：作業内容と役割をリストアップする。 事後学修：スケジュールが適正か再考する。				30	30
4	現地調査①準備（グループワーク）				事前学修：調査計画を確認する。 事後学修：調査ルートを再考する。				30	30
5	仙台市内観光スポット 現地調査①（フィールドワーク）				事前学修：調査の仮説を立てる。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
6										
7	現地調査①まとめ作業（グループワーク）				事前学修：調査メモをまとめる。 事後学修：発表スライドの推敲を行う。				30	30
8	現地調査①発表/現地調査②の計画				事前学修：発表の準備を行う。 事後学修：発表の自己評価を行う。				30	30
9	現地調査②計画発表（グループワーク）				事前学修：調査計画を確認する。 事後学修：調査ルートを再考する。				30	30
10	仙台市内近郊観光スポット 現地調査②（フィールドワーク）				事前学修：調査の仮説を立てる。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
11										
12	発表のまとめとリハーサル				事前学修：調査メモをまとめる。 事後学修：発表スライドの推敲を行う。				30	30
13	調査①および②の発信				事前学修：発信方法を再確認し練習を行う。 事後学修：自己評価を行う。				30	30
14										

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
15	まとめと振り返り	事前学修：学修の内容を振り返る。 事後学修：活動の自己評価を行う。	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、ディスカッション、フィールドワーク）			
教科書	使用しない。			
参考文献	授業内で適宜紹介する。			
備考	状況により講義，現地調査，発表などをオンラインなどで実施する場合がある。また，履修者の状況により，内容や進度の調整を行うことがある。授業への疑問等については，次回以降の授業にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
--

--

科目ナンバリング
TB-4-SEM-10

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●	●	●

科目名	観光ゼミⅡ				単位認定者	佐藤 美輪		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内 課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			

授業の概要 「観光ゼミⅡ」で学んだコミュニケーション力と、課題の発見・解決力などを引き継ぎ、さらにそれらの力を観光ビジネスの現場において活かせるように、各自の関心に従って選択した観光ゼミでの討論やグループワーク、校外授業などを通して、一層の課題発見力、コミュニケーション力、課題解決力などを涵養する。具体的には教員の助言のもとで各自の研究テーマを定め、調査し、発表、振り返りまで行うプロセスを経ることで観光研究の経験を積み、自分の言葉で観光を語る力を養成する。

到達目標 ①観光地や東日本大震災について調査し、フィールドワークを通し、現状や今後の課題について自分の言葉で明確に伝えられるようになる。
②同じ目的を持ったメンバーと協調し、最後までやり遂げる力を修得する。

学修者への期待等 東北の温泉地や、東日本大震災について、自ら調べ自分の意見を持ち、主体的に問題意識を持てる人の履修を希望する。グループワーク等の実践演習を計画しているため、遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：自己紹介，ゼミの進め方	事前学修：なし 事後学修：日本の温泉地についての下調べ	0	30
2	温泉地の観光まちづくり：東北・宮城の温泉地について	事前学修：宮城県の温泉地について下調べ 事後学修：授業内容の整理	30	30
3	温泉地の観光まちづくり：フィールドワーク準備	事前学修：フィールドワーク先の視察検討 事後学修：フィールドワーク先の整理	30	30
4	温泉地の観光まちづくり：フィールドワーク	事前学修：フィールドワーク先のまちづくりについての下調べ 事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ	30	30
5				
6	温泉地の観光まちづくり：報告書作成	事前学修：報告書作成に向けたまとめ作業 事後学修：報告書の完成	30	30
7	温泉地の観光まちづくり：フィールドワーク報告会	事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：観光まちづくりについてのまとめ	30	30
8	東日本大震災：被災地の今を考える	事前学修：東日本大震災についての下調べ 事後学修：授業内容の整理	30	30
9	東日本大震災：復興と課題	事前学修：震災復興と課題についての下調べ 事後学修：授業内容の整理	30	30
10	東日本大震災：フィールドワーク準備 ＜調査場所の下調べ＞	事前学修：調査場所の下調べ 事後学修：調査場所の整理	30	30
11	東日本大震災：フィールドワーク準備 ＜インタビュー項目の検討＞	事前学修：インタビュー項目の下調べ 事後学修：インタビュー内容の整理	30	30
12	東日本大震災：フィールドワーク	事前学修：フィールドワーク先復興状況についての下調べ 事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ	30	30
13				

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	東日本大震災：報告書作成	事前学修：報告書作成に向けたまとめ作業 事後学修：報告書の完成	30	30
15	東日本大震災：フィールドワーク報告会	事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：東日本大震災についてのまとめ	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク，報告会）			
教科書	使用しない。資料を適宜配布する。			
参考文献	随時紹介する。			
備考	受講者数や受講者の理解度により，フィールド先および授業の順序を変更する場合がある。授業への疑問等については，次回以降の授業にフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●	●	●	●

科目名	観光ゼミⅡ				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内 課題等	50 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光ゼミⅠ」で学んだコミュニケーション力と、課題の発見・解決力などを引き継ぎ、さらにそれらの力を観光ビジネスの現場において活かせるように、各自の関心に従って選択した観光ゼミでの討論やグループワーク、校外授業などを通して、一層の課題発見力、コミュニケーション力、課題解決力などを涵養する。具体的には教員の助言のもとで各自の研究テーマを定め、調査し、発表、振り返りまで行うプロセスを経ることで観光研究の経験を積み、自分の言葉で観光を語る力を養成する。									
到達目標	地元宮城の観光を考える上で地域の特性（歴史 変遷 現状等）を考察し、他の地域との関係性及び持続可能な案件等を、様々な材料を自ら考え、まとめることにより観光面のみならず関係人口及び定住人口の拡大の選択しを見出し考察してもらう。また全国の温泉地について検証し知識を会得してもらう。									
学修者への期待等	地元宮城（特に仙北地区）の状況を認識し、特質すべき点を班毎に検証することで宮城の観光資源は何かあるのかを理解してもらう。また全国の温泉地を検証することで、日本の重要な観光資源の一つである温泉についての知識を修得してもらう。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：ゼミの進め方 ゼミ長等の選出 スケジュールの確認 班分け 等				事前学修：無し 事後学修：仙北地区の下調べをする				0	30
2	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査① (概要調査)				事前学修：温泉地の下調べをする 事後学修：仙北及び温泉地深堀りする				30	30
3	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査② (産業調査)				事前学修：仙北観光資源と温泉の下調べをする 事後学修：仙北観光資源と温泉の深堀り精査する				30	30
4	フィールドワーク：岩出山あらい達な道の駅視察				事前学修：あらい達な道の駅の下調べをする 事後学修：あらい達な道の駅の深堀りをする				30	30
5										
6	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査③ (観光資源と温泉効能調査)				事前学修：仙北観光資源と温泉下調べをする 事後学修：仙北観光資源と温泉の深堀りをする				30	30
7	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査④ (祭りや温泉人気調査)				事前学修：仙北地区の祭りと温泉効能を下調べをする 事後学修：仙北地区の祭りと温泉効能の深堀りをする				30	30
8	フィールドワーク：大崎耕土地区視察				事前学修：大崎耕土地区の下調べをする 事後学修：大崎耕土地区の精査をする				30	30
9										
10	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査⑤ (イベントと温泉客層調査)				事前学修：仙北地区のイベントと温泉下調べをする 事後学修：仙北地区のイベントと温泉上記の深堀りをする				30	30
11	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査⑥ (各地区の歴史と温泉の歴史調査)				事前学修：仙北地区の歴史と温泉の歴史の下調べをする 事後学修：仙北地区の歴史と温泉の歴史の深堀りをする				30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
12	フィールドワーク：鳴子温泉及び鳴子ダム視察	事前学修：鳴子温泉及びダムの下調べする 事後学修：鳴子温泉及びダムの深掘りをする	30	30
13				
14	宮城仙北地区の調査及び全国温泉地の調査まとめ⑦ (各地区のまとめと温泉のまとめ)	事前学修：仙北地区と温泉全般の下調べする 事後学修：仙北地区と温泉全般上の深掘りとまとめをする	30	30
15	班毎に調査結果発表 討議 振返り	事前学修：全体のまとめ精査をする 事後学修：班毎の内容深掘りをする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク，討議，発表）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態		演習		授業回数	30 時間
						15 回				
授業の概要	<p>「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。</p>									
到達目標	<p>後期は、観光に関連する現代日本における人々の意識変容を探る。観光を切り口に、現代日本における若年層の意識の変容を探ることを通じて、少子高齢化問題、非正規雇用などの雇用環境、ワークライフバランス、多様性など、現代に内包する問題への理解を深める。その上で、将来自分が目指す職業においてどのような意識変革や解決すべき問題があるかについて探求する力を醸成する。</p>									
学修者への期待等	<p>各自の問題意識に対する理解及び課題を見つけ、問題に対してどのように探求すればよいかの方法を整理するための講義である。また、実際に企業との対話や課題提示に対するリサーチやディスカッションを通して、自分の考えを広げ他者を受け入れる価値観を醸成するためのプログラムとなっている。</p> <p>学習成果：探究心、情報収集力、コミュニケーション力、思考力、課題解決能力、主体性</p>									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	ガイダンス：ゼミの進め方、ゼミ長などの選出、ゼミ予定の検討、調査するテーマの選定				事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理とまとめ			0	30	
2	関連施設調査学修①の準備 ＜関連施設調査学修先下調べ・質問事項の整理＞				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
3	関連施設調査学修①：仙台市街地エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
4										
5	関連施設調査学修①の振り返り・まとめ 関連施設調査学修②の準備 ＜調査学修場所下調べ・質問事項等の整理＞				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
6	関連施設調査学修②：秋保温泉エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
7										
8	関連施設調査学修②の振り返り・まとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
9	関連施設調査学修③の準備 ＜調査学修場所下調べ・質問事項の整理＞				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
10	関連施設調査学修③：宮城県外エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
11										
12	社会人に聴く（様々な働き方）①女性のキャリア（ゲストスピーカー）				事前学修：ゲストスピーカーについて下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
13	社会人に聴く（様々な働き方）②社会人に必要な力（ゲストスピーカー）				事前学修：ゲストスピーカーについて下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30	
14	最終プレゼンテーション準備				事前学修：プレゼンテーションの下調べ 事後学修：プレゼンテーションの整理			30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
15	最終プレゼンテーション発表	事前学修：プレゼンテーションの修正 事後学修：プレゼンテーションの修正	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（調査学修，プレゼンテーション）			
教科書	なし。講義中に適宜プリント等を配付する。			
参考文献	授業中に適宜示す。			
備考	訪問先の都合等や学生の作業進捗具合等によって，順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	吉野 千乃		試験 (レポート)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぎぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。</p>									
到達目標	<p>これまで学んだ観光分野の知識を最大限に活用しながら、身近な日本の文化や観光名所を英語で発信できるようにする。日本に関心のある外国人に向けて、日本の文化や習慣を説明できるようにする。</p>									
学修者への期待等	<p>日本の文化を紹介することや、異文化理解に関心を持つ者、英語を用いて基本的な情報収集と発信を行うことに意欲のある者の履修を期待する。また、グループワークには各自が責任感を持ち、積極的な姿勢で臨むことが必須である。無断欠席の無いよう注意すること。</p>									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	全体ディスカッション：調査テーマの方向性について				事前学修：シラバスを読み、内容を理解する。 事後学修：研究テーマを考える。				30	30
2	調査の計画（グループディスカッション）				事前学修：ディスカッションの準備をする。 事後学修：テーマに向けた資料を探す。				30	30
3	作業スケジュールの作成（グループワーク）				事前学修：作業内容と役割をリストアップする。 事後学修：スケジュールが適正か再考する。				30	30
4	現地調査①準備（グループワーク）				事前学修：調査計画を確認する。 事後学修：調査ルートを再考する。				30	30
5	仙台市内観光スポット 現地調査①（フィールドワーク）				事前学修：調査の仮説を立てる。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
6										
7	現地調査①まとめ作業（グループワーク）				事前学修：調査メモをまとめる。 事後学修：発表スライドの推敲を行う。				30	30
8	現地調査①発表/現地調査②の計画				事前学修：発表の準備を行う。 事後学修：発表の自己評価を行う。				30	30
9	現地調査②の計画発表（グループワーク）				事前学修：調査計画を確認する。 事後学修：調査ルートを再考する。				30	30
10	仙台市近郊観光スポット 現地調査②（フィールドワーク）				事前学修：調査の仮説を立てる。 事後学修：仮説の検証を行う。				30	30
11										
12	発表のまとめとリハーサル				事前学修：調査メモをまとめる。 事後学修：発表スライドの推敲を行う。				30	30
13	調査①②の内容をまとめた英語パンフレット作成				事前学修：発信方法を再確認し練習を行う。 事後学修：自己評価を行う。				30	30
14										
15	まとめと振り返り				事前学修：学修の内容を振り返る。 事後学修：活動の自己評価を行う。				30	30

アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク、ディスカッション、フィールドワーク）
教科書	使用しない。
参考文献	授業内で適宜紹介する。
備考	状況により講義，現地調査，発表などをオンラインなどで実施する場合がある。また，履修者の状況により，内容や進度の調整を行うことがある。授業への疑問等については，次回以降の授業にフィードバックを行う。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●	●	●

科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	佐藤 美輪		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内 課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぎぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。</p>									
到達目標	<p>①「観光ゼミⅡ」に引き続き、東日本大震災の現状についてフィールドワークを通し理解を深め、今後の課題を自ら考えることができるようになる。 ②コミュニケーションスキルを身につけ、調べたり考えた事柄を自分の言葉で的確に伝えられるようになる。</p>									
学修者への期待等	東日本大震災について、フィールドワークに留まらず、積極的に調べ、自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等の実践演習を計画しているため、遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：ゼミの進め方 仙台圏における観光まちづくり：仙台圏の観光地について				事前学修：なし 事後学修：仙台圏の観光地についての下調べ				0	30
2	仙台圏における観光まちづくり： フィールドワーク先の決定・発信方法の検討				事前学修：観光地の発信方法について下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
3	仙台圏における観光まちづくり：フィールドワーク準備				事前学修：フィールドワーク先の視察検討 事後学修：フィールドワーク先の整理				30	30
4	仙台圏における観光まちづくり：フィールドワーク				事前学修：フィールドワーク先のまちづくりについての下調べ				30	30
5					事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ					
6	仙台圏における観光まちづくり：報告書作成				事前学修：報告書作成に向けたまとめ作業 事後学修：報告書の完成				30	30
7	仙台圏における観光まちづくり：フィールドワーク報告会				事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：観光まちづくりについてのまとめ				30	30
8	被災地からの復興及び観光地：被災地の今				事前学修：東日本大震災についての下調べ 事後学修：授業内容の整理				30	30
9	被災地からの復興及び観光地：フィールドワーク準備 <調査場所の下調べ>				事前学修：調査場所の下調べ 事後学修：調査場所の整理				30	30
10	被災地からの復興及び観光地：フィールドワーク準備 <インタビュー項目の検討>				事前学修：インタビュー項目の下調べ 事後学修：インタビュー内容の整理				30	30
11	被災地からの復興及び観光地：フィールドワーク				事前学修：フィールドワーク先復興状況についての下調べ				30	30
12					事後学修：フィールドワークで得たことのまとめ					

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
13	被災地からの復興及び観光地： フィールドワークの振り返り・まとめ	事前学修：フィールドワークのまとめ 事後学修：報告書作成準備	30	30
14	被災地からの復興及び観光地：報告書作成	事前学修：報告書作成に向けたまとめ作業 事後学修：報告書の完成	30	30
15	被災地からの復興及び観光地：フィールドワーク報告会	事前学修：報告会に向けての準備 事後学修：東日本大震災についてのまとめ	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク，報告会）			
教科書	使用しない。適宜，レジュメを配布する。			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
備考	受講者の理解度により，講義順序や重点の置き方を変更することがある。 受講者からの質問には次回以降の授業でフィードバックを行う。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11					
	●	●	●	●	●						
科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	鎌田 貢治		試験 (レポート)	30	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内 課題等	50	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	20
				授業回数		15 回					
授業の概要	「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぎぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。										
到達目標	観光ゼミⅡに継続して、宮城仙南地区の観光事情の検証と全国各地にある離島について深堀検証をする。										
学修者への期待等	宮城仙南地区の現状を検証し、観光資源が交流人口に与える選択肢を考察してもらうと同時に、全国にある離島を選んで調査深堀をし、同じく観光資源がもたらす様々な事象について考察してもらう。										
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	ガイダンス：ゼミの進め方 ゼミ長等の選出 スケジュールの確認 班分け 等				事前学修：無し 事後学修：仙南地区の下調べをする				0	30	
2	仙南地区市町村及び全国の離島について調査①（概要調査）				事前学修：離島について下調べをする 事後学修：仙南地区離島の深堀りをする				0	30	
3	フィールドワーク①：山形宮城蔵王のお釜視察				事前学修：蔵王について下調べをする 事後学修：振り返り深堀りをする				30	30	
4											
5	仙南地区市町村及び全国の離島について調査②（産業調査）				事前学修：市町村離島の産業分野深堀りをする 事後学修：市町村離島内容の産業分野精査を行う				30	30	
6	仙南地区市町村及び全国の離島について調査③（観光資源調査）				事前学修：市町村離島の観光資源の深堀りをする 事後学修：市町村離島の観光資源の精査を行う				30	30	
7	フィールドワーク②：丸森町和紙作り体験				事前学修：丸森町の観光資源下調べする 事後学修：和紙作りの工程を再確認する				30	30	
8											
9	仙南地区市町村及び全国の離島について調査④（祭り調査）				事前学修：市町村離島の深堀りをする 事後学修：内容の精査を行う				30	30	
10	仙南地区市町村及び全国の離島について調査⑤（イベント調査）				事前学修：市町村離島のイベント事情の深堀りをする 事後学修：市町村離島のイベント事情内容の精査を行う				30	30	
11	フィールドワーク③：名取トレイルセンター、かわまちテラス視察				事前学修：トレイルセンター内容確認する 事後学修：振り返り内容精査をする				30	30	
12											
13	仙南地区市町村及び全国の離島について調査⑥（課題調査）				事前学修：市町村離島の課題の深堀りをする 事後学修：市町村離島の課題の精査を行う				30	30	

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	各班によるまとめ 資料作成	事前学修：市町村の内容をまとめ集約をする 事後学修：市町村の内容をまとめ精査をする	30	30
15	宮城全般の観光資源について振り返り 総括	事前学修：振り返り項目の精査 事後学修：全体の確認をする	30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

観光ビジネス学科

- ナンバリング
- 学科教員一覧
- オフィスアワー
- 成績評価
- 実務経験を有する教員一覧

観光ビジネス学科のナンバリングの見方

【例】TB-1-○○○-01

TB	-	1	-	○○○	-	01
①	半角[-]	②	半角[-]	③	半角[-]	④

① 学科（専攻）識別番号

半角アルファベット（大文字）2桁

全学共通教養教育科目：CO

観光ビジネス学科：TB

② 科目レベル

半角数字1桁

教養科目：0（全学共通教養科目も学科独自教養科目も同じ）

専門基礎科目：1

専門基幹科目：2

専門展開科目：3

演習科目：4

③ 科目分類

半角アルファベット（大文字）3桁

教養教育分野		
人間と文化	HCU	Human & culture
人間と社会	HSO	Human & society
人間と科学	HSC	Human & science
専門教育分野		
基礎科目	FCO	Foundation Courses
基幹科目	CCO	Core Courses
展開科目	ECO	Extended Courses
演習分野		
演習科目	SEM	Seminar

④ 連続番号

半角数字2桁

全学共通教養教育科目は全学科、以下のナンバリングを使用する。

科目名称	ナンバリング
日本語表現法	CO-0-HCU-01
英語	CO-0-HCU-02
法律入門	CO-0-HSO-04
現代の社会	CO-0-HSO-03
情報処理	CO-0-HSC-01

< 2026 年度入学生ナンバリング >

科目区分		授業科目の名称	ナンバリング
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		英語 I	CO-0-HCU-02
		東北学	TB-0-HCU-01
		歴史と文化	TB-0-HCU-02
	人間と社会	法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
		コミュニケーション論	TB-0-HSO-01
	人間と科学	情報処理	CO-0-HSC-01
数理リテラシー		TB-0-HSC-01	
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	TB-1-FCO-01
		マーケティング	TB-1-FCO-02
		観光概論	TB-1-FCO-03
		観光ビジネス論	TB-1-FCO-04
		国内観光地理	TB-1-FCO-05
		国際観光論	TB-1-FCO-06
		イベント・プロデュース論	TB-1-FCO-07
		実践文章作成演習	TB-1-FCO-08
		フィールドワーク概論	TB-1-FCO-09
		金融リテラシー入門	TB-1-FCO-10
	基幹科目	英語 II	TB-2-CCO-01
		観光ビジネス英会話	TB-2-CCO-02
		ビジネスマナー	TB-2-CCO-03
		情報機器演習	TB-2-CCO-04
	展開科目	旅行ビジネス実務	TB-3-ECO-01
		エアラインビジネス実務	TB-3-ECO-02
		鉄道ビジネス実務	TB-3-ECO-03
		宿泊ビジネス実務	TB-3-ECO-04
		ホテル・ブライダルサービス	TB-3-ECO-05
		ホテル経営	TB-3-ECO-06
		ブライダルビジネス実務	TB-3-ECO-07
		ウェディングブライダル演習	TB-3-ECO-08
		秘書実務	TB-3-ECO-09
		テーマパークビジネス	TB-3-ECO-10
		旅行業法	TB-3-ECO-11
		旅行業約款	TB-3-ECO-12
		国内運賃・旅費計算	TB-3-ECO-13
		国内観光資源	TB-3-ECO-14
		旅行業務演習	TB-3-ECO-15
	海外観光地理	TB-3-ECO-16	
	旅程管理	TB-3-ECO-17	

専門教育分野	展開科目	東南アジアの言語と文化	TB-3-ECO-18
		韓国語会話Ⅰ	TB-3-ECO-19
		韓国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-20
		中国語会話Ⅰ	TB-3-ECO-21
		中国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-22
		フランス語会話	TB-3-ECO-23
		英会話基礎	TB-3-ECO-24
		英会話応用	TB-3-ECO-25
		観光英語	TB-3-ECO-26
		TOEIC 演習	TB-3-ECO-27
		おもてなし英語	TB-3-ECO-28
		観光英語ガイド基礎	TB-3-ECO-29
		観光インターンシップ	TB-3-ECO-30
		海外研修	TB-3-ECO-31
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-01
		実践キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-02
		初年次ゼミ	TB-4-SEM-03
		観光研修Ⅰ	TB-4-SEM-04
		観光研修Ⅱ	TB-4-SEM-05
		観光ゼミⅠ	TB-4-SEM-06
		観光ゼミⅡ	TB-4-SEM-07
		観光ゼミⅢ	TB-4-SEM-08

< 2025 年度入学生ナンバリング >

科目区分		授業科目の名称	ナンバリング
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		英語 I	CO-0-HCU-02
		東北学	TB-0-HCU-01
		歴史と文化	TB-0-HCU-02
	人間と社会	法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
		コミュニケーション論	TB-0-HSO-01
	人間と科学	情報処理	CO-0-HSC-01
数理リテラシー		TB-0-HSC-01	
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	TB-1-FCO-01
		マーケティング	TB-1-FCO-02
		観光概論	TB-1-FCO-03
		観光ビジネス論	TB-1-FCO-04
		国内観光地理	TB-1-FCO-05
		国際観光論	TB-1-FCO-06
		観光史と観光文化	TB-1-FCO-07
		実践文章作成演習	TB-1-FCO-08
		フィールドワーク概論	TB-1-FCO-09
		金融リテラシー入門	TB-1-FCO-10
	基幹科目	英語 II	TB-2-CCO-05
		観光ビジネス英会話	TB-2-CCO-01
		ビジネスマナー	TB-2-CCO-03
		情報機器演習	TB-2-CCO-02
	展開科目	旅行ビジネス実務	TB-3-ECO-01
		エアラインビジネス実務	TB-3-ECO-02
		鉄道ビジネス実務	TB-3-ECO-04
		宿泊ビジネス実務	TB-3-ECO-05
		ホテル・ブライダルサービス	TB-3-ECO-06
		ホテル経営	TB-3-ECO-07
		ブライダルビジネス実務	TB-3-ECO-08
		ウェディングブライダル演習	TB-3-ECO-35
		秘書実務	TB-3-ECO-09
		旅と文学	TB-3-ECO-12
		テーマパークビジネス	TB-3-ECO-13
		旅行業法	TB-3-ECO-14
		旅行業約款	TB-3-ECO-15
		国内運賃・旅費計算	TB-3-ECO-16
	国内観光資源	TB-3-ECO-19	
	旅行業務演習	TB-3-ECO-20	
	海外観光地理	TB-3-ECO-22	

専門教育分野	展開科目	旅程管理	TB-3-ECO-23
		東南アジアの言語と文化	TB-3-ECO-36
		韓国語会話Ⅰ	TB-3-ECO-24
		韓国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-37
		中国語会話Ⅰ	TB-3-ECO-25
		中国語会話Ⅱ	TB-3-ECO-38
		フランス語会話	TB-3-ECO-26
		英会話基礎	TB-3-ECO-32
		英会話応用	TB-3-ECO-39
		観光英語	TB-3-ECO-40
		TOEIC 演習	TB-3-ECO-31
		おもてなし英語	TB-3-ECO-28
		観光英語ガイド基礎	TB-3-ECO-30
		観光インターンシップ	TB-3-ECO-33
		海外研修	TB-3-ECO-34
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-01
		実践キャリア形成ゼミ	TB-4-SEM-02
		初年次ゼミ	TB-4-SEM-04
		観光研修Ⅰ	TB-4-SEM-07
		観光研修Ⅱ	TB-4-SEM-08
		観光ゼミⅠ	TB-4-SEM-09
		観光ゼミⅡ	TB-4-SEM-10
		観光ゼミⅢ	TB-4-SEM-11

観光ビジネス学科 実務経験を有する教員の科目一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
東北学	2	黒田 清志	H6年からH23年まで仙台市経済局、および仙台市観光コンベンション協会で、また、中小企業診断士として、地域の中小企業、商店街、農業、観光の支援事業を担当。その後、山形県など各地の研修会等のセミナー講師、アドバイザーを務める。広範囲の業種の事業者の経営支援や東北の地域活性化事業に関わってきた経験から、特に経済や文化的側面について、分かりやすく具体的な授業を行う。
法律入門	2	鈴木 一樹	公認会計士として企業等の会計監査、税理士として税務業務、不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事
マーケティング	2	高野 宏輝	26年間旅行会社社在籍し、営業、オペレーション、販促、マネジメント業務に従事。商品企画から販売に至るまで、ビジネス現場で経験したマーケティング活動の事例を紹介し、習熟すべき知識とつながるよう、分かりやすく解説する。
観光概論	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
観光ビジネス論	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
国際観光論	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
観光史と観光文化	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
実践文章作成演習	1	小里 千寿	複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。
旅行ビジネス実務	2	高野 宏輝	26年間旅行会社（株式会社JTB）に在籍し、営業、オペレーション、販促、マネジメント業務に従事。商品企画から販売に至るまで、ビジネス現場で経験した事例を紹介し、習熟すべき知識とつながるよう、分かりやすく解説する。
エアラインビジネス実務	2	加藤 雅子	実務経験の概要：元大手航空会社国際線CAとして13年乗務。教官として、邦人・外国人CAの教育・育成も担当。現在は、マナーやコミュニケーションを中心としたテーマで企業や官公庁での人材教育や講演を行っています（講師歴17年）。実務経験からのより具体的且つポイントを押さえた内容で実践的な授業を展開し、航空業界に関する知識や接遇マナー・コミュニケーション力を習得できるように導きます。
鉄道ビジネス実務	2	紺野 純一	元国鉄・JR職員、仙台ターミナルビル（株）専務取締役総支配人等の経歴を経て、現東北観光推進機構理事長。観光業界における実務経験から、鉄道交通ビジネスについて分かりやすく解説し、実践的な授業を展開することができる。
宿泊ビジネス実務	2	紺野 純一	元国鉄・JR職員、仙台ターミナルビル（株）専務取締役総支配人等の経歴を経て、現東北観光推進機構理事長。ホテル・観光業界における実務経験から、ホテル経営についての歴史や業務について解説し、各部門での具体的事例を交えた実践的な授業を展開することができる。
ホテル・ブライダルサービス	2	小野寺 理恵	ブライダルコーディネーター、美容師、アテンド、司会者として34年の実務経験を有する。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する。（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）
ホテル経営	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
ブライダルビジネス実務	2	小野寺 理恵	ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル分野（プランナー・美容師、司会、アテンド等）で34年の実務経験がある。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）。
ウェディングブライダル演習	1	小野寺 理恵	ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル分野（プランナー・美容師、司会、アテンド等）で34年の実務経験がある。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）。
テーマパークビジネス	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
旅程管理	2	小畑 隆	現在添乗員派遣会社（エコールインターナショナル社）仙台支店長。12年の国内外の添乗員を経験と、20年にわたり旅程管理の講師を経験している。
東南アジアの言語と文化	2	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
観光インターンシップ	1	小里 千寿 鎌田 貢治	大学でのキャリアコンサルタントの実務経験15年の中で、大学独自のインターンシッププログラムを立ち上げた。 42年間旅行会社に在籍をしていたため、様々な観光業界の方との関係性が深く学生に見合った企業を紹介できる。
基礎キャリア形成ゼミ	1	小里 千寿	複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。
実践キャリア形成ゼミ	1	小里 千寿	複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。
観光ゼミⅠ	1	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
観光ゼミⅡ	1	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
観光ゼミⅢ	1	鎌田 貢治	旅行業界に42年在籍、様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。
	42	実務経験を有する職員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	

観光ビジネス学科 学科教員一覧

	職位	氏名	E-mail
1	教授 (学科長)	たかの こうき 高野 宏輝	k_katano@seiyogakuin.ac.jp
2	教授 (副学科長)	こさと ちず 小里 千寿	c_kosato@seiyogakuin.ac.jp
3	准教授	よしの ちの 吉野 千乃	c_yoshino@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	さとう みわ 佐藤 美輪	m_satou@seiyogakuin.ac.jp
5	講師	かまた こうじ 鎌田 貢治	k_kamata@seiyogakuin.ac.jp

2026年度 観光ビジネス学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室（1階事務室内にあります）または授業後の教室で相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満 (※)	0
	評価不能 (E)	(1) 履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可 (C)、GP は1ポイントとなります。